

水泳

日本水泳連盟機関雑誌 No. 96 1953



オリンピック特集号

THE "SUIEI" OFFICIAL PUBLICATION OF AMATEUR SWIMMING FEDERATION OF JAPAN

水泳

昭和28年・第96號

第15回ヘルシンキ
オリンピック大會 特集號

● 目 次 ●

- オリンピックより歸りて 藤田 明 ... (2)
- 日本代表水泳選手團名簿 (3)
- 座談會“オリンピック” (4)
- 100米自由形準決勝再レースの問題 安部 輝太郎 ... (23)
- オリンピック大會の感想 (24)
(後藤 暢 西 擴 青木 行義 西野 恭正 宮部シズエ
青木 政代 田村美佐子 宮本まさみ)
- オリンピックいろは歌 石川 芳雄 ... (26)
- オリンピック水上競技寫眞集 (27)
- オリンピック水上競技正式記録 (35)
- 水泳チームのフィジカル・トレーニングに就いて..... 原 秀夫 ... (47)
- プール公認 (48)
- オリンピック水泳に對する御賛助金 (49)
- ヘルシンキ便り (51)
- ファンの言葉 (53)
- 第7回國體夏季大會概観 藤田 明 ... (55)
- 第20回日本高校選手權大會總評 吉田 嶺吉 ... (56)
- 昭和27年度定例代議員會議事録 (57)
- 編集後記 (60)

(表紙寫眞はオリンピック女子高飛、飛板兩種目に優勝のマコーミツク嬢(米)の見事なダイビング。)

昭和28年度主要競技會日程予定

6月7日

第25回早慶対抗水上競技大会..... 神宮プール

6月14日

第18回日立明三大學対抗水上競技大会..... 神宮プール

7月30日より8月2日まで

昭和28年度日本選手権水上競技大会..... 神宮プール

8月5.6日

日米国際水上競技大会..... 大阪プール

8月15.16日

北海道(仮称)高等学校水上競技大会..... 場所未定

東北 (") "

関東 (") "

中部 (") "

近畿 (") "

中国 (") "

四国 (") "

九州 (") "

8月22.23日

第4回全国勤労者水上競技大会..... 福島県 若松市プール

8月29.30日

第21回日本高等学校選手権水上競技大会..... 振甫プール

9月5.6日

第26回関東学生選手権水上競技大会..... 神宮プール

9月11日より13日まで

第29回日本学生選手権水上競技大会..... 神宮プール

9月20日より23日まで

第8回国民体育大会水上競技大会..... 高知プール

オリンピックより歸りて

水泳總監督 藤 田 明



数多先人が不撓不屈の努力を拂い、更に不斷の施策に依つて築き上げた水泳日本の輝かしい名声と地歩を遂に守り抜くことが出来ず一敗地にまみれて故国に歩を印せざるを得なかつたことは、誠に慚愧の至りである。全く終世の遺恨事と言

わざるを得ない。殊に 16 年振りのオリンピック参加という重要な意義を持つ大会であつただけに、又江湖の期待が言語に絶する程大きいものであつただけに、御詫びの申し上げようもない心境に浸り切つて居るのが、現在の偽らぬ態懐である。

敗戦後 7 年間水連伝統のオリンピック第一主義に徹しつゝ、総ての努力を結集して、先づ國際水泳連盟復歸の吉報を享け、續いて日米選手権大会の劃期的成功を収めたことは、日本水泳界に深い自信と限りない勇氣を與えてくれたが、我々が念願した若い階層の開発強化が遅れて、第 3 回日米対抗競技ではアメリカ勢の後沫を浴び、待望のヘルシンキでは 1 つの金メダルをも掌中に握み得ない不振に終つた。今はただ 20 数年前の「振り出し」に戻つた現實に直面して、此の苦境を招くに至つた経緯を逐一反省し次の飛躍に備えたい氣持で一杯である。

從來日米兩國で象徴された國際水泳界は、今や全く様相を変えて、眞に世界の水泳と呼号するにふさわしい普及と發展を招來しつゝある。擡頭著しいフランス、ハンガリー、スエーデンを主軸として、イギリス、オランダ、デンマーク、ドイツ、ソ連邦等の歐州諸國の活況を初め、南米、南阿、濠州、新西蘭に至る迄廣く汎ねく前進と向上の趨勢を示して居ることを銘記して、先づ世界情勢の實體を把握することを心懸けねばなるまい。

この大勢に即應して 1 歩 2 歩を先んじるためには第 1 に若い競技者層の開発、第 2 に強化施策の確立第 3 に國際訓練の實施、第 4 の競技施設特に室内プールの擴充等大綱を擧げるだけでも枚舉に遑がない。しかも之等は一つ一つが大事業であり、且つ相

關性を持つて居るので、斷じて空念佛に終らせてはならない。考えように依つては、我國水泳界は未だ會てない峻しい荆棘の道に當面して居ると言つても過言ではあるまい。此の道を乗り越えてこそ、初めて水泳日本再建の偉業が完成され、ヘルシンキの禍を転じて福と爲すことが出来るのを信じて疑わない老兵の惡あがきと罵られようとも、この荆棘の峻路を 1 寸 1 尺でも切り拓くことが、今回の不振に對する責任者たる私に課せられた光榮ある義務であることを痛感して居る。

戦いが終つた今日、靜かにレースの推移を検討して見ると、主競技とも言うべき男子競泳に於ては、全然齒が立たなかつたわけではなく、昔日の黄金時代を再現することは、斷じて夢ではない。この足懸りがある以上、不退転の決意を持ち、周到な訓練を實踐すれば、明るい將來が約束されて居ると言い得よう。ヘルシンキへの行を共にした安部マネージャー、清川ヘッドコーチを初め小池、遊佐、牧野、原のコーチング・スタッフ及び古橋以下の各選手が、常に全智全能を傾けて、よく各自の最善を盡し、日本水泳界再起の足懸りを温存したことを、改めて感謝せずには居られない。又不幸オリンピックの檜舞臺に立つ機会を失い、補欠に甘んじた諸君が、揃いも揃つてチームワークの源泉たる犠牲的行爲に終始した陰の協力に對し、生涯忘れることの出来ない感激を覚えて居ることを告白したい。

今回のヘルシンキオリンピック参加に際して、全國津々浦々の水泳關係者から寄せられた鼓舞激勵の数々は、直ちに我々選手團の暖かい糧食となり、強靱な支柱と化して、ファイティング・スピリットを燃えたいせる大きな役割を果たしたことを報告し、一同に代つて心からなる謝意を表する次第である。

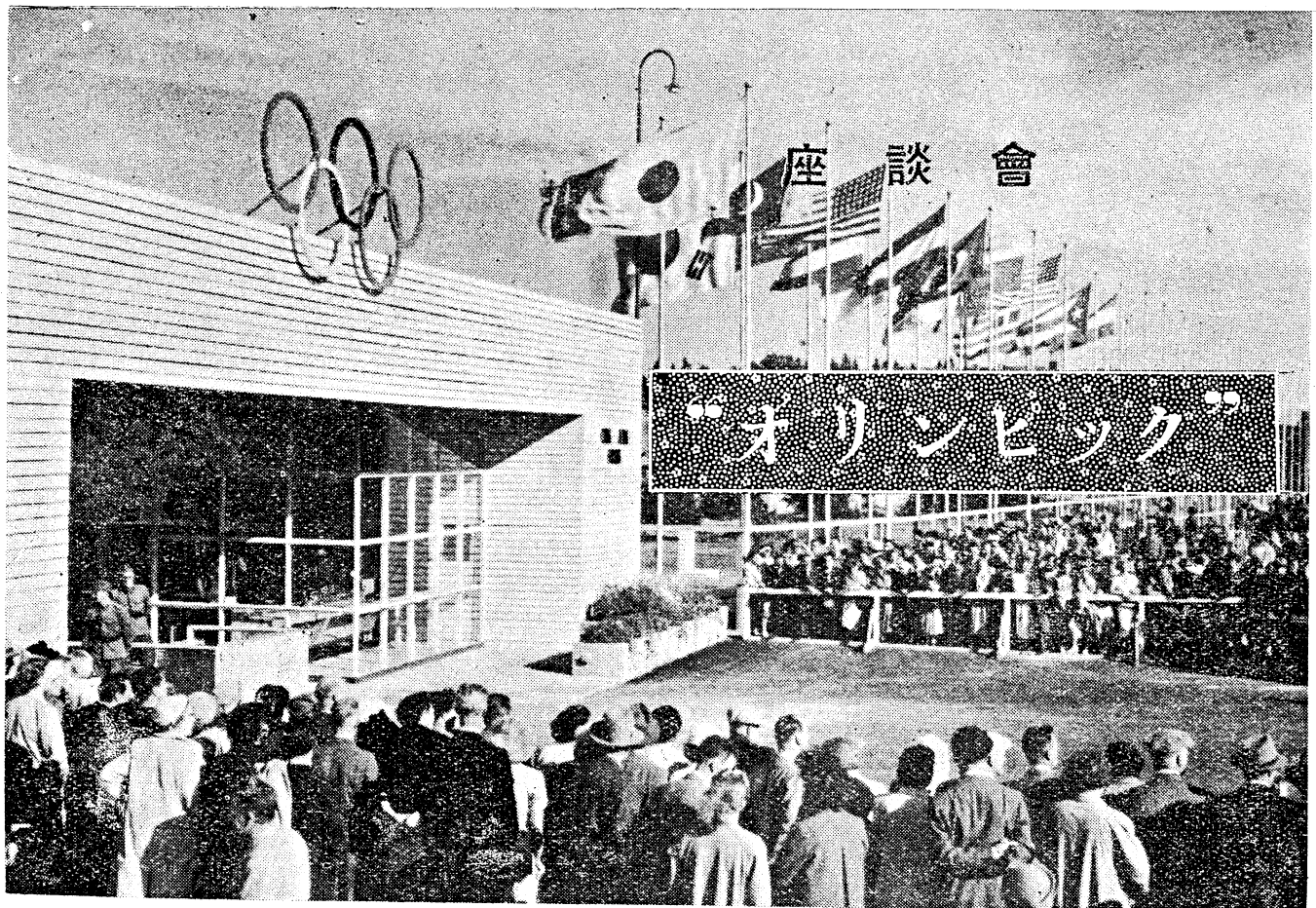
☆ ☆

☆ ☆

☆ ☆

日本代表水泳選手團名簿

	氏名	出身地	現住所	勤務先	出身
総監督	藤田 明	44 広島	東京都南多摩郡浅川町上柵田 1528	横浜ゴム K.K. 社員	早大
マネジャー	安部 輝太郎	47 神奈川	横浜市磯子区森町 145	東洋パブコック K.K. 社員	商大
ベツドチ	清川 正二	39 愛知	東京都北多摩郡小金井町 2098	兼松 K.K. 社員	〃
飛込コーチ トレーナー	原 秀 夫	40 東京	神奈川県三浦郡逗子町久木 227	昭和電工 K.K. 社員	慶大
競泳コーチ	遊 佐 正 憲	37 香川	東京都豊島区长崎 3ノ24	横浜ゴム K.K. 社員	日大
〃	牧 野 正 藏	37 静岡	東京都杉並区高円寺 4ノ550	日本電報通信社社員	早大
〃	小池 禮 三	36 静岡	東京都大田区雪ヶ谷 902	石井 K.K. 社員	慶大
主 将	古 橋 広之進	23 静岡	東京都世田ヶ谷区野沢町 2ノ142	大同毛織 K.K. 社員	日大
自由形	後 藤 暢	18 福岡	福岡縣朝倉郡朝倉村大字山田 339	福岡縣立浮羽高校	
〃	浜 口 喜 博	26 香川	東京都目黒区中目黒 3ノ950	日本鋼管 K.K. 社員	日大
〃	鈴 木 弘	18 愛知	東京都目黒区三谷町 130	日大	
〃	谷 川 禎次郎	19 大分	同上	〃	
〃	西 拓	25 鹿児島	東京都世田ヶ谷区玉川町 660	明大	
〃	田 中 純 夫	22 広島	東京都北多摩郡保谷町上保谷 729	早大	
〃	田 中 寧 夫	20 福岡	同上	〃	
〃	浅 野 満	19 愛知	東京都北多摩郡保谷町上保谷 729	早大	
〃	橋 爪 四 郎	23 和歌山	東京都大田区新井宿 1ノ2370 玉置方	A. I. U. 社員	日大
〃	北 村 康 雄	19 高知	東京都北多摩郡保谷町上保谷 729	早大	
〃	青 木 行 義	17 熊本	熊本縣鹿本郡六郷村大字下内田川西454	熊本縣立鹿本高校	
背 泳	西 野 恭 正	27 高知	高知縣長岡郡大津村船戸 159	歯科医師	日大
〃	倉 橋 範 彦	19 静岡	東京都目黒区三谷町 130	日大	
平 泳	長 沢 二 郎	20 静岡	東京都北多摩郡保谷町上保谷 929	早大	
〃	田 中 守	19 愛媛	同 右	〃	
〃	梶 川 孝 義	17 広島	同上	〃	
〃	平 山 綽 保	19 福岡	東京都目黒区三谷町 130	日大	
飛 込	毛 利 勝 一	22 東京	東京都新宿区若葉町 1ノ1ノ1	家業	日大
自由形	山 下 貞 子	19 奈良	奈良縣宇智郡野原町大字牧	東京レイヨン K.K. 社員	五條高校
〃	田 村 美 佐 子	18 和歌山	和歌山縣伊都郡妙寺町大字丁ノ町 329	和歌山縣立伊都高校	
〃	大 石 康 子	20 京都	奈良縣山辺郡円波町豊田 1 水鏡寮	天理短期大	
〃	坂 口 文 子	18 奈良	奈良縣宇智郡南宇智村靈安寺 428	奈良縣立五條高校	
〃	宮 部 シズエ	14 奈良	奈良縣宇智郡野原町大字野原 3030	奈良野原中学校	
平 泳	坂 本 和 子	16 奈良	奈良縣宇智郡阪合部村大字大津 309	奈良縣立五條高校	
〃	青 木 政 代	16 和歌山	和歌山縣伊都郡九度山町大字九度山1731	和歌山縣立伊都高校	
飛 込	宮 本 まさみ	17 石川	金沢市尾張町 34	石川縣立櫻ヶ丘高校	



(カット写真はオリンピック村入口)

水連はヘルシンキ・オリンピックの報告書の発刊を進めているが、機翊誌も報告書を出すため田畑委員長をはじめ藤田総監督以下代表役員に丸ビル水連事務所に集つてもらつてオリンピックを語る座談会を開いた。

出席者

田畑政治 藤田明 原秀夫
 安部輝太郎 清川正二(紙上参加)
 小池禮三 遊佐正憲 牧野正藏
 松澤一鶴 根上博 伊藤謹平
 (司会) 辻富士夫

辻 それでは私が進行係りをします。……まずオリンピックのレースの話をして頂いて、それからオリンピック・プールでの練習、その他のことに及んだらと思います。オリンピックのレースのそのものは第2段にして教訓になるようなことを主にコーチに当られた方、監督の藤田さんからレース毎の苦心談、それを内地に残つておられた方からの質問で始めて頂きたいと思います。まず遊佐さんから100メートルのレースについて……

100米自由形

遊佐 成績は御承知の通りですが、大体皆さんか

らレース前に、100メートルが一番最初に行われるので、その成績いかんがその後に行われる競技の士気にも影響するので、100メートルは是が非でも優勝してもらいたいと期待され、また優勝しなければいかぬと我々も思つておつたのですが、結果から現在考えてみますと、鈴木君が2、3ヶ月も早く、なんといふますか、のびておれば優勝したのではないだろうか、例えばインター・カレッジでは57秒4で泳ぎ、あゝいつた練習不足で、大きな試合後にあれだけの記録を出したのだから、もう2、3ヶ月早くあの調子を出しておれば、あるいは優勝したのではないかと思うのです。と同時に、あの時の外国の各選手諸君の成績からみまして、大体日本の選手の記録というのは我々が想像した程度の記録を予選、準決勝で出していました、アメリカのクリーヴランドゴラ、スウェーデンのラルソン、アメリカのスコールズ、これらの記録が予選、準決勝で相当よく、ことにスコールズは準決勝で57秒1を出したし、我々の想像よりも多少いふ記録だつたものですから、とても記録から考えたら優勝はむずかしいのではないだろうかというような気持ちをもつておのたのです。ところが優勝候補のクリーヴランドが準決勝で落ちた。予選では57秒8で泳いでおりながら決勝に残れなかつた。というような調子で、短距離というのは非常に短い種目だけに番狂わせのような現象が



田畑政治氏

非常に起り得る種目ですから予選、準決勝と日本の選手は記録から見ると大していい記録ではないのですが、もしあの場合日本選手が一番記録がよくて優勝候補の随一であるという風に予想されると、か

えつて固くなり過ぎてベルリンの時のように思わぬ不覚をとるとということが考えられたが、予選、準決勝の記録からいえば3番か4番、うまくいって2番になればいざんちやないかという記録だった。そこで、これは案外こちらは気楽な気持ちで出場して、しかも優勝候補のスコールズだとか、あるいは予選準決勝の記録からいうとその次に来るラルソン、あゝいつた連中が固くなり過ぎて反対の現象を起すと満更見捨てたものでもないのではないか、という風に希望していたのですが、結果はあゝいつた成績だったわけなのです。

松沢　　ときにね、レースの前に、というよりもヘルシンキにみんな集つてから、だれが1番強くみえたのですか、記録の上からいつたらクリーヴランドですが、クリーヴランドは例によつてコチコチになつたのですか。

遊佐　　そうですね、クリーヴランドの予選の記録はよかつた。57秒8、ラルソンが57秒5、スコールズは準決勝で57秒1で泳いでいます。

藤田　　アメリカの3人とラルソンはずばぬけていましたね。ラルソンはスウェーデンの練習の時から注目しなければならぬと思つていた。

遊佐　　スコールズもクリーヴランドもコチコチになる選手です。スコールズの如きは予選、準決勝の記録が非常にムラがあるのです。予選が8秒3、準決勝が7秒1、だからいゝムラの時にぶち当れば、記録からみればですが、とてもズコールズには勝てる見込みはない、しかし反対に悪いムラの時にぶち当れば案外食えるのではないかというような考え方をしておつたのです。

小池　　強いと思つたのはラルソン、スコールズ、クリーヴランドだつたですね。日本の選手は後藤もいゝ記録を出しているが、最後にいつてヒツトするのは鈴木だろうという感じでした。

短距離のピッチの問題

松沢　　短距離における泳ぎのピッチの問題ですが

私たち映画でみていると比較的短距離の人達も遅いような気がしたのですが、それでもなかつたのですか。

遊佐　　遅いですね。

松沢　　もつと進化したと思つていたがピッチが遅いようだね、短距離のピッチが遅いのは疑問に思うのだが……

遊佐　　外国選手は昔から大体あんなものではなかつたかと思つています。我々の時代の時も、クリーヴランドもスコールズにくらべればシャープな泳ぎをしております。反対に日本の選手は我々の時よりもピッチの点で遅いといつた感じは確かにあります。

小池　　ぼくは、印象が薄れたが、スコールズ、ラルソンはピッチは遅くないという印象でした。とくにラルソンは相当なものです。

松沢　　映画だから多少スロー・モーションで写しているらしいところがみえるが……本当に目に見た感じと違うのではないかと思つています。みて来た人の感じを。

遊佐　　ラルソンは遅くない、たゞ荒削りですが、あの結果からみますと、スコールズは前半ずつ飛ばして結局逃げこんだのです。後半は参つていた、結局将来の泳ぎ方はあゝしなければならぬと思つます。それをトレーニングによつて最後までもつて行くということではなければ……前半飛ばして浮きながら逃げこむ戦法は非常に苦しい泳ぎだ、前半セーブして後半追いつむ方がレースとしては比較的楽ですがね。

松沢　　原則的には前半飛ばしてなおかつラストで浮かないようにしなければならぬから。

小池　　あれだけのレースぢや前半飛ばさなければ勝てませんよ、細工は出来ませんね、氣分的に。

藤田　　鈴木は前半セーブしてという気持ちはなかつたと思う。結果的にあゝなつたがレースとしてはうまいレースになつたが、あれでいつも柳の下に思つたらダメだ。カダスなんか最後はコチコチに浮いていたね。

辻　　日本の一般の選手の100メートルレースのやり方がそういうことになつていゝとは考えられないですか。

安部　　向うの選手は氣狂いみたいに飛ばして、くちやくちやに浮いてもいゝからやる。

辻　　ラジオで聞いていると、50のターンの時は日本の選手は出て来ない、3番、4番、後になつて出



松澤 一鶴氏

て来る、ベルリンの時はスタートが遅れて50でとり返してあと追いこんだ、今度はスタートはそんなに悪くなかったでしょう。

松澤 スタートは成功していると思う。映画でみる限り

ではね。

小池 遊佐のコーチを聞いていると「ずつ飛ばせずつ飛ばせ」ばかりだった。

松澤 もう少し出ないかなという気がするのだからね。少なくとも短距離は飛ばさなければならぬ。

小池 鈴木が100で勝っていたとしてもあの戦法はいけないよ、予選の時ラルソンは前半を飛ばして泳いでいたので、決勝の時はある程度の野心をもつたのではないかと思うのです。

牧野 決勝は前半遅いからあゝいう惨めな結果になったのではないかと思います。それがラルソンについてもいえないのではないかと思います。

伊藤 50はどのくらい

遊佐 ウチの連中で27秒1か2でしょうね。

伊藤 1秒違ふ。

遊佐 そうです。

スプリントが先決

根上 「飛び出せ、飛び出せ」だけでなく、滑り出しですね、水にうまく乗って、飛び出せといつても、遊佐なんかの時代は出た時にすーと出るでしょう、あゝいう感じがつかめ得ないのではないのですか。

藤田 スプリントそのものがない。6秒6から6秒8くらいの力しかない。26秒フラットあるいは遊佐時代のように6秒を切るようなスプリントがあればね。あきらめているのではない。練習はしているが

小池 こういうことを感ずるのです。スウェーデンにいきました時、コーチが、なんといいましたかね、ユーゴから来ていた……ちよつと忘れましたがプロ・コーチが25メートルを何回かやつて、その次50をやつて、それから100にのぼす。泳ぎの持久力をつけておいて、それにスプリントをつけ加えて100メートルを泳ぐ、どつちでもいゝと思うのです。それが完全に行われればですね、今の若い人達にはスプリントのつけ易い練習方法を余計とらしてやつた方がいゝかも判らぬね。

藤田 それは大事な研究課題だね。

遊佐 バダ足の練習をウンとやると水のひつかりがよくてピッチがあがる、いきなりダツシュすると水にそぐわない、ある程度泳いでからダツシュをやると非常に水に乗り易いし、ピッチをあげ易いのです。だから25のダツシュから50にのぼす方法は、理屈の上ではうなずけるが。

小池 両方ともうまいところへ焦点をもつて来ればそれはどつちでもいゝ。長いの中から入るといのが今の選手に焦点でもつて来にくいということならばやめる。今遊佐がいつた25からのぼすというのは極端な例で、その前にやはりウォーミング・アップもすることです。いきなりやるといつても、素人が25メートル泳ぐというのでなく、ある程度の水準まで来ている人ですから、私のいうのは今の選手にある程度今までよとも短いからのぼして行くような練習方法をとらした方が効果があるのではないか長いのをやつてスプリントをつけて「飛ばせ、飛ばせ」といつても結論はもう出ているから、短いのをやる方がいゝかどうかは判らないが、これは未だやつてない。未知數で結論は出ていないのです。

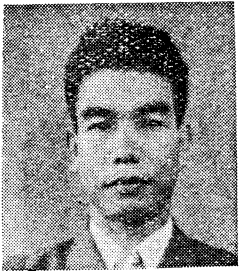
清川 背泳の選手権種目を100、200から50、100米に変えたのは此の狙いなんだが。

小池 200メートルに本当に力を使いきる域に来るには、100メートル泳いで100の間に全力を盡きるところまで来ないと200やつて自分のトップをもつて来れなかつた。100メートルやつて200の前半とほとんど違わないような記録の時があるのです。

遊佐 それは確かにそうですね。

松澤 結局、スタートして浮きあがって来るまでのピッチのもつて行き方、こゝらがカン所ぢやないかと思う。そこらについての感じを聞いているのだ。そこが今の連中、遊佐の一番よかつた時のような、うま味のある、なめらかな滑るような調子でなく、たゞガン張るだけでもつて行く、そういうところに現在の日本の選手との間に差があつたかどうか心配、一番心配なんだ。

伊藤 今年の勤労者の50メートル自由形に宮崎の康さんが泳いだ、あれなんかみるとスタートの浮きあがり勝負がついたという感じがする。スタートしてから20から30のダツシュは今の選手には全然みられないですね、外国の短距離選手はそういうようなスタート・ダツシュしているのではないかと想像しますが。



小池 禮三氏

小池 感じとしては日本の選手は調子にのるまで時間と距離が長過ぎる。そうかといつて必ずしもラルソン、スコールズがいゝ滑り出しをしていない。スコールズに至つて

は日本人的傾向で、自分の本当の泳ぎになるまである程度間合いをおいて行つた方がいゝ、スコールズなんかめちやのちや、考えて泳ぐやうな泳ぎでなかつた。

松澤 そう聞けば日本人もまだチャンスがあるという気がするね。向うに覚えられたらコトだ。

根上 後藤、鈴木、浜口は25をどのくらいで行きますか。

遊佐 7秒6というところでしょう。軽く水をキヤツチするということが出来ない。軽くキヤツチ出来ないのです、すくつて水をキヤツチする。だからピツチがあがらない。水をキヤツチするというのは、これは自分の体験からつかまなければだめです。極端に言えば手探ぐりしている。軽くキヤツチ出来ない。だからうまく水をキヤツチするまでに時間がかゝつちやう。ポコツと飛び出して最初の掻き出しがうまく水にのらないのです。

伊藤 最初の掻き出しにピツチをあげることに氣を奪われすぎてキヤツチ出来ないということはないのですか。

遊佐 決して意識したアレにみえないのです。後藤あたりは比較的軽いキヤツチをしますが。体力があゝいつた体力ですからね、体力から来るハンデキヤツプが……

原 1 掻き、2 掻き、出る時にですね、昔の連中は飛びこんで出て来る時に斜めに浅くあがる線があつたと思います。今の選手は初めから水に落ちてもがいているといった感じです。

遊佐 それが出来れば50メートルもいゝ記録が出るのですが、そこらに進歩する余地があるのですよ
辻 次のレースに移りましょう。800米リレー。

800 米 リ レ ー

遊佐 800 リレーは大体において各コーチの考え方も一致していたのです。私の感じをいえば、800 リレーは生易しいものではない、非常に白熱戦になる。ということはだれも考えておつたのですが、案の定、相当競合つたのです。オーダーですがね、一

應やはりこれはオーソドックスな考え方で、一番信頼出来るものをまず出すに違いない。こつちもそれに匹敵するようなものをトップにもつて行く、というような考え方をしておつたのです。一方小池は、「結果からみてどうしても記録の上で勝つ見込みがないということならば強い順に出したら……」という。予選の結果をみると、日本が一番いゝ記録だつた。それで普通のオーダーということになつたんですが、私の考えでは100メートル決勝でまあまあという成績で泳いだ鈴木、これは氣をよくしているしスプリントもあるからトップにもつて行つてこゝで差をつけちやう。短距離のスプリントをもつている浜口、これに引繼ぐ、その差をいかに縮めないように逃げこむかというような作戦をとつたのです。ところが余りにもアメリカ・チームの力が強かつたというか、結局あゝいう結果になつたのですが、結局あれで考えられることは、あの時においては、古橋をラチ外に考えてあれ以上の記録は、順をいかに変えようが、あれ以上の記録は望めない。あれが精いつばいの記録ではないか、0秒4とか6とか、いゝ悪いは起ることが予想されても、着順の結果はどうしてもあの時の力ではアメリカには勝てなかつた、あのメンバーではね。

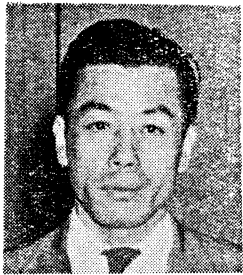
—アメリカのオーダーは予想通り— だが強すぎた

藤田 前の日の予選がすんだ時、コーチの人が集つて色々作戦をねつたわけです。アメリカのオーダーはどうだ、日本はそれに対してどうするか、ということを一時間くらい、随分あゝでもない、こうでもないやつたが結局あのオーダーにきまつた。アメリカのオーダーは「向うはこうだろう、だから日本はこれで行けばいゝ」と考えたがこちらの見込み通りだつた。ところがレースやつたらアメリカが強すぎた。アメリカの中でも紺野、マツクレンが強すぎた。オリンピックレースが始まる2、3日前にアメリカのリレーメンバーを決定する最終予選が行われた。ブラジル選手がタイムをとつて知らせてくれたが、その時の結果では9秒6平均です。

小池 総合で39秒いくらかでしたね、あとにまた第2予選をやつたのです。

遊佐 あの時はみんな9秒4

小池 その時いゝのを全部集めれば38秒いくらです。



遊佐正憲氏

遊佐 ムーアが9秒4、マツクレーンが9秒5、紺野が9秒6、一番悪いのでも10秒台だった。

安部 とにかく紺野、マツクレーンの出来栄は彼ら自身意外だし、喜ぶと同時に驚

ろていたね。

遊佐 マツクレーン、紺野が1、2番に出たら判らなかつた、2人とも長距離選手でしょう、追いかけて縮めればいゝという考えでぐいぐい出るでしょう、追う身であれだけの記録が出たと思うのです。この2人を鈴木、浜口に蹴合わせて最初にならべたらどうなつたか判らない。

安部 古橋が使えなかつたので後藤を出してみたらよくやつた。

小池 私個人の感じでは、紺野、マツクレーンにしても、日本の選手で太刀打ち出来る役者はいない。そういう考えだつたのです。どうせ太刀打ち出来ないならラストで……ということだつた、ところが検討してみると予選などある程度日本の方がいゝという予想が出た、それなら谷川をアンカーにもつて行こう、ということにきまつたのです。ところが結果から考えて、3番に谷川を泳がしてみたかつたという感じがなくてもいいのです。

安部 とにかくあれは5メートルから7メートル離していたら谷川でもある程度ゆとりをもつて逃げたでしょう、最後にマツクレーンと1メートルか1メートル半くらいの差で飛びこんだ、何時蛇にのまれるか判らぬ、ヒヤヒヤしましたよ、後藤よりは谷川の方が200のレースには力の温存からいつても逃げたと思うのです。結果からですよ、試合やる前にはいゝということを出したが。

後藤を予選にも何故泳がしたか

根上 予選の時に後藤、浜口というところで、後藤は100で相当心身ともに疲れているし、予選だけ軽くしてやつたらという気持ちを一緒に感じておつたのですが、そのわけは帰つて來られての話でできておりますが。

辻 その点一般読者にも判るようにむし返して頂きたいと思つています。後藤を予選の時に樂にしてやつたらよかつたのではないかという感じがしますね。

松澤 それというのも結果からみてのことで、決

勝であれだけいけたんだから予選を休んだら。……

田畑 自信をもたせるということが主だつた。実際100で鈴木が2等になつたので、これはいけるかも判らぬ、という気持ちをもちかけた、あれで一つやらなくちやみんなの気持ちをもちこたえることが出来なかつたと思う。

松澤 代役を出して最後の一発でパツとやれば……ということは成立しません。予選、準決勝に出てあの雰囲気になれること自体が好調にもつて行く要素なんです。

根上 たゞね、後藤なる選手を知っているものはいうが、前から九州あたりでも試合する時、「2日使いの後藤には絶対勝てる」という、その後藤を何故予選に使つたか、もう一度休ませて気分をよくしてやつたら更によかつたのではないか。

田畑 結果からはそうかも判らぬが、もつと予選のレコードがよくなければアメリカは更に色氣を出したので。……

清川 予選の時のメンバーとオーダーも相当議論をした末に決定したのであつたが、その時の狙いはあの雰囲気の中で一遍200のレースを泳がせてペースを覚えさせた後、決勝に臨ませる事が良いと云う結論に達したからだ。

小池 予選は準正式のオーダーで、後にそれが正式のものになつたが、日本は800リレーも確実に勝ちたい。100にも勝ちたい。しかしそれをねらう陣容がなかつた。最初の100が勝負だ、これに負けたら後の連中の士氣に影響する。ところが鈴木は自分としてはまあまあ成績、後藤は彼の気持ちをみたく十分に結果ではなかつた、彼としてはむしろクサる結果だつたと思う。そこで古橋の問題が入つて來るのです。古橋が入つた場合、後藤をやめさずか浜口か、100の連中は100を第一番の目標にして來ているから、200のペースというものを比較的もつ機会が少なかつたということもあつたのです。そういう考えで決勝で泳ぐ連中に近いものでやつたらいゝんぢやないか、結局私たちみんなそういう気持ちだつたが、後藤が予選で2分14秒、あそこで遊佐なんか迷つたと思うのです。こいつの迷いは非常なものだつた。先生疲労コンパイであの結果だつたのか、それともある程度氣を抜いて泳いだのか、もしそうだとすると遊佐がはじめねらつた目的にそわないわけです。だけれども遊佐としてみれば、100を58秒で泳げるものが200に14秒かゝることはないだろう、



藤田 明氏

そういう遊佐の決断で……

田畑 ぼくは信頼はおいて
いなかっただと思うね、後藤に
も、アンカーの谷川にも、ぼ
くは相談にのらなかつたが、
あの時の本当のメンバーは鈴
木と谷川だけだよ、本当なら

後藤をやめさず、浜口も。そうすると代るものが2
人ないと800リレーは出来ない。

藤田 その通りです、予選のすんだ時の相談でも
決勝メンバーをどうするか。古橋、浜口、後藤の3
人のうちどの2人を使うか、オーダーはどうする
か、それに議論が集中した、去年のような力があれ
ば古橋をアンカーにもつて行つてゆうゆう勝てたに
違いない。しかしせいぜい10秒だろうからその点後
藤の方がまだ使えるという議論が出たのです。あら
ゆる検討をしての結果です。

安部 400の準決勝の古橋の泳ぎをみて、その上
できめようということだつた。後藤に対する信頼感
はなかつた。

田畑 100だけでは200でどれだけ行くかやらして
みなければ判らぬ。

根上 記録からみるとね。

藤田 本当の意味でオリンピックの日本チームの
ヤマだつたね、アメリカが強すぎて金メダルをとれ
なかつたが、あれが勝つていれば1500も勝つたと
思う。

田畑 100の鈴木でちよつとみんなの気持ちを明
るくしたからね、800リレーで勝つていたら。

遊佐 図々しい話になるが、100の結果をみても
もう2メートル先から鈴木がガン張れたらと思うの
です。あと1メートルか1メートル半あれば必らず
勝つた、もう2メートル早くガン張れたら……結果
からみて欲を出すわけですか、まああの記録に対
しては「鈴木、よくやつた」という以外はないですね

根上 それはそうでしょう、100の第一予選をラ
ジオで聞いたが、これぢやテンでダメだと思つた。

小池 800リレーは鈴木、浜口の出来栄えに紺野
マツクレンが上回つていたところだね。

伊藤 引継ぎの点では

藤田 それは日本の方がうまいね。

辻 役員が手を押えるというようなことは。

藤田 やりません。

根上 --- フライイングはどうですか。

藤田 どこもなかつたですね。

小池 スターターがほとんどきせなかつたね、引
継ぎは「お前は日本をみろ」とか、ジャッジに指名
的にみせるのです。

安部 アメリカに日本のをみさせている、怒つて
いたよ。

辻 400に移りませう。

400も短距離の時代へ

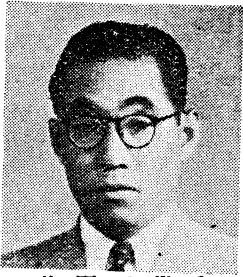
牧野 400は御承知のように、古橋君の調子が出
じまいであつた結果になつたのですが、古橋君の
今までの競技ぶりからみまして、前半を強くすれば
後半浮くという選手ではないから。前半に飛ばし
て出ればなんとかなるだろうという考えで、非常に
前半の出だしを練習したのですが、どういふものか
泳ぎが非常にガタついておりまして、前半が思うよ
うに出なくて、後半も疲れてしまつて思うような実
力が出なかつた。そういう結果になつたのです。

400のレースをみまして感じたことは、400は中距離
でなくて短距離の域に入つて来たというような感じ
をうけたのです。ことに決勝でボウトウと紺野の競
合をみたのですが、結局ボウトウが優勝したこと
は、実力もあつたがレースが非常にうまかつたとい
うか、前半を非常に早いペースで300で紺野との差
を2メートルくらいあけていました、その開きを紺
野が一気に300でとりもどそうとラストで使う力を
300で使つた。350くらいの時には一度追いついたの
ですが、前半飛び出されて追いつこうとした疲れが
出て紺野は敗れた。そういう結果からみて、日本の
選手も今後400に優勝しようと思つたらどうしても
短距離の時に話が出たのですが、前半を飛ばして行
かなければダメだ、という結論に到達したと思いま
す。そのいふ例が紺野とボウトウの結果がそこに現
れて来たのではないかと思います。

辻 ボウトウのラップをみますとはじめの100は
1分2秒7、その次の100が1分9秒6、その次の100が
1分9秒1、次が1分9秒3で泳いでいる、あとの300
の各100はほとんど同じ力で泳いでいる。

小池 紺野の300目は早かつたね。

牧野 400のレースは300で勝負がきまるという
調子で一気にならぼうとした、その焦つた力がラス
トに使えなかつた、無理したから、だから結局400
も短距離と同じようにはじめ飛ばしておけば300で
追いつこうとした選手が最後に力を出せぬのであと



牧野正蔵氏

の25を浮いてしまうという結果になりますから、結局はじめから飛ばさなければ今後のレースにおいて優勝はむずかしい。

藤田 400 をみて感じることとは、他の種目も非常に飛躍

があつたが、400 は更に飛躍の幅が大きかつた。とくに前半のペースが早くなつている、今後日本も200を10秒切る選手でないと400は競合えない。そういう意味で谷川なんかはやりようによつてはいゝ選手になれる。

根上 200 が早くないとやれないね。

牧野 ロスアンゼルス、ベルリンの時は力の泳ぎのように思うのです。バスター・クラブにしてもメデイカにしても力の泳ぎなんです。

遊佐 今度の泳ぎは短くてシャープなんです、力というより短い泳ぎです。それだけ短距離式の泳ぎだということがいえるのではないかと思います。

松澤 ボワトウの泳ぎは。

ボワトウの泳ぎ

遊佐 あれはとくに上半身が強い選手とも思はれぬ、足も、昔の宮崎とか、鈴木泳ぎは足が強いでしょう、ボワトウの足がとくに強いという特長もない、背が高くて足も手もベラボウに強いというのではない。

松澤 手を正しく掻いているのだろうか、バスター・クラブやメデイカのように多少手を振り回している？

安部 あれほどみつともなくない。

牧野 一気に掻いております。ふせつているという感じは私はうけなかつた。今までの外国の選手はそういう感じをうけたが、ボワトウとか強い選手の泳ぎをみると、泳ぎ方が一変しております。足も昔と違つて強くなつている、たゞ日本の選手は飛泳が非常にあがるから、そういう点から日本選手は強いという感じをうけます。

松澤 ぼくら=ニュース映画で知つただけだが、非常に短いのだ、ボワトウの出る来るのが。

辻 古橋の絶頂期でも足のシブキはあがつていない。水の中で強いのだ。

田畑 ボワトウにしる、紺野にしる、マツクレンにしる、何れも鮮やかという感じをうけたね。

安部 その鮮やかさが日本的だね、日本選手よりむしろ日本的だよ。(笑声)

田畑 日本選手も調子が出ればあゝいう泳ぎだ。

根上 ということは、従来より足が利いて來ている。利いて來て手足のバランスが非常によくつて來ているのだと思う。

辻 ぼくらラジオ聞いていて予選の時はそう驚かなかつた。準決勝でベラボウにいゝ記録が出て、決勝にさらにいゝ記録が出た、予選、決勝の泳ぎに変化かありますか

牧野 そう見受けられなかつたですね。要するに前半セーブしたとかなんとかいうことでなしに、細工なしに調子にのつてうまくのびて行つたという感じをうけた。

遊佐 とくに準決勝、決勝の間に力のセーブはないね。

牧野 予選にもそれは見受けられなかつた。予選なんかみても相当みんなガン張つている、一番いゝのを出したのがスウェーデンのオストランド。

辻 38秒6ですか。

小池 結局30秒、31秒という記録はこれからは常識になるかも知れぬが、今度のオリンピックに関する限り、オリンピックの感激というものと、彼らの闘志、肉体的なコンディションが本当のいゝ意味の方に突つ走つて突飛もない記録を出した、フロックという言葉が悪ければ、少くとも常識よりも外れたいゝ出来栄えだつたという気がする。

紺野自信をつける

安部 どの国の専門家もこの記録は予期していなかつたろう、モノの見事な記録だつた。

辻 オストランドは予選から決勝まで30秒台で泳いでおりますね。

田畑 紺野は決勝を泳いだ紺野と前の紺野とは別人のようだつた。

遊佐 800 リレーでえらい自信をつけました。

小池 800 リレー、400、1500 と一ツツツが肉をつけていつた。

田畑 ボワトウに負けたことは口惜しかつたろうが、「口惜しいがいける」という、400 で負けながら非常な自信をつけました。

小池 橋爪がもうそこで陰影を投げさせられたのです。紺野の31秒というスピートに。



辻 富士夫氏

辻 ボワトウだつて1500に出るかも判らぬし。

田畑 外からみている感じでは両田中、古橋では400は無理ぞという感じだつた。古橋くらいの体でないと、谷川は400にいかどうか判らぬ

が、400が短距離になつたといつても無理ぢやないかな、体力的に、400は体力を消耗するからね。

安部 それはありますね、スプリントがなければならぬし。

松澤 紺野はよくなつたね。

小池 えい、よくなつております。

安部 度胸も大人になつているしね。

小池 泳ぎはよくなかつたね、手がヒン曲つていて。

藤田 練習の時はよくなかつたね。先生蓄膿症の手術をやつたでしょう。それで休んでいて、その休んだことがオリンピックに調子が出る条件になつたのかも知れない。

田畑 こつちがある程度離していた、あれを追い抜くということは、抜けなくても恥にはならないといふところでめちやくちやにやつた、やつだらあの通り非常に楽なレースだ、負けても当りまえ。

遊佐 だから最初の鈴木、浜口に対して向うがマツクレン、紺野の2人をもつて来てやらしたら、果して2人があれだけのラップでやれたかどうか疑問だ。

小池 マツクレンがトップに出たら鈴木には勝てない。

遊佐 心の置きどころ一つで、紺野は練習中には大してよくななくても、あゝいつた雰圍気に入ると、そういう人がおりますね。

小池 あれだつて、紺野がはじめから自分に力があるということが判つておればボワトウに勝つていたよ。

松澤 その他の選手は。

ボワトウ・紺野以外の選手

田畑 紺野、マツクレン、ボワトウの3人はとび抜けていたね、余りにも光つていたので他の選手はちよつと。……

藤田 そのマツクレンも400のレースではダメだつた。800リレーで精魂を使い果した。

根上 ノドを痛くしたという=ニュースが入つて来たが……

藤田 試合の前はムーアが優勝候補にあげられていたが、これがカスンでしまつた。

根上 こつちで感じたことでは、これは結局評判倒れぢやないかと思つていましたよ。

背 泳

辻 バックは日本は一向に進歩していないが、同じ日本人種であるオヤカワ、あれが非常にいい記録を出した。体も大きくないですね。そういうところをみると日本の現在の泳ぎが悪いのか、向うが別の条件をもつているのか。

遊佐 これは我々も考えたことがあるが、日本のバックが他の種目に比べて見劣りがするということは、プレスト、クロールは初心者に対して、クロールが一番早い泳ぎだといふので魅力がある。初心者が泳ぎはじめるのは平泳ぎでしょう、クロールに魅力があり、平泳ぎは入り易い、バックの選手に何故バックをやるようになったかと聞くと、クロールやつてもウダツがあがらない?(笑声) 兄貴がバックの選手だからおれもやる、そんなわけでバックやる人間が少ないのです。

田畑 質も悪いね。

オヤカワの強味

小池 しかし倉橋、芦田級になると相当の素質があるとみていい。今、同じ日本人種云々といわれたが、みたところオヤカワは全く日本人です。だが体はいいです、背はそんなに高くないが均整のとれた筋肉といふ、いい体です。昔清川が非常に元気だつたころの足の格好、極端に内マクで、フクラハキがモノスゴク発達している、モモの筋肉もスゴク発達している、オヤカワをみてそう感じました。

安部 肩幅が広くて背中筋肉がうんとついているね。

小池 背の高さでは日本選手はヒケをとらぬが、筋肉の発達では目立たないがよく観察すると雲泥の差がある。

安部 バックというのは日本で泳法としての歴史がない、平泳ぎやフリースタイルにくらべてね、過去の戦績は比較的いいが、よく考えてみると、そういつちや悪いが、ロスアンゼルスで3本掲げたが、日本はバックがすば抜けてよかつたといふのではな



原 秀夫氏

かつた、アメリカの選手が出て来なかつただけだ、考えてみれば20年前から世界のレベル、日本のレベルに差があつた、今度はそれが激しかつた。

原 合宿中から体を見てみるとバツクの選手が一番動作が鈍いね、競泳の日本選手の中でね。

辻 ポゾンというのは？

小池 小さいといつても日本人からみれば大きいオヤカワよりクセがない。

遊佐 バツクでは惨敗したが、5秒、6秒台で泳ぐにはスタックみたいな、6尺豊の体をもつていなければとても泳げるもんぢやないと思つていた。ところがオヤカワが出せるなら我々の体力でもその近くまでいくんぢやないか、そういう氣持をバツクの連中にもつてもらいたいと思いますね。

根上 6尺豊かの連中のやつているバツク、あれと日本人のように小さいものの泳ぎとでは若干違ふと思います。背の小さい連中のやつている泳ぎがいゝとすればそういう面を採用して行けば、全面的にとるというのではなく、いゝところをとつて行けば將來の日本バツクいけるのでは……。素人目でみても胸が、体がのびていないような氣がする、クロールの場合、「そる」といつても弓なりになるのではない、体がのびている姿勢でなければならぬ。バツクの場合も胸、腹が引つこんでいるのが多い、手の使いが悪いのではないかと思う。そういう意味で、背の小さい連中がやつている泳ぎ、そういうところに改良して行くところがあるのではないのでしょうか。

遊佐 それはあるでしょうね。

田畑 スタックなんかの方が器用だね、ウマさがあるという感じだ。キープアーなんか丸太を引つかくような感じだつた。

松澤 バツクは我々ニュース映画もみていない。日本に来ないから新聞写真でみるだけで見当がつかない。バツクについて聞きたいのはキヤッチする場所はどの辺だろう、それから肩の使い方、手を抜く時のね。

遊佐 小池のいつたことだが、オヤカワは清川の泳ぎを想像してもらえば……。多少の違いはありますがそうベラボウに……。

小池 清川の泳ぎほどローリングを使わない、猛烈に足が強い、ベラボウに強い。

遊佐 足が強いから水を押えられるのでしょうかね。

小池 比較的ピッチも早くないですよ。

松澤 河津憲太郎に肉をつけて。

小池 あれほどローリングもない。

松澤 入る時拇指を下に向けて。

小池 清川、河津みたいにヒジを極度に上にもつて行かない、昔流のバツクでペタンと水にもつて行くアレと、ヒジをあげる、あの中間くらいでしょうね。

松澤 それで肩浮いているのですか。

田畑 浮いている、クロールみたいについているんだ。

藤田 肩が非常にやわらかくなつている感じだ。クロールを引つくり返したようで楽に泳いでいる。

遊佐 キープアーと全然違ふ、キープアーは女性的に、キレイに泳ごうという感じ、西野なんかもそうでしょう、あゝいう弱々しい泳ぎではない、オヤカワは。

小池 モリモリ出るね。

遊佐 だから力の泳ぎと見受けられる。

小池 クロールと手足の配分を同じにもつて行つている、足に重点をおいて手を合せて行く強引さがない、結局足で蹴つて手を合せて行く。

遊佐 日本の泳ぎは手で搔いて足で進むところがない、ところがオヤカワの泳ぎは一蹴り、一蹴きで進んでいる、グングンと進んでいる。

安部 ラストで出た時の泳ぎ、ヒデモんでしたね。

小池 85くらいまではいゝ勝負だつた、85でオヤカワが勝つたと思つたね、ポゾンとならんでいたか明らかに判つた。

松澤 オヤカワのピッチ遅いということだつたが日本選手のバツクと比較するとどつちがピッチ早いのですか。

藤田 それは向うだろう。

小池 ポゾンなんか完全に早い。

田畑 お姫さまと下男という感じだよ。

遊佐 弱々しいね。

安部 出かける前の神宮の選考委員会の時にも、フリーの優秀なものが引つくり返つたらどうか、今のバツクより早いのではないか、という話が出たが



清川正二氏

ね。
遊佐 極端にいうとそういう考えが出るが。

背泳の新傾向

清川 今度の大会の決勝記録をロスアンゼルス、ベルリン及びロンドンの大会のそれに比較してみると、ヘルシンキ大会の決勝に於いては6等が1分7秒8で泳いで居り、記録的には世界の背泳のレベルがグンと上昇して居る事が判かるが、之れに対して日本選手に逆行してベルリン、ロスアンゼルス以前に帰つて1分10秒が切れなかつたのであんな不成績で申訳無いと思つて居ます。

併し、「泳ぎ」を技術的に見た場合には之れと云つて特に大きな変化は見受けられず、第1位(1分5秒4)になつたオヤカワ、第2位(1分6秒2)のボゾン、第3位(1分6秒4)のテーラーと何れの泳法を見ても、16年前のベルリンで常に1分7秒で泳いで居た当時の私の泳ぎを御想像願えればよいと思ひます。

唯非常に目に著いた傾向としては、各国ともに背泳に於ける「脚」の重要性を認識して「良い脚」——鞭の様に軟らかく、滑らかに蹴り上げる脚——を持つて出て来て居た事だ、それが水準向上の主原因であり、その代表的なものが、オヤカワとボゾンでした。

之れ迄の皆さんの話でも判かる様に、100のゴール・インまで良く脚が利いていて身体が水面に浮いていた事が皆さんの印象に残つて居る訳だが、吾々としても今后「脚の練習」には更に重点を置かねばならぬと思ひました。そうすればスプリントもついてくる筈です。

腕の動作は一般の傾向として、肘を曲げずに真直ぐにして顔の眞上でなく、横へ持つて行つて返して居り、手は下向けにして手先を先きに入れて居りました。

脚が利いて居る爲めに一般にローリングがなく、アゴを引いて頭を安定させ、腰を伸ばしている爲めに体位は高く保たれて居ります。

手の掻き方は、ボゾンが掻く途中で多少水を下へ抑えて居た外は大体、体の側面を水面に並行にモモ迄真直ぐに掻き切つて居りました。

先程からペースの問題で前半飛ばす事が強調され

ましたが、背泳でも同様で前半の50mを30秒台から遅くても31秒4では入らないと問題にされなくなり100米背泳種目は完全にスプリントの競争になりました。

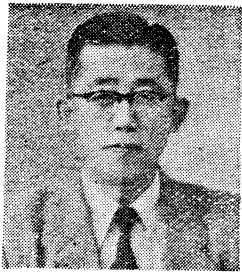
平泳

辻 その辺で今度は平泳に。

小池 平泳はなんといふますか、あんまりいふ記録が出ませんでした、試合前に私がとつた記録では平山が38秒4で1番よかつた、これはレースになれば7、8秒近くまでは来るのではないかという気がして試合に臨んだのですが、第1予選はどんなことをしても40秒を出ると思っていた、で「泳ぎたい通りに泳げ」といつたのです。準決ではよくいつたら2人残る、悪い場合は1人という風に思つて「準決が決勝のつもりではじみから飛ばせ」ということでやつたのです。梶川、長沢が同じ組、平山だけが別の組に出たのです。組合せをみた時、平山1人だから平山が残ればあとの2人も確実に残るだろうと思つていた、最後の追いこみで平山がよくガン張りアメリカのホランに勝つた、平山が残つたから「しめた」と思つて次の組をみたところ梶川が非常によく泳ぎ、ドイツのクラインを、クラインは力をセーブしていたようでもあつたが、これを追いこむようにしてわずかに負けたが7移3で通り、長沢も4番で入つて結局3人残れた。3人残つたのでそのうちだれか1人相当なことをやつてくれるという期待をかけていたが、決勝をやつてみると、後で思つての感じでは、梶川が期待したほど泳いでくれなかつた、というのは準決までの記録で1番いゝのがデイヴィスの6秒8、梶川は7秒3で來ているので先生相当野心をもつていたと思うのです。「ひよつとしたら優勝」という夢を描いていたらと思う。決勝の時ははじめから焦つていて、手の向きも双方違つているような泳ぎでうまく泳げなかつた。結局4、5、6位に入つたが上位3人とはつきり差をつけられてしまつた。日本選手はたとえクラインあたりまでいつたとしても、あの時の実力では優勝は無理だつた、という感じを決勝をやつた後の感じでうけたのです。

外国選手の印象

ブレストの特長として印象に残つたのは、優勝したのは濠州のデイヴィスだが、一番印象に残つたのは



安部 輝太郎氏

アメリカのスタスフオース、6秒で泳いでいるので注目したがオリンピックに来て泳ぎをみたら全然なっていない、ボゾンの泳ぎは実に素晴らしい泳ぎだった。これはスタスフオースよりボゾンぢやないかという見方をしていたが、そのボズンは準決で変なことをやつてダメになり、スタスフオースは第1予選ではじめ12秒8から3で入って来てラストはようやくたどりつくといつた泳ぎで残って来て、準決になつたらうまくやるだろうとみていたが第1予選と同じなんです。準決もよくなかったのです。それで入って来て決勝ではなんとかするかと思つていたら決勝も同じ行き方なんです。徹頭徹尾「これでもかこれでもか」という風にはじめからすつ飛ばす、決勝の時は最後まで続いて4秒いくら、3秒近くの記録をあげちやつたのです、スタスフオースがの平泳のうち一番感銘をうけました。残つた日本3人のうち3人が3人ああいうことをすれば、1人くらいは5秒の線を突破出来、優勝は出来なくても1番と差をそうあけなくて試合出来たという感じをうけたのです。デイヴィスという選手は、練習中の泳ぎをみていると、「これで5秒で泳ぐ選手か」という選手です。全然ピッチングなし、手は手、足はバラバラという泳ぎで、スピードという観念から遠いのです。試合前にキツパスだつたかに聞きましたら、「あれはとにかく前半が遅いのだ、極端に言えば20秒で行つて18秒で帰って来る選手だ」と。予選、準決でみると17秒くらい、それが38秒くらいで入っている。ところが決勝の時は彼も前半そんなにゆつくりぢやなかつた、日本選手より先んじているくらいで帰って来た、最後まで例の調子の追いこみで、段々しりあがりにあがつて行く泳ぎでスタスフオースと競合つてポイント3で勝つたが、これも泳ぎとしては特異の印象をうけました。そういう風に考えてみても日本選手がああ程度だつたということは可もなし、不可もなしというところで、驚いたことにはあれだけ老巧のスタスフオースが優勝目指してやつて来た精神力、これにはびつくりしました。

松澤 泳ぎ方としてウマ味は？

小池 ウマ味はないです。手は手、足は足で強いのです。

松澤 クラインは？

安部 ラーデマツヘルがバタフライやつた感じだ。

小池 ベルリンで33秒0で泳いでいる、オリンピック3日前に飛行機で来たが相当あがつていましたね、自分が優勝候補だということで、やつているのをみたら案外中途半端な泳ぎです、必死でガン張るわけでもなし、調子を落すわけでもなし、準決で梶川に追いこまれるのをみてそういう感じがした。

遊佐 初期のバタフライの泳ぎですね。

田畑 フィリピンのイルデフオンゾ。

安部 の方がうまかつた。

遊佐 水の抵抗を力でカバーしていた。

田畑 スタスフオースは予選の方がよかつたぢやないの？

小池 準決は8秒7、予選が。

伊藤 予選は9秒3です。

藤田 クラインも優勝する自信をもつていた、新聞記者がインタビューに来て全然よせつけなかつた。

田畑 敗れて悔なしだね、スタスフオースは。

遊佐 あがつたりして強い。

原 スタスフオースはよくあがりますね、シヨボシヨボした目でね、あがつているが強い。

泳ぎの特長

松澤 ブレストとして驚くようなことは？

小池 技術的に参考になつたのは、デイヴィスの泳ぎとペースのもつて行き方、しりあがりグングン出る、これは短距離の場合と相反しますが。

藤田 最後の25メートルの追いこみ、すごいね。

小池 もう一つ泳ぎとして感じたことは、ホランです、うつ伏つて軽く、無理のない、泳ぎとしてはバタフライでオリンピックの中で一番だと思いました。

バタフライは別種目に

尾ひれ式もよい

安部 技術的に得るところとなりますと、メルボルンでバタフライがあるとすれば、ドルフィン、テイル(尾ひれ)があるんだから、革命的泳ぎが各国で発達して来るということは覚悟しなければならぬ。



根上 博氏

松澤 バタフライをやるならあれをやらさなければならぬと思つたのだ、バタフライは別種目ということになればバタフライはえらい調子の変わった事になる、これは初耳だ。

藤田 平泳ぢやないという

ことになつたのですね。

小池 そういう意見も出ておつたという風に聞いて、可決されたというふうには聞かなかつた。

安部 可決されたのです。

松澤 そうなると平泳でなくフリースタイルで行く泳法になつた、ドルフィン・テイルの制限もないでしょう。

安部 もちろんないのです。それについてオーストラリアのフィリップスという役員ですが、今の問題を討議した時、ドルフィン・テイルでバタフライをやるフリースタイルより早くなるのではないかといつていた、これはおかしい、ちよつとあり得ないと思うがね。

松澤 今度アメリカのヘッド・コーチになつたミシガンのマット・マン、あれのところではドルフィンで大変な成績を出したことがある。

安部 そうなつて早くなつたら今フリーをバタフライでやればいい。おかしなところに筋肉がついて

次のオリンピックで平泳とバタフライ

安部 双方をやるのを I. O. C. で許さない場合、どつちでやるか決をとつたら勢のおもむくところ平泳ということになつちやつたのです。

田畑 絶対にぼくは次のオリンピックはバタフライはないと思つてそういう見通しをつけていたが、どうしても入れたいという意見が強く、各種目の出場を2人にしてでも尚且つあれを入れたいという場合には I. O. C. も承知するよ。しかし2人でいいという各国の意見になるかどうか、問題は残る。

安部 アメリカが「バタフライもオーソドックスでもいいぢやないか」と極端にいって来た、バタフライは非合法ではないぢやないか、出来た原因はどこにあつたか、ルール欠陥をついて出来た泳ぎか知らぬが、ここまで発達したら一家をなすぢやないか、発展を助長するのが世界水泳界の行くべき道でそれをつみとるといふことは発達妨害ぢやないかと主張した。それが行過ぎていた、多くの国ではバ

タフライは継つ子だ。

田畑 はじめブレストに2種目あるということにするはずだつた。

安部 ブレストに2種類あり、一方はオーソドックス、一方はバタフライ、それをまた引つくり返した、はじめ投票はとつていないので、あの結果はインチキだということにスペイン、アルゼンチンも賛成した、決をとつたら別だという結果になつた。

田畑 日本の連中のバタフライは調子のいい時、悪い時が時によつて多い、日本人は好調不調がありすぎる。

小池 それはどこでもそうです、結局泳ぎが未完成なんです。

藤田 泳ぎに安定性がない、小池がさつきいつたが、梶川の準決勝の泳ぎはよかつたね、小池もさつき指摘したが、彼は優勝というねらいをもつた、それで固くなつた、あれは惜しかつたね。

小池 記録的には種目そのものが不安定だということと、また各国とも行きつくところに行つていないということでしょう。

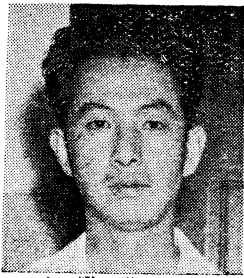
田畑 あの行き方だと。

小池 30秒切りますよ。

辻 それでは1500の方に。

1500米自由形

牧野 1500は橋爪が調子がよくて、ストックホルムの合宿中の練習記録がヘルシンキに流れて戦前から1500の優勝は橋爪だ、というウワサが立ちまして、本人もその気をもつたのです。何分にもレースが一番最後であつたし、日本の水泳が全部負けて旗をあげなければならぬ最後だという責任感をもたせたのではないか、そういう点で橋爪君が精神的負担を感じたのではないかという面も多分にあつたのです。予選の時非常に悪いコースでありまして、一番端の1コースを得た、どう方法でいつたらいいか相談もちかけられたが、非常に調子がいいから自分の思うようにやつてみる、というので泳いだら非常に好い記録が出たわけです、ところが一方の紺野は、さつきも話が出たのですが、やるたびに上昇して来て、とくに400の記録なんか、日米対抗の時の彼の過去の全盛時代のよりよい記録で泳いだという強味をみせており、彼自身もそこで野心をもつたのではないかと思いますが、結局決勝においては最後に紺野の方がスプリントがあつて、どつちみち負ける



伊藤 謹平氏

のだということを感じたし、橋爪君自身も「ならば負け」ということで、前半で勝負をきめなければならぬ、ということから前半飛び出したが、今から思うと前半の100から4,500の間の飛び出しがちよつと無理した飛び出しぢやないかと思うのです。

橋爪あせる

前半もう少し楽な気持ちで飛び出して行けばある程度の試合は出来たのではないかと思うのです。800から1300のところの距離をみてみますと、いつも同じ間隔ですつと紺野がひつついて泳いでいた。1300で頭をならべた時、「これはもういかん」という気持ちを抱いたのですが、あの結果からみれば紺野が非常にのぼり坂であつたという点につきるのではないかと思います。橋爪君も非常によくやってくれたので、橋爪君自体としても心残りなく戦つたのではないかと思うのです。要するに1500ということになりますと距離が長いのですから、調子にのつた選手にはとても勝てない、という印象をうけました、例の3等になつたブラジルの岡本という選手も予選でマツクレーンと組んでチョコチョコの勝負をして居つたのではないのですか。

辻 岡本は予選でマツクレーンと一緒にやりますよ、ソルダスと一緒にです、岡本はこの時19分5秒6、マツクレーンはB組で19分9秒3です。

牧野 いい成績で入つて来たということも紺野君と同じでのぼり坂にあつた。岡本はブラジルの予選では非常に悪い成績だつた。オリンピックに来て泳いだら調子がよくて、結局その調子をのばしてああいう結果になつた、実力からいけばあそこまで行く選手ではないと思つてた。結局波にのつたら長距離においてはさからえないという感じをうけたのです。

田畑 結果論からいうと牧野のいう通り、400くらいははじめにセーブしておけばなんとかいつたか判らぬが、しかし相手に800リレーで暴れた紺野がいるということ、あの800リレー、400をみた時、ならんだらもつと焦つただらうと思う、だからあの場合やつぱり勝てなかつたということだ。

安部 1500は徹頭徹尾神経戦だ。

遊佐 それに反対にね、橋爪は最後になれば絶対勝てないと思つている、紺野は「おれはスプリントがあるから絶対に……」これだけの差がある。橋爪がいかに調子よくいつても、食いつかれれば勝てない。

田畑 結果からいつて前半もう少しという牧野のプランでいつても、向うを楽にするだけのことだ。

根上 私らも牧野君と同じように、長い距離をやつて来るとそういう感じをうけるのですね、ペースが乱れすぎているのです。早くなつたり遅くなつたり、むしろじつくりいつて25メートルかそこらで勝負をきめれば。

安部 それが橋爪と紺野ではダメだ。

田畑 800リレーおよび400をみてみると紺野にはダメだ、唯一の途はバツと飛んで出る、これではダメだとあきらめる、それ以外にない。

根上 経験からいつても、相手が実力あるという時飛ばして行く、こつちの力を相手が知らない時はそれがうまくいくんです。ところが実力を知られている時は本当に苦しい試合になつて後でやられちゃう。

橋爪宿命の敗戦

遊佐 結局楽な気持ちでいくか、最初からすつ飛ばして紺野をあきらめさせるか、2つしかない。

根上 ところが1500の選手は1000メートルすんでもあきらめないよ。

遊佐 ところが、やつぱり勝てそうなあれから考えると、最初から飛んで紺野にあきらめさせる、1450のターンする時あきらめるという式でいくより考えられない。

田畑 勝負を最後の50にもつていけば橋爪は逆立ちしたつて、紺野はスプリントをもつているからねあとの50でということだつたら絶対だめだ。

安部 根上君の型の選手だつたらいけるのだ。

牧野 私のいい方が悪かつたのではないかと思ひますが、100の出足が早かつたのです。100のタイムをもう少しジソワリしたものでいけば、そうすればもつと余裕が出たのではないかと思うのです。決勝の時はじめの100を1分6秒7だが、もう少し遅くして7秒近い8秒で入れれば後半もつとうまくもつていけたのではないか、100の出だしだけです。

藤田 しかし橋爪が非常に好調なレースで18分24秒で泳いだとしても、紺野がならんで泳げば22秒で泳ぐだろう。

根上 本当に長距離をやるとあの程度行つて引つぱつてみたり、出てみたり、後半戦に入つてやればあきらめるということもありますよ。

遊佐 橋爪と紺野に関しては絶対ないです。

小池 橋爪が一番よくそれを知っていた。1秒でも早く入つちやダメだ、はじめの100はみないで目をつぶっている、そういつていながら早く入っている。どうしようもない、ギリギリのところまで追いつめられている。

遊佐 全然ならんちやつている、そのならば方が

安部 徐々に迫つて来るのでなく、グングン来ている。

小池 紺野に1秒、2秒の差で負けようと思えば一緒にいけばいけた。しかし最後の本当の最後のチャンスをねらつたということなんです。

藤田 橋爪の力は18分40秒の力ではなかつた。20秒の力はあつた。しかし紺野に勝つためにはあの方針しかなかつた。

小池 橋爪がどの100メートルでも本来の橋爪の調子で泳いだのは一つもない。

遊佐 400からリードしはじめた、勝つかいかなければなしに、その差が少しでも開いてゆけば余裕があるが、それが全然ない。

安部 1000から1100でその差が縮まり出した時、マツトマンが躍りあがつて喜んだ。

根上 橋爪にすればならんで勝負する、これでも古橋にやられているでしょう、その心持ちはあつたでしょう。

田畑 彼はならんだら負けるということを確認していたね。

遊佐 紺野はある限度から決して離れなかつた。

小池 5メートルから6メートル。

遊佐 それを振りきつてしまえば、またという感じをもつていた。紺野は程度よく追いついた、この程度なら大丈夫という。

田畑 考えているのだね、考えているというのは余裕をもつているのだ。

小池 可愛想だつた、橋爪があれだけ決心して玉碎的にいつたということ、みていて涙が出たよ。

遊佐 勝つ途はあれしかないのだから。

小池 それを承知でやつたんだからね。

遊佐 あのくらいのタイムならならんでいけばよかつたんだからね。それでは勝つチャンスは全然ない。

藤田 300くらいの時田畑さんに「オーバー・ペースですよ」といつたでしょう。

田畑 600から800になつてもちつとも開かぬだろう、もういかんと思つた。

松澤 ラジオ聞いていて5、6メートルだというだろう、ハツとしたね。

遊佐 1寸でも5寸でも開いてくれれば。

小池 ゴールに入るたびに遊佐と顔を見合せて……。

伊藤 ターンはどうです？

安部 橋爪も日本の選手の中ではヘタではないよ。

松澤 紺野の泳ぎは800リレーの時と1500の時と同じですか。

田畑 同じだ、全く同じだ。

松澤 それが強味だね。

田畑 ならんで最後の50で争うとしても、とにかく泳ぎが同じなんだからとてもダメだ、泳ぎそのものに力強さを感じる、空まわりがない。

根上 ラジオで聞いていると、これが最後の望みというのが1000メートルくらいで打ち切られている聞いている方でも切ないです、もう少しもつていつて、「あゝ惜しかつた」という。

田畑 勝たなければならぬというのではあゝだろうね。

藤田 橋爪の表彰台の態度を云々する人があるが日本人だけではないね、バツクでボゾンがオヤカワに負けた時もそうです。ボゾンよくやつたと思うけれども、ボゾン自身にしてみれば優勝を逃したということ非常に残念がつて情ながつている。だれが来てもよせつけない。

小池 プレストでクライスが3等になつたというので西独の女の子が来たがよせつけなかつたというしね、表彰があるからしつかりしろ、というボゾンのコーチがもらい泣きしている、同病相あわれむでね、こたわるなというのが無理だ。

田畑 あれがやつておけば古橋やなんかのをとり返せた一瞬だからね、あの立場であれだけやつたというのはえらいと思う、橋爪があ的心境になつたということは優勝か、ゼロかということだ。

遊佐 試合に出て勝敗にとられるなということ

は出来ぬですよ。

坦々としているなんて……。

体力……それも食物

田畑 1等とれぬ奴のいうことだ、1等のチャンスのない奴のいうことだ、今後の1番の問題は、水泳、陸上でも、体力を主としたスポーツということになれば、結局体の栄養というか、体のよさ、背の高さ、5寸でも3寸でも同じ、その一つ一つの細胞が、含水炭素だけとつているものとだね、チーズ、バターを食っているものとの間に差があるということは、紺野のあれをみてつくづくそう感じた、重量拳で日本選手にウエイトのオーバーがあつた、日本食なら一日絶食すればいけるが、あの食べ物では2、3日やらなければならない。

遊佐 日本の食べ物を食つていたら予定通り下るが。

田畑 そうなんだ、女子のフリーの二世、川本をみても光っているね、肌が、やつぱり体というもの、背の高さ、重さというものでない体があると思う。こういうものが決定的要素になるのではないか。

遊佐 背が高く体重が重ければ耐久力があるしいゝかというところでもない、それを構成しているものがツヤになつて現れるということですね。

田畑 そうだ、古橋の1番よかつた時、今の体よりツヤが違つていた、今は食べ物も考えなければならぬ段階に来たのだ。

安部 質の問題だが、日本の女の子の場合質より大きさ、日本の中でも粒よりも小さい(笑聲) 競馬の馬とロバの競争だ。

根上 北村、青木はこつちにいた時のような調子が……

牧野 最終予選の実力くらいは出ていた、ところが青木君の場合は悪いあがり方をして、他のコースに手を突つこんだり、はじめから自分のペース、今までの力が出ていながつた。それで出じまいでレースが終つて、あんな惨めな結果になつてしまつた、結局あがり方がひどかつた、悪いあがり方をしていた。

藤田 北村はまあまあやつた方だね、入賞出来たから。

女子競泳

田畑 女子は一言にしていえば、もう少し体の大きいものを集めなければならぬ、ということだ、ちよつと勝負にならぬ、もう少しいゝ体になればブレストくらいはと思うが、あの体ではむずかしいね。

辻 バタフライを女もやつていたが、参加数は判らぬが、オーソドックスばかりだつたらどうです

小池 準決にはいつたね、準決で何番くらいかな

藤田 全体で17、8番ぢやないか。

安部 それはバタフライ入れてででしょう。

小池 そうですね、いや、そうぢやない、16番の中に入つている、だから9番10番にいつていやしませんか。

辻 向うのオーソドックスは前畑さんの時より進んでいる？

安部 とにかくデツかいのだ、日本の男の平均が向うの女にかなわない。(笑声)

辻 朝日の富永運動部長が感想を話してくれたが欧州は男の競泳より女の競泳の方がさかんだというのだ、いゝ選手が出るのも無理ないね。

ハンガリー女子水泳の躍進

藤田 デンマークがそうでしょう、ハンガリーもそういう傾向がある、ハンガリーはロンドンの時はあれだつたが、今度は女子が擡頭して來ている。5種目のうち4種目に優勝している。

小池 日本のバタフライの選手の方がよほど女らしい(笑声) すごいんだから。

藤田 ハンガリーの男の水泳はウオーター・ポロの方に主力があるね。ウオーター・ポロは斷然強い何ヶ国の中でもとび抜けている。そつちにいゝのが全部いくんです。競泳の方が第二次的に扱われるのだ、国内ではね。

安部 ベルリンのオリンピックまではオランダの女の方が強かつた、ハンガリーの女は今までになかつた現象です。

藤田 ハンガリーそのものが水泳に力を入れている。

原 ソヴェトもそうでしょう、高等学校の上級くらいまで男と女と体育の課題なんかほとんど違わないくらい平等に与えているとしか思われぬ。

安部 世界的にみて女の体格のいゝのはソ連、デンマーク、ハンガリー。

根上 ソ連は特別いゝでしょう。

原 女子体操で片手倒立が出来る、片手倒立が出来る体力になるには高等学校の最高学年にならなければならぬと思う。そこまで課題を与えている。日本の場合だと小学校6年、中学校1年で男と女で差が出来ますね、与える課題に、向うはそれが無いのだと思う。

小池 体格というか、体力というか、体格でしような、スウェーデンの女子にはかなはない。技術とかいうならスウェーデンに勝てるはずです。ストックホルムでチョボチョボやつてる程度でしょう。室内プールを中心にして、地方に行つたらいい設備があるとは思えない、冬は長いし、普及という点だつたら近畿を中心にした日本の方が多い、それが女の子はとて歯が立たないのだからね。

根上 欧州なんか、日本の縣と縣の對抗のように人種の違うのが對抗するでしょう。

安部 戦艦大和と駆逐艦みたいだ。

遊佐 片ツ方は子供だ、日本人の中では子供より大人に近い感じにみえるが、向うの連中に入ると。

田畑 赤ン坊だよ。

松澤 女子選手の練習量をくらべて非常に差がみえるかね、体の違いの割合くらいに練習の激しさが

小池 それは感じないね、みたのはスウェーデンだけれども。

遊佐 スウェーデンの練習は短い距離を何回もやらせる、短い距離を何回も泳がすということにスウェーデンのコーチは注意を拂つていた、ほかの点はそれほどでもないと思うのですがね。

小池 短い距離をやるということは、その都度相当の力を出しますから、つらさにおいては相当なもんです。

遊佐 とにかく根性ツ骨が違う、とても問題ぢやない、実際記録からみても足元にも及ばない。

辻 前畑さんの体格はしかし当時においては見劣りしなかつたでしょう。

安部 日本人としてはずば抜けて立泳だつたろうが、向うではずば抜けて小さかつた、今度は問題ぢやない。

原 前畑さんの態度、全体の動きは今度のように向うが大人、日本はジュニアという、それほどの違いはなかつたでしょう。

安部 それは目立なかつたね。

小池 坂本が一番小さいという程度にならなけれ

ばならないね。

田畑 ぼくはオリンピックに女子をやめちまえというのなら別だが、別けるということにも反対だ、女子が参加するということは必要だ、1等とれとまでは要求せぬが、せめて優勝になるまでもつて行くそれにはつぶをそろえるのだ。

根上 女子選手の出たのが奈良縣の一地域だけですから、その前は東京、愛知とばらまかれていた、中泉とか、あの附近は全然女の選手いない、昔の方が色々なところに色々な選手がいた、

藤田 今のように固まつていなかった、分布図が広がった、やっぱり普及が基礎だ。

松澤 新制中学の選手がふえなければダメだということになるね。(笑声)

飛 込

原 飛込は結局考えてみると国際試合の経験がなかつたということが1番成績の悪かつた原因ではないかと思うのです。というのは毛利君が1番いゝ調子で飛んだ時がちょうど今度のオリンピックの競技成績の7,8番から10番くらいのところへ来るだろうと思うのです。ところが競技に対する強さがなかつたもので、肝心の競技の時に失敗があつて順位が落ちた、結局国際試合の経験がない、国内だけで割合楽な試合をしていたところが、オリンピックへ行つてみるもの全部上手な連中ばかり、こんな中に入つてやるのでは……というので精神的に重圧を感じて、悪い意味であがつて、競技に自分の力が出せなかつた。もちろん上位3,5位というところに入る技倆ぢやないから、全力が出てはじめて予選を通る圏内に行くか行かないかというところに失敗があつたので15番ぐらに入つただろうという結論と思います。そこで今後どういう風になればいいかという、判り易くいうと、専ら体の強い選手を作らなければダメだ。かつての柴原君の上半身、小柳君の下半身をつけた、腰の強い選手を作つて、基礎練習をうんとやつて、競技に失敗をしないような強い選手を作つて行かなければとてもいけないのではないかという感じがしました。ことに高飛込なんかでは朝鮮系の二世のサミー・リーがロンドンと今度で2回優勝したが、その練習をみていましたが、美しいという感じはほとんどなくて、専ら強くて上手だということしかないと思うのです。そういう風なことから考えてみても、男の選手に関してはもう一遍

基礎練習をやつて、体の強いものを作つてもつていけば、ある程度いけるのではないかというふうな感じをもつています。今度来るブラウニング、これは技術のうまさでは昔のライリーとかより數段上だと思ひますが、みだ目のキレイさでは昔の連中にくらべてはむしろ劣るのではないかという感じがします。たゞ飛込競技の規則が變つて複雑になつた關係から細心を注意が踏切の1歩1歩にちよつとでも狂いが來ると飛込んだ後に狂いが出る關係から、細心の注意を必要とするので、ブラウニングは練習中からそういうことを非常によく考へて、細かい点まで氣をつけるし、選択飛びやなんかの組合せなんかについても、恐らくアメリカの他の2人の選手とくらべて全然違つた神經を使つて、非常に頭で考へた組み方をやつていたと思ひます。女子の方はさつきから女子の競泳でも話が出たように、全然やはり体の出來というか、やはり大人と子供の違ひがあつて、優勝したマコーミツクなんかになると、やはりヒマと金で冬中専門の職業トレーナーについて、年間を通して基礎訓練をし、シーズンになつて來てはじめて練習にかゝる、という狀況で飛込みの高さと幅と、スプリングボードの幅には全然男と變らないほどの力があつて、その上技術が入つて來るといふことで今の日本の女子は技術よりもその前に力で追いつかない。

飛込は何故振わなかつたか

安部 ぼくも実は今度の飛込の連中には、欲目か知らぬが、相当の期待をもつていたのですが、みていると今の原さんのお話のように、うまく飛んでいるのは立派に、五角にやつている、アメリカの特別うまいのは實質上プロですからね、その次に位する連中とは對等にやつているのです。順位がよくなかつたのはしくじりがあつたからで、それはあがつてしくじつたからです。なんであがつたか、アメリカの連中はあがらぬ、うまい、實力では太刀打ち出來ぬという劣等感があがらせる重要な原因だつたのではないかと思ひます。それは一つには國際試合の經驗によつて補充しもう一つはもつと練習量をつまなければ太刀打ち出來ない、それにインドア・プールの普及がまず第1です。

原 何よりもまず練習量をつんで、まず外人と太刀打ち出來る程度のもをもつていないとダメですよ。

辻 しくじつたといふので、なかに一つアナウンスと全然違ふのを飛んだとの話だが……

原 それは違ふのです、高飛込なんです、逆立ち中抜け飛びなんです、エビ型と申込んだのを、私も確めてタイプライター打つまで確めてやつたのを抱え型で飛んだのです。

辻 錯覚だね、本人の。

原 まあそうです、それが普通にいつてもダメなんです、1部のアメリカの連中にはかなわないが、他の連中にくらべれば劣つてゐることはない。

辻 飛込の層は狭い、その中でいゝ成績をあげるといふのはよほどいゝのがなければね。

原 普及の問題もあるが天才教育ですね。

辻 それをするにはいゝ素材が必要だ、こゝ3、4年毛利君にリードされて後だれも出て來なかつた。

原 国内で楽な試合をしているでしょう、だから經驗もない。

安部 決して奇想天外なことをする必要はない、しくじりをしなければいゝんです。

原 技術的な面の表現の仕方、技術のやり方についてはある程度勉強をしたが、うまくやつた時は外国選手とくらべて見劣りはない、國際試合の經驗がないから、本当に大事な競技は實力を出すことが出來なかつた。肝心の時に實力が出せないで失敗する

安部 オリンピックで一番見事にあがつたのが飛込の2人です。

原 技術で大きなギャツプはなかつた、力というか、競技の強さといふところで開きがあつた。

安部 勝つんぢやないからあがらなくてもいゝぢやないかといふ話もあるが、期待されていた陸上の連中で踏切板がみえなかつたと同じことだ、水泳だつて男子の競泳は飛込以上に期待されていた、男子競泳より期待されていなかつた飛込があがつたといふことは、それに1人でやるんでしよう。

田畑 インター・カレッジの飛込があつても人数が少ないからね。

辻 特殊なのをウンと鍛えるんだね。

原 がつちりしたのを作ればいける。

安部 サミー・リーをみても立泳なショーマンです、煮ても焼いても食べぬしたたかものになつてゐる。タオルを投げるにしても、その時期といふ、態度といふ、今度飛ぶのはサミー・リー様だぞ、そこらのと間違えるな、といふところをみせるためだろうね。

藤田 競技回数をふやす、その中から選んで天才教育をやる、少ないものの中からちや素材を見つけることがむずかしい、飛込の普及度をたゞ充実するだけでは世界の1線に乗出すには困難がある。

根上 吳のプールを視察に行つたが、飛込の方は思いきつてやっているんだがそれを指導するものがない、そこに大きな欠陥がある、宇都宮にしる施設はみんな作つてもそれを活用出来ない、そこに欠陥がある。

辻 指導者の問題だね、それは。

田畑 競泳だと1人おれば出来る、ほつといてもある程度いけるが飛込はそうはいかない。

根上 競泳の方がやさしいでしょう。

田畑 うまいのが泳いでおればそれだけでも違う飛込はコツがあるんだろう。

遊佐 結論は指導者をあつちこつちにおく、プールのあるところにね、子供は飛込むことが好きだからそれをつかんで教えなければ、やつぱりこわさがあるから、やりたいと思つていても……それを、こつちやるんだという指導者がおればついて来る。

安部 地方の団体ももう少し可愛がるんだね、國体扱いにしないで。

根上 國体扱いとは(笑声)

田畑 大都会くらいはインター・カレッジでやつた人もいるだろうから、そういう人がやればいゝが、そういう人がみてやることだね。

藤田 それが層をふやす第1だ。

根上 地方でも「おれはやつたことがある」というのが「おれが指導していゝのを作つてやるよ」という氣になればと思う。

外 國 の 練 習

松澤 最後に、各國の練習ぶりを日本とくらべて「これは新らしい方法だ」というのはみられなかつたかしら。

遊佐 別に、こと新らしいことぢやないからね、スウェーデンのコーチだが、バタ足ならバタ足をやらせる、全部時計をとる、時計中心です、次に足を組んで手だけでとる。

松澤 アメリカの連中、体操なんかで特別のことせぬですか。

小池 自分達で適當に体を動かしている程度ですアメリカは試合の前でも放任主義です大マカです
原 各学校に優秀な設備があつて、競技者が自分

のプログラムをみんなもつているような氣がしております。自分が競技の前に肩を動かした方がいゝのと、休みをとつた方がいゝのとあると思います。シーズン・オフの時にトレーナーなり職業のコーチなりについて。

遊佐 アメリカ自身もある程度弱つているのだと思うのです。キツパスのようにどれだけ泳いでということになじに、ほとんどが各選手自由な観點に立つて、自分自身練習している。

小池 それは混成チームだからだ。

遊佐 だから決していゝことではないと思う。

安部 マットマンは最近ヘッド・コーチに任命されたので。

遊佐 だからまだマットマンの息がかゝつていない、記録をとつてみる程度で。

小池 全部みて感ずることは、日本選手が外國選手より練習量を餘計とつていない、外國の選手をとらまえて聞いてみると、恐らく日本の選手より餘計練習している、ということは体力の問題があると思うが、外國が発達して來たからそういうふうと感じたのか判らぬが、日本選手の方がネバリがない。

安部 ちよいと意外な感じをうけたのは、成績は悪かつたがソ連の選手のスタイルが非常に日本的なんだ、はじめてみたのだが、あそこはスポーツは國營だからね、コーチが選手の数ほど來ている、日本の情報なんか實によくとつている、フィルムなど全部いつているのだろう。泳ぎぶりは、強い選手はいなかつたが、日本のクロールに近いね。

小池 ハンガリーからもつていつたのではないの
安部 そうかも知れぬ。

競 技 の 運 營

伊藤 競技会の運営というか、管理、それについて聞きたいのですが、400でボアトウが優勝した時に父親がプールに飛びこんでもおこらないし、入場式に變な女の子がでたりした、会場の管理などはどうですか。

安部 入場式の場合はフィンランドがやつたのですが、水泳に関しては國際水泳連盟が全部とり仕切つてやつた。しかしながら場内整理はフィンランドがやつたのですが、その連中は各國の水連の顔役の顔を知らない、當然入れていゝ人まで阻止した、清川なんかもバツジつけていなかつたら入れてくれなかつた。今までのオリンピックではむしろ嚴密に、

整然といつたといえるのです。ポツトウのオヤジが飛びこんだのは決勝でワアアツとしていたドサクサにまぎれて。

小池 厳格でしたよ、あんなことはやろうと思えばいくらも出来ますよ、そういうことを平気でやるのが多いのだ。

藤田 場内整理は非常に整然としていた、やかましくいうのだ、運営管理はルーズだつた、例えば飛込の時やり直しがあつた、調整装置の歯どめが外れていた、やり直しをさせてくれ、それを受けいれている。

安部 あれは間違えたのだ、届出とアナウンスと違つた飛込をやつた、それで滑つたとかなんとかいつてやり直しをやつた、認めてしまつたのだ、歯どめは競技者の責任なんだ、それをやり直さした。

藤田 水球でユーゴとオランダの試合にレフェリーに難クセをつけて再試合を申込んだ、インターナショナルでこれを蹴つた。F・I・N・Aの方に直訴し再試合させた、實質的に非常なルーズな點があつたと感ずるね、オリンピックにこういうことがあつていいのか。

田畑 浜口が落つこちたことだ、言語同断だよ。

安部 一ツはね、マネージメント、今度は競泳に関してはリッターの責任、ウォーター・ボロの場合は、プレーの失敗ということは別として、運営がうまくなかつたといえる、各國寄合世帯だから、推薦役員が決勝審判をやる、その素質がなつていないこれはロシアンゼルス以來知つていたので反対したが、結果はあの状態、馬脚をあらわしたのだ。

田畑 國際水連はドナルド1人しか人物がいなかつた、随分シャクにさわつたね、無茶ですよ。

小池 プログラムなんかも追ひこみですよ、何時何分から何がはじまる。

遊佐 その日の最初の競技のはじまる時間だけきまつているのだ、相當早く行つていないといつ繰りあがるか判らない。

田畑 そういう点、実に不愉快だつたね。

安部 そういう点いちいち文句いふのだが、向うも面子があつて、日本のいうことはもつともだ、と思つてもにわかには改められない。メルボルンでうまくやつてくれるといふと思うが。

大会までの練習

清川 最後に大会迄のコンディションの持つて行

き方、即ち旅行の方法や練習方法、或は食事の問題、服装の問題等に就いては可成り以前から慎重に準備を進めて行きましたが、1番問題においたのは、最終予選会が終つてから本大会開始迄の合宿練習期間とその場所でありました。合宿場所に就いては(イ)内地(ロ)エール大學(ハ)北歐の3候補地に就いて研究の結果、スエーデンと決定し、合宿練習期間及び出發時期は1949年の全米選手権大会遠征の経験と、ベルリン及びロサアンゼルス両大会の経験を基礎として次の様に決定しました。

- (1) 内地最終予選会 6月20、21、22日
- (2) 内地合宿練習期間 1週間
- (3) 内地出發の時期 6月28日
(飛行時間——約55時間、途中カラチ1泊)
- (4) スエーデンの遊習期間 2週間
- (5) ヘルシンキプールでの練習
1週間(7/17~7/24)
- (6) 水泳競技開始 7/25

旅行の方法も全チームが飛行機で行くと云ふ初めての試みであつたのですが、スエーデンの練習プールが室内プールであつた事が常々オープンプールで泳ぎ慣れてゐる吾々には、何んだか頭を抑へられてゐる様な感じがあり、氣分的に多少ハンディキャツプがあつた事を除いては、宿舍の環境も食事も其他万般、大体所期の計画通り實施されたと思つて居ります。

辻 それではどうも……此の邊で終りとします。

オリンピック優勝選手を 日本選手権に招待

日本水泳連盟では9月15日の理事会でオリンピック競泳の優勝者100米自由形スコールズ(米)、400米自由形ボアト(佛)、1500米自由形コンノ(米)、100米背泳オヤカワ及び飛込競技優勝者ブローニング(米)の五選手を今夏の日本選手権水上競技大会(神宮)に招聘することに決定、直ちに交渉を開始した。

200米平泳バタフライの優勝者デービス(濠)も招聘の話もあつたが、オリンピック大会の平泳はバタフライが禁止されオーソドック泳法一本となつたので招聘しないことに決定した。尙大阪でも國際競技会を開く予定である。

100米自由形準決勝再レースの問題

安部 輝太郎

競技運営面で最も強く我々が予てから反対していたタイム・レースが遂に強行された結果、我々が恐れ且つ指摘しておいた通り 100米準決勝に同タイムが3名出て再レースとなり、不幸にも我が浜口選手は予選と準決勝と2回に亘つて破つたフランスのエミナンに敗けて決勝出場の資格を失うという不合理極まる結果が出てしまいました。これには我々は勿論大反対を唱えて激論したのですが遂に F. I. N. A. の判決を覆せませんでした。

予選I組	① 浜口	58.0	} 共に入選
	② エミナン	59.2	
準決I組	① スコールズ	57.1	} 入選
	② ラールソン	57.8	
	③ 浜口	58.3	} 再レース
	④ エミナン	58.3	
準決III組	① ゴラ	57.7	} 入選
	② オーブリー	57.8	
	③ 後藤	58.3	} 再レース

という結果で58.3が3人出たのですが、リッターのいわゆるタイム・レース制でいえば浜口とエミナン丈を比べれば同一組ですから着順が上位の浜口が優先するのですが後藤が浜口やエミナンの何れか1人又は2人より速かつたか否かは判らないのです。

斯る場合は各コース付時計の(3個)合計で判定するという方針だったので。この事はタイム・レースに反対して最後に我々がリッターとストックホルムで議論した時彼が明かにした方針でした。

然るに事実は甚だ皮肉にも3人の時計は下の如くでした。

浜口	エミナン	後藤
58.3	58.2	58.2
58.3	58.3	58.3
58.3	58.3	58.4
174.9	174.8	174.9

即ちリッター式に行けばエミナンが一番良い事にな

りますが着順は誰が見ても浜口が上だつたこと、しかも浜口と後藤の優劣は3つの時計の合計を以てしても何等の判定が下せなかつたのでした。

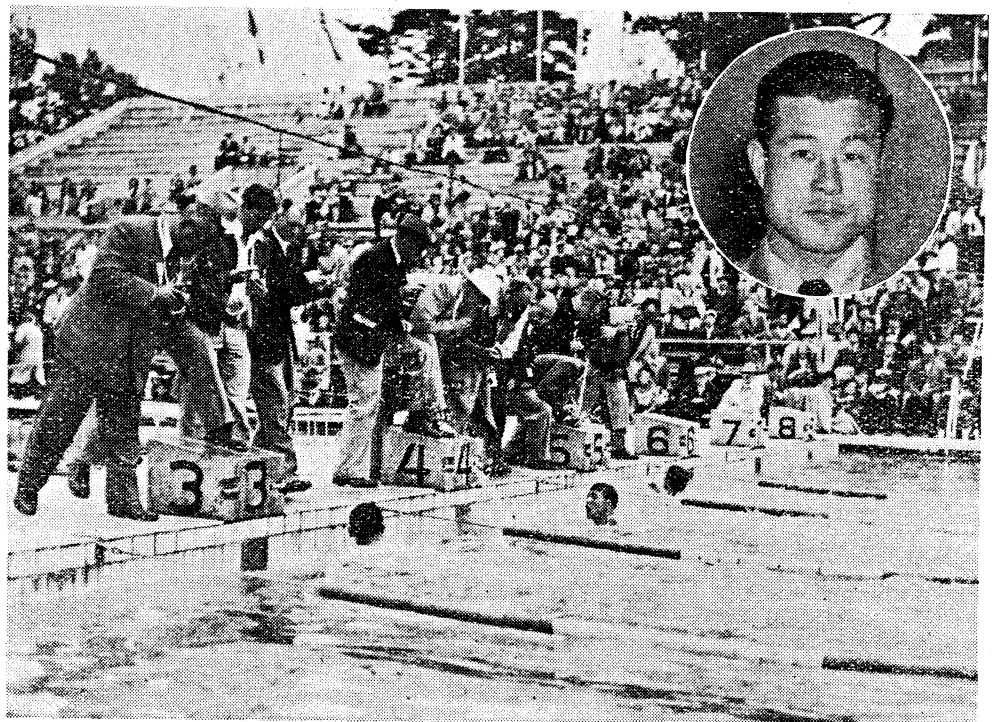
即ちリッター式タイム・レースの弱点がかねがね我々より指摘しておいた通り完全にその欠陥を曝露したのです。

結局激論数刻、遂に再レースと決り泣いても笑つても3人の内1人が落ちることになつてしまいました。

余談ですが決勝レースの直前リッターが私に「一体日本の100米は誰がピカーなのか？」と聞きましたから「決っているぢやないか、浜口だよ」といつてやりました。

この苦い経験でリッターにメルボルンでは短距離のタイム・レースは止めることを承知させましたが事ここに至る犠牲者が浜口君であつた事は返す返すも残念且つ気の毒なことでした。

× × × × × ×
× × × × × ×

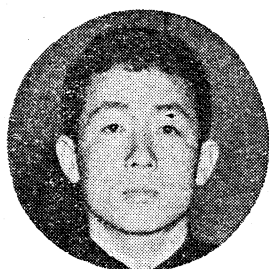


再レースのゴール、中央が不幸落選した濱口選手。



オリンピック大会の感想

後 藤 暢



感激に明け感激に暮れた大会出場2ヶ月間の感想を、限られた紙上に纏めることは、浅学な私には及びもつかないことですが特に感じたことを1、2挙げると先ず第1に、ついに1ヶの金メタ

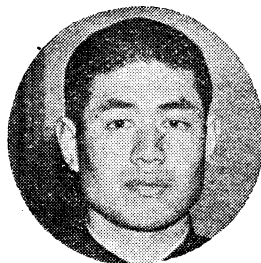
ルも獲得出来なくて大方の期待を裏切つたことであります。思えばあの勝敗は全くの紙一重で実に残念でした。しかしこの大会で嘗めた有形無形の尊い体験を肝に銘じて明日からの練習に努力を続けていけば、水上日本再建は決して至難ではないと確信いたします。次にこの度の大会で優勝した選手の年齢からみて、今後の大会は高校生が中堅になつて編成されなくてはならないと思ひました。その爲に僅か3ヶ年の高校では、それも最後の1ヶ年は受験や就職に狂奔せねばならぬ現状では、どうしても縣内に制限されている中学生を高校生並に開放して、本格的練習の出来るような刺戟と機会を与えるべきだと切実に感じました。發育盛りの学生には過勞であると云う人が居たら、それは全く机上の空論で、合理的な方途が講ぜられる限りそんな心配は一顧に値しないものであることは既に私の出身中学校で数年に亘つて試験済であることを公言することが出来ます。

西 拓

自分がヘルシンキ迄飛べたと云う事は、實際幸運だつたと云える。

が、其の夢心地に近い様な気分も、10万の觀衆に囲まれた入場式に接して、漸く現実感に引き締められた。

「他郷に住んで初めて故郷の良さを知る」と云わ

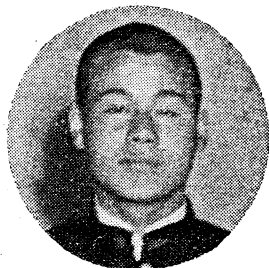


れるが、風に幡めく各国の旗の中に、一際鮮やかに映える日の丸の美しさは、吾々のともすれば、「敗戦国民」と云う劣等感を払拭してくれ、民族意識を強く呼び覚めてくれた。又、同じ目的に向

つて全精力を傾ける競技人の中には、何の思想のからみも存在し得ず、たゞあるのは、ゲームへの眞剣さと、何のわだかまりもない笑顔であつた。この民族の大祭典に接して、「世界の平和」を切実に考えさせられたのは、自分一人では無かつただろう。

結論的には、吾が水泳陣の自負は完全にたいかたえなかつた。米国は持てる力を充分に發揮し、フランスも予期以上に強かつた。これは決して弁解でも、負け惜しみでもない。大きな反省期が訪れたのである。吾々は、今すぐメルボルンの飛沫に眼を向けなくては——これを強い足場として常に前進への努力を積み重ねねばならぬのだ。限られた紙面に吾が所感を縮めて書いて見た。

青 木 行 義



私が水に親しむようになつてから既に5年になりますが、私の最大の希望は五輪大会に出場する事でした。その希望が実現された今年私の人生史上記念すべき最大のものと信じます。去る7月

28日生れて初めての海外遠征ではあり、色々の不安とそして又好奇心が去來しました。中でも果して十分な成果を挙げて国民の皆様御期待戴き得るか私の最も心痛した所です。併し一度日本代表となつた以上は最善を盡すべく覚悟しました。愈々目的地について目の当り各国選手に接し先づその体格の堂々たるには一驚しました。8月31日の大望の試合までそれこそ一生懸命に泳ぎ、そして最良の状態試合日

を迎えるべく努力しました。勿論その間に幹部の方々の御懇篤なる御指導のあつたことは申述べるまでもありません。待ちに待つた大会当日は 実に残念ながら予期に反し、実力を発揮し得ず誠に相済なく思つています。併し今後大いに努力して來るべき大会には今回の悔を再び繰り返さないよう今から泳ぎに泳ぎたいと思つています。

西 野 恭 正



ヘルシンキ大会が無言のうちにあらゆることを私に教えてくれた。

これ程尊い教訓があつたでだろうか。

その一つ一つが強く胸深く刻まれ生涯を通じて脈動するてせう。

米国の親川選手の1分5秒4の泳ぎを見て決して「背泳は身体が大きく腕力の強い外国選手でなければならぬ」と抱いていた考えを一掃させられた。あの75米からのキックは常に腫に焼きついている「脚力を十分に生かした強引なるストローク」の泳ぎこそ將來を約束し渴望を満たしてくれる清水である。今後親川の水準、いやそれ以上の水準の選手が必ず日本水泳界にも出現すると確信し、微力ながら養成の一端を期するこそ重大なる使命である事を痛感した。

宮 部 シ ズ エ



私が一生忘れる事の出来ない大きな印象は、オリンピック派遣選手の発表の一瞬でした。その時私の頭には郷土で御指導下さつた、先生方や母校の学友の顔が臉に浮び、日本代表として力の限り

頑張るぞと決心致しました。

結団式もすみ、選手の兄さんや姉さん達と揃いの制服に身を固めた、私達はいよいよ28日郷土から來て下さつた校長先生を始め、お母さんや兄さんその他の人々の見送りや、全国の皆様の声援に送られて

羽田空港から機上の人となりました。「御声援下さつた皆様、私達はきつと日本の名を輝します。」と心に決め、飛行機は母国を離れました。7月19日、雨天の中でいかにも壮大に、世界の若人の祭典の幕が切つておとされました。

競技の結果、私の成績は皆様の御期待に添えませず非常に残念でした。

終了後ヘルシンキを始め、その他の国々では、年少者の私にとって楽しさと珍しさで一ぱいでした。

私達一行は8月末無事帰国しました。大勢の人に迎えられる私は、御期待に添えない悲しみと、永い旅から歸つて來た喜びで胸は一ぱいでした。

私は、一生懸命練習して、若し幸いにして次期メルボルン大会に出場出來ますれば、皆様の御期待に添う覚悟です。(終)

青 木 政 代

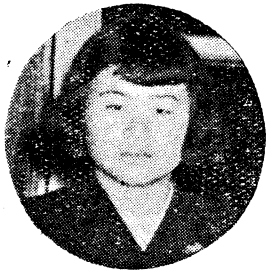


私達が目標としていたあのオリンピックに私達が運よく日本代表選手として参加致しましたが、ヘルシンキに於ては全力をつくし頑張つたつもりですが、而し結果は思うにまかせず皆様の御期待

に副い得なかつた事は残念に存じおわび申し上げる次第ですが、敗れた結果から判断してまず第一に練習不足であつた。盛大なるオリンピック大会雰囲気にもみこまれて思う様に泳げなく、自己の最高記録にも及ばなかつた。そして世界の水準が私達の思つていたよりもすい分高かつた事などが原因だと思つておりますが、又女子監督として内地から水泳に関係のある人がなぜ行つてくれなかつたのか? この様な原因を探求致しますれば、身に切実に感ぜられる点多々あり、今後の日本水泳界の発展に此の完敗の不幸を來るべきメルボルン大会に取り返さねばならないと決心いたして居ります。

田 村 美 佐 子

スポーツに励む何1000人の中から私がオリンピック日本代表選手として選ばれオリンピックに臨んだ



際8000万人の御期待には沿い得なかつた。而し乍ら私としては血をにじむ様な日頃の練習を今こそ發揮しようと全精魂を打ちこんで頑張つた。しかしそのかいもなくついに失格となつたのである。

オリンピックに於けるタイムも自分ながら不思議なタイムだつた。何故あの様なタイムしか出なかつたのか。その原因としてはまづ第一に練習不足である。今まで猛練習をしてきた私にはあのくらいの練習では練習したとはいえない、練習不足の以外には、これという何物かもない。唯練習不足のみである。

故郷に帰つてからも「オリンピックで何をしていたか失格ではないか」と耳にすることもたびたびあつた。このことを耳にする毎にたしかに私は失格ではある、しかし私は正々堂々の態度を以て悔なき試合で終つたのだ。

スポーツの祭典オリンピックの雰囲気をおぼわうことが出来た事が何よりも尊いものである。次に目指すところはメルボルン・オリンピックである。

宮本 まさみ



敗戦の將兵を語らずと申します。まして敗兵は……とは思いますが率直に申し上げますと、私は五輪大会に参加して五輪の目的が一層はつきり致し、特に諸外国の人々は眞にスポーツを理解し、

本当に愉快に楽しんでいるのを見て、ク男爵の言われた言葉が強く感じられました事と、今一つはスポーツの盛んな国程国家的背影が大きい点で諸外国は体育について眞剣に考えている事です。その反面日本人はとかく優勝でもすると、あたかも英雄の如くもてはやし、成績が悪いと選手の人格までも悪く言う様な事があり、余りにも勝敗にとられる人が案外多い事等、諸外国に比し反省すべき点が相当ある様に感じました。次に外国選手に接して今後の日本選手の進むべき道は、基礎体力養成に最も重点を置き、基準を充分体得し個性を最高に生かす様努力する事であると強く感じました。最後に私はこの経験を生かし自己の信念に向つて精進致します事を御誓ひ申しまして皆様の御後援に深く感謝致します。

オリンピックいろは歌

琵琶湖水泳協会顧問

石川 芳雄

週刊朝日の新しいろは歌に当選したのが病みつきで弘法道楽にうき身をやつし、オリンピックの放送を聞きながら、48文字をひねくりまわし左の各種のいろは歌をこしらえたので御笑覽に供します。

その前夜

ゆめみるもオリンピックよ
なれしわざするえいにほん
とぶうをらそろへてはたせ
まちかねぬあのこゑきけや

夢見るもオリンピックよ 慣れし業水泳日本
飛ぶ魚揃へて果せ 待ち兼ねぬあの声聞けや

豫選績々通る

とぶうをそろえはたあげよ
なほもちわかすヘルシンキ
マイクのこゑにゆめみせつ

さてゐねられぬオリムピヤ

飛ぶ魚揃え旗揚げよ 猶も血涌すヘルシンキ

マイクの声に夢見せつ さてゐねられぬオリムピヤ

巨星墜つ

はたならべあげるゆめみせ
ねむれぬよこゑぞざわつく
フジヤマノトビウヲおちて
もろかりきするえいにほん

旗並べ揚げる夢見せ 眠れぬ夜声ぞざわつく

フジヤマノトビウヲ落ちて 脆かりき水泳日本

さあれ、世界の晴の舞台オリンピックは戦争ではない。勝負はそんなに気にすることはないのである。むしろ参加し仲間入して遊ぶということに意義があると私は思う。

アメリカソレんならびみて
ちをみぬしようぶスポオツ
きけへいわえとこゑやさゆ
もろくにのはたむねせまる

アメリカ、ソ連並び居て

血を見ぬ勝負スポオツ

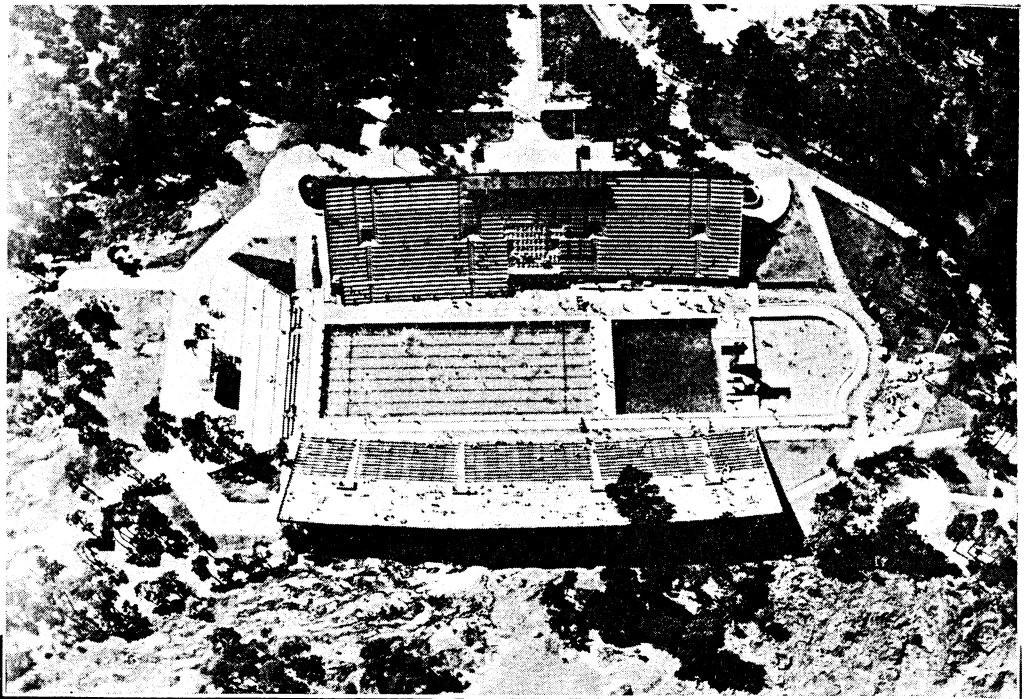
聞け平和えと声や牙ゆ

諸国の旗胸迫る

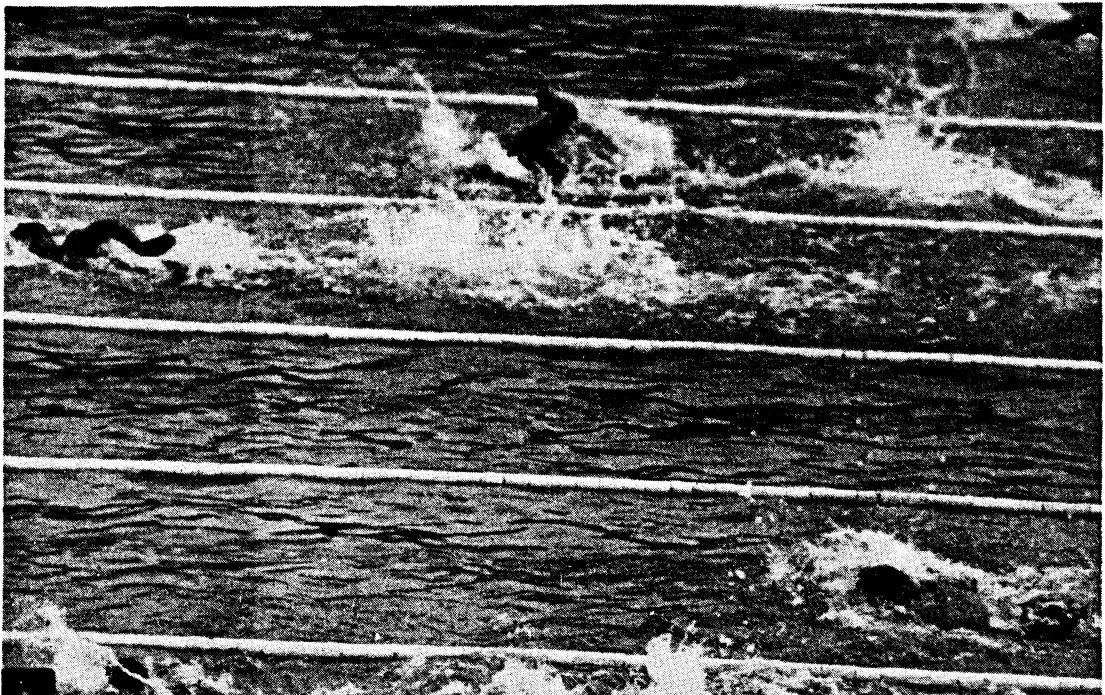
オリンピック寫眞集

XV Olympic Helsinki 1952

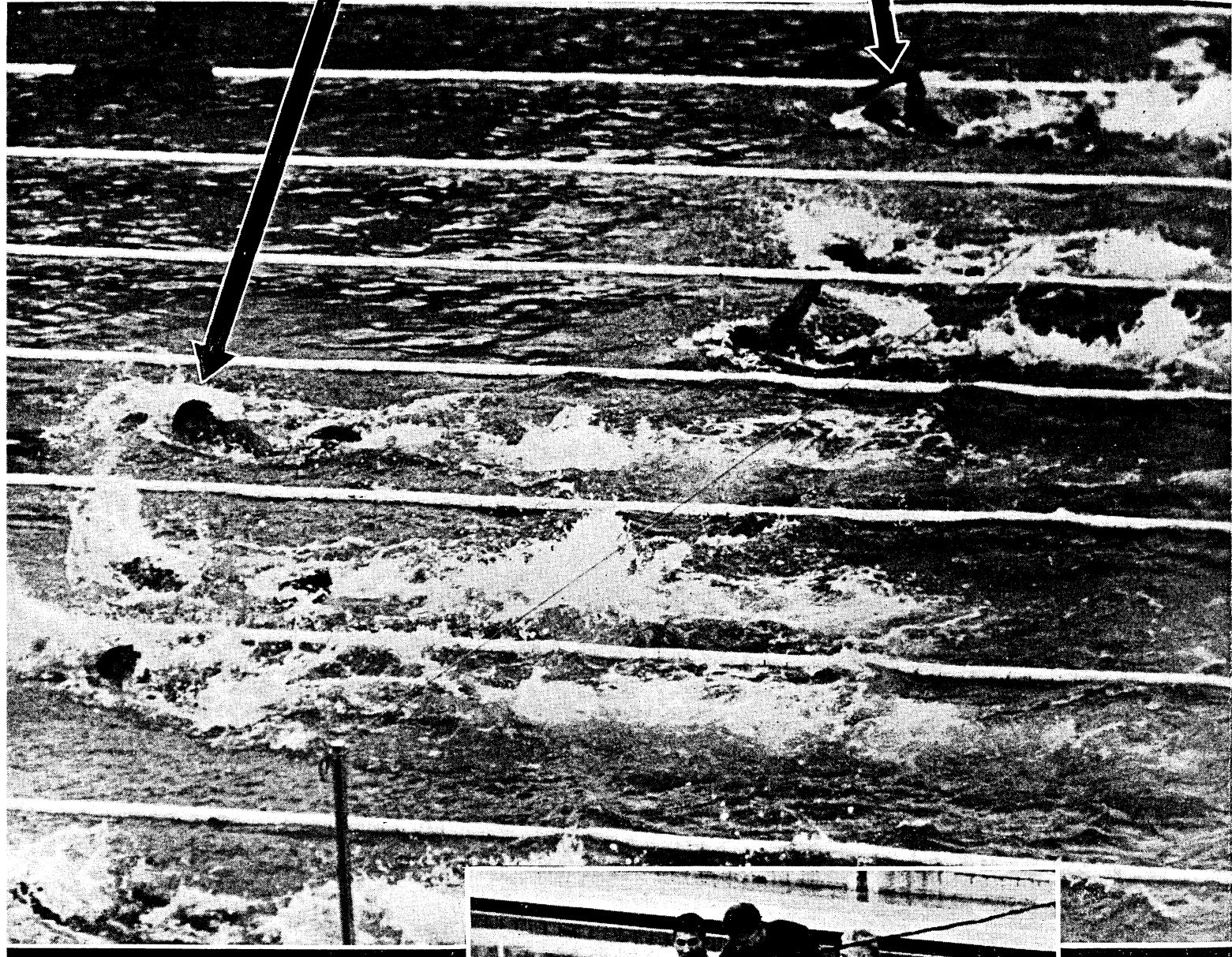
水上競技の行はれたヘルシンキ・プールの全景



光輪閣に於ける歓送会に記念撮影の代表チーム一行。



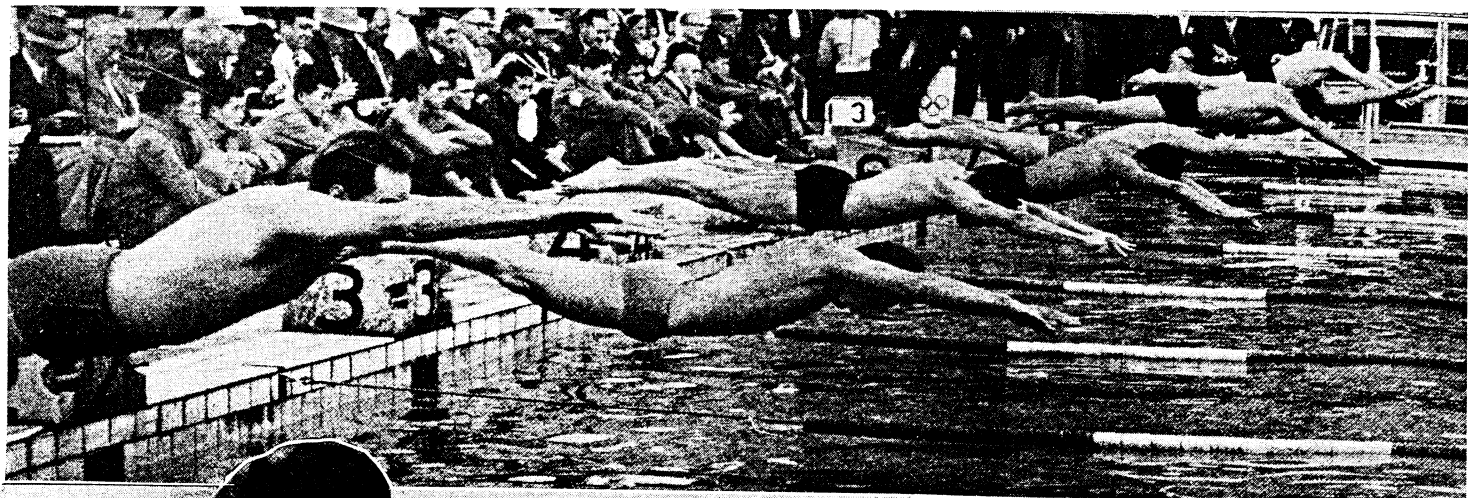
浜口選手（先頭）、手前は二着のエミナン（佛）
一〇〇米自由形第一予選に力泳一着となつた



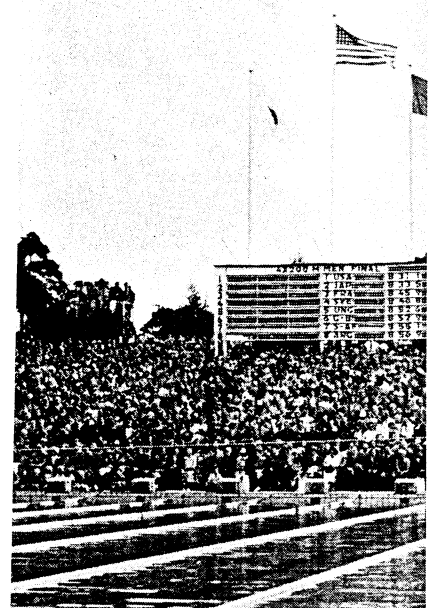
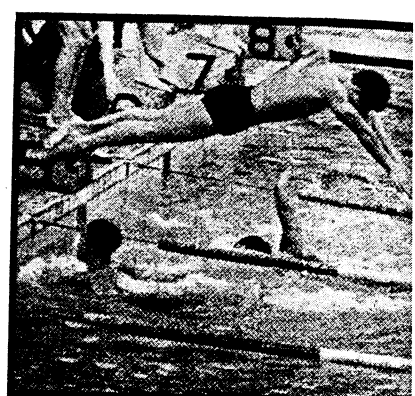
100米自由形決勝レース折返し75米辺の競合い
写真は1着のスコールズ(米)と2着鈴木選手
1番手前のコースが4位の後藤選手



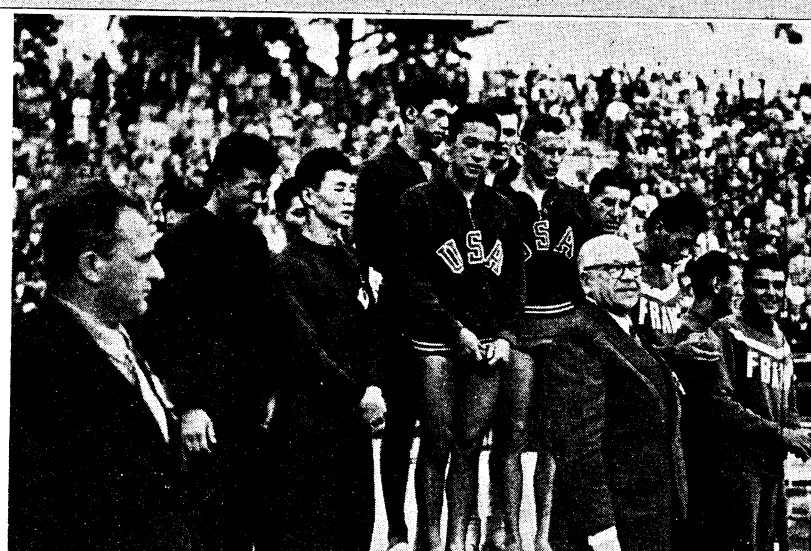
100米自由形表
彰台に立つ①ス
コールズ(米)
②鈴木弘③ラル
ソン(瑞)の各
選手



800米リレー決勝スタート、4コースが鈴木選



800米リレー決勝に第3泳者後藤、ンカー谷川に引継ぐ所、迫るは米チーム紺野
下の写真はメイン・マストにひるがえる1着米、2着日本、3着佛の各国旗



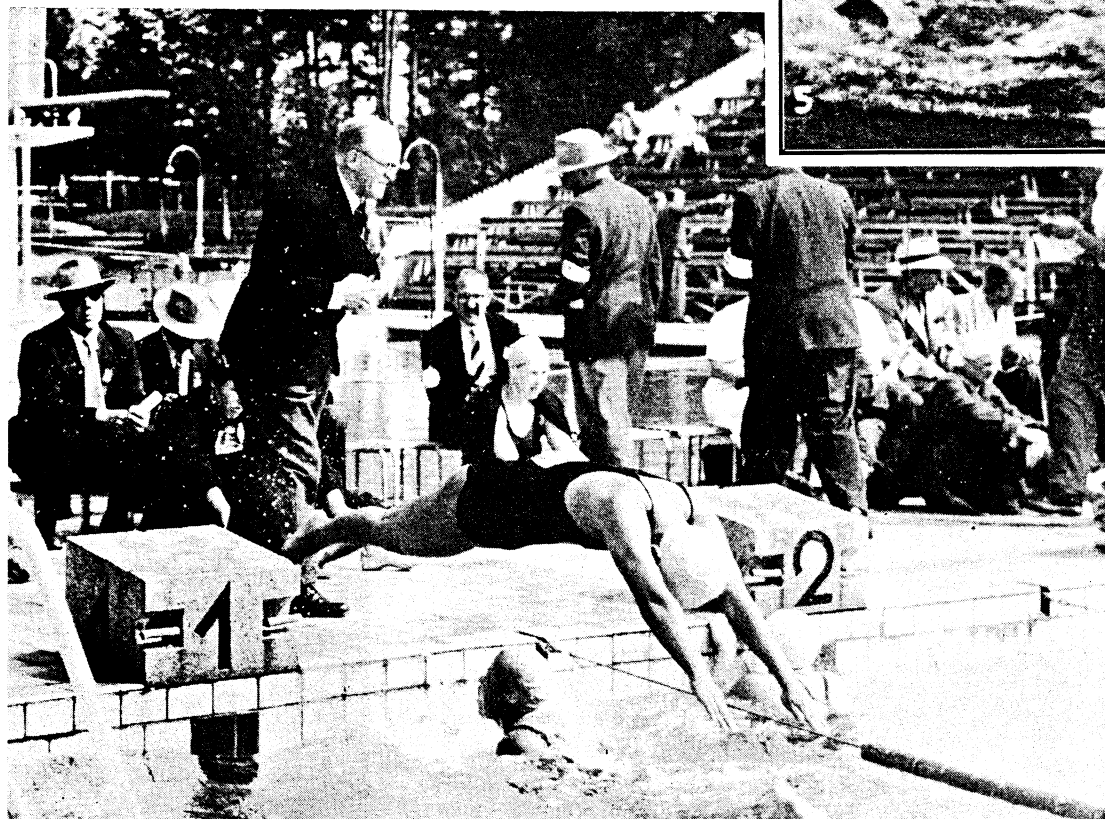
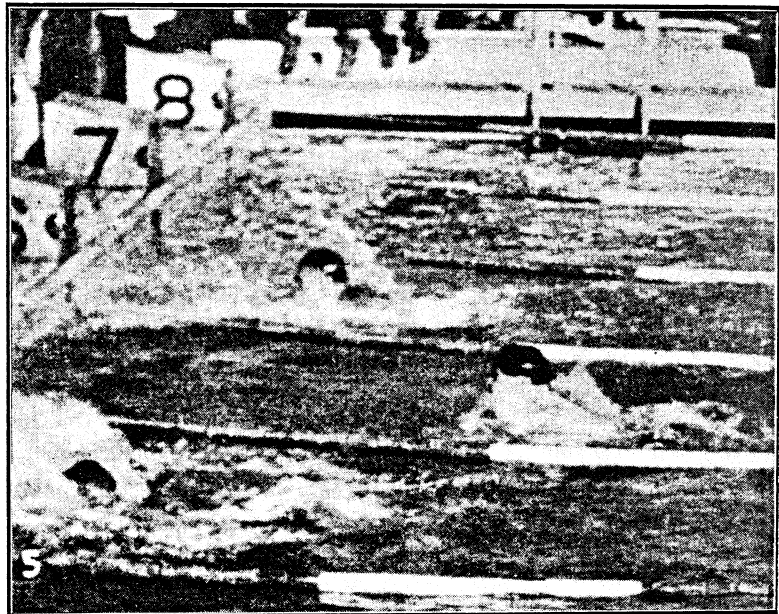
八〇〇米リレー表彰式、手前から二着の日本チーム、一着米チーム、三着佛チーム

水泳チーム
日本女子
聲援する

400米自由形決勝ゴールの接戦
 1位 ボアトー(佛) 4:30.7
 2位 コソノ(米) 4:31.3
 3位 オストランド(瑞) 4:35.2



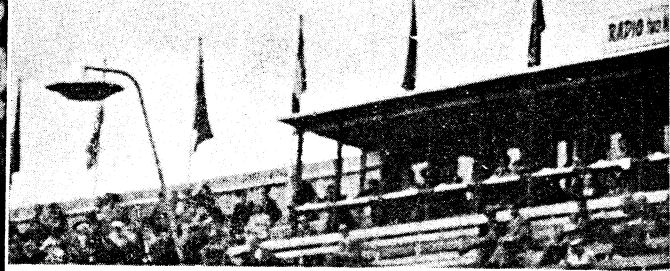
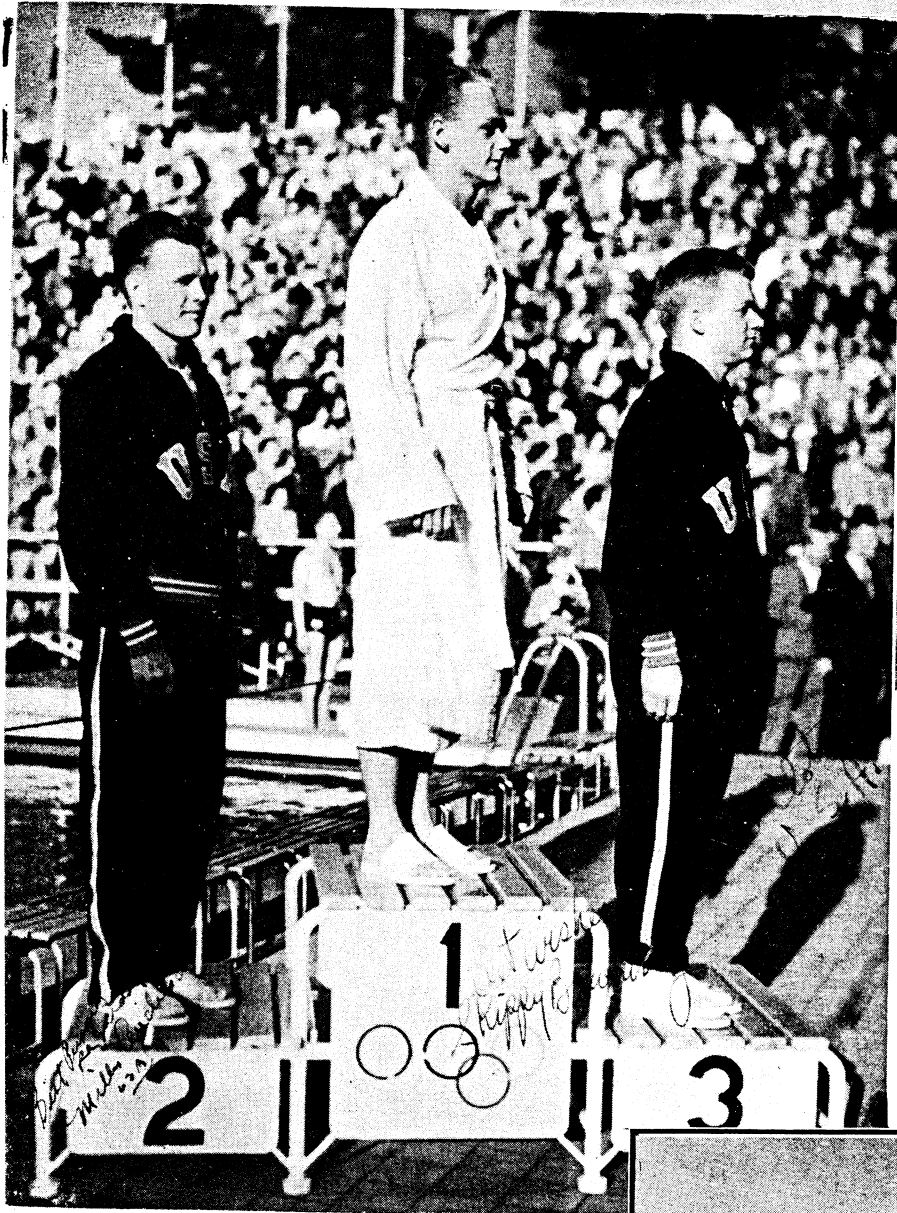
400米自由形に優勝したボアトー(佛)の父親が喜びのあまりプールに飛び込んで歓衆を啞然とさせた



200米平泳決勝のゴール

- 1 デーグイス (濠) 2:34.4
- 2 スタスフォース (米) 2:34.7
- 3 クライン (独) 2:35.9

女子400米リレーの日本チーム
 大石さんより坂口さんへ

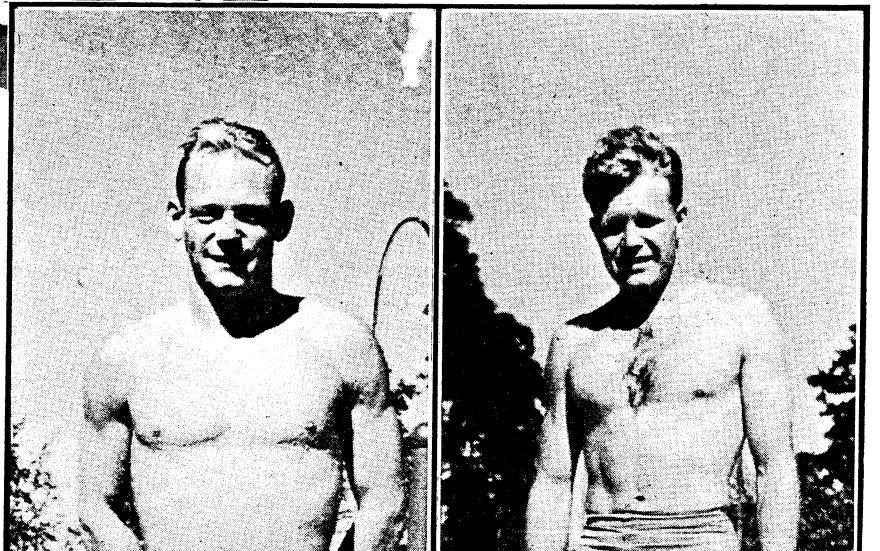


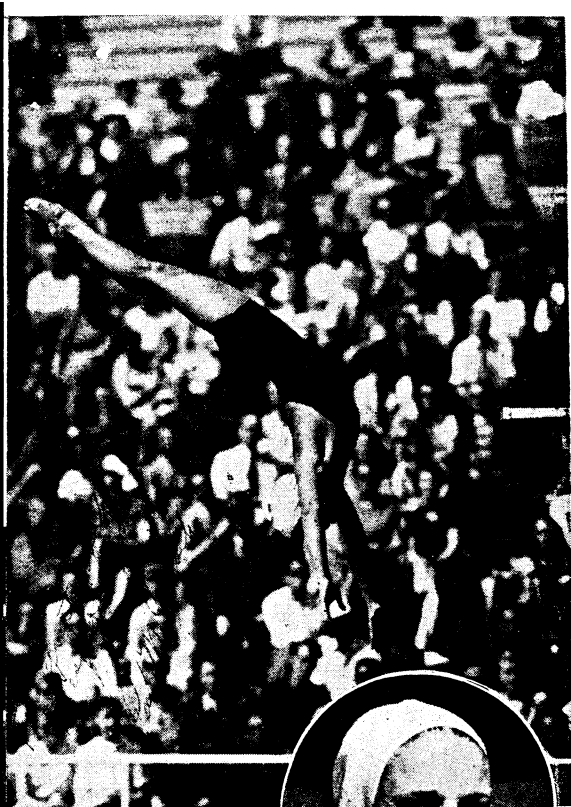
男子飛板飛込に第3位のクロトウオーシイ(米)

男子飛板飛込表彰式

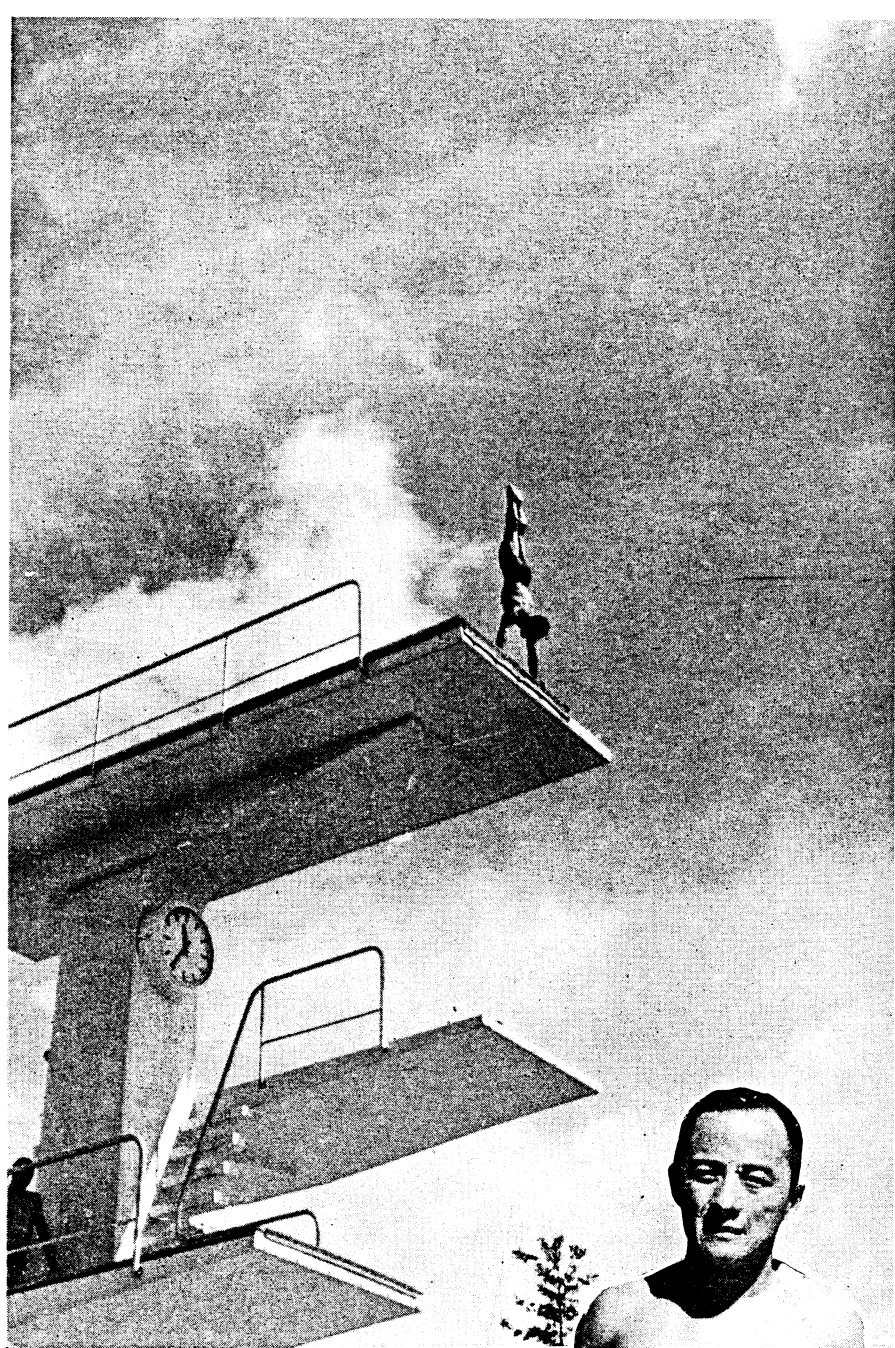
- ① ブラウニング(米)
- ② アンダーソン(米)
- ③ クロトウオーシイ(米)

男子飛板飛込優勝の左ブラウニング(米)と第2位のアンダーソン(米)





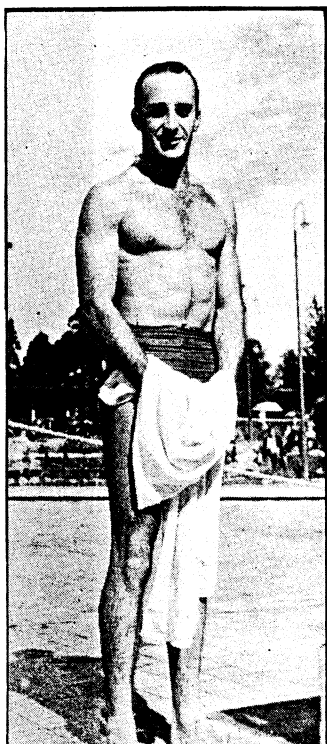
女子飛板、高飛込両種目に優勝の P. マコーミック嬢(米)



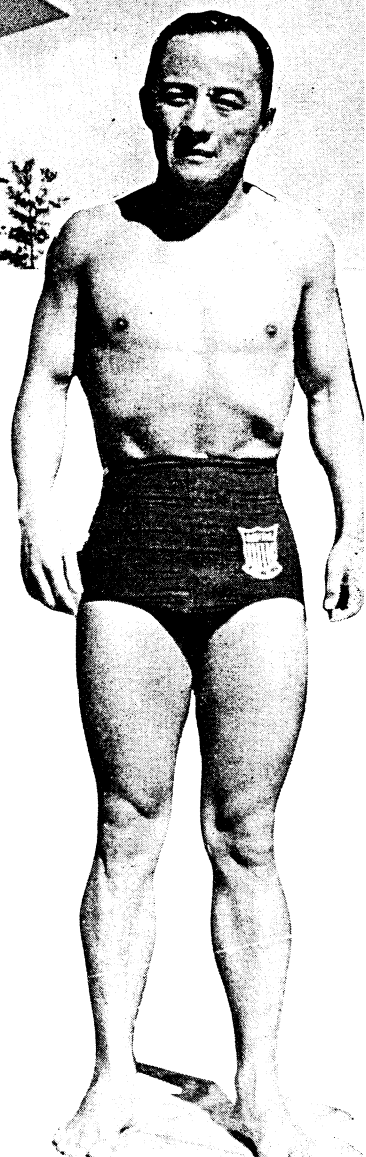
男子高飛込に優勝したサミー・リー選手(米)

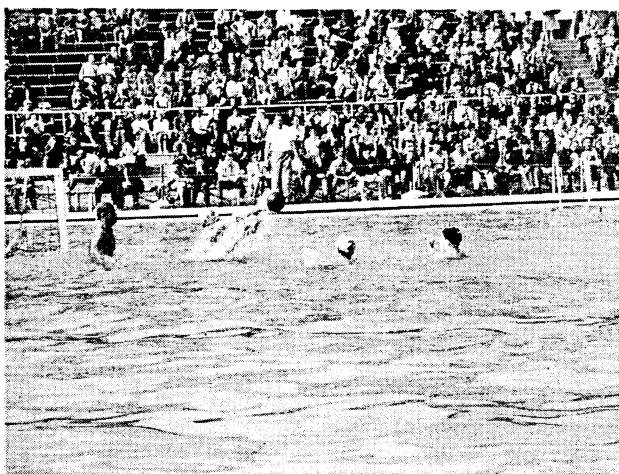
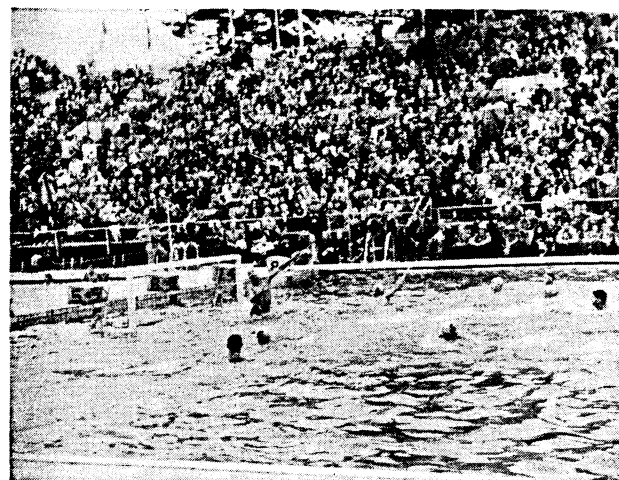


女子飛板飛込に第2位のモロー嬢(佛)



男子飛板飛込に四位になったキャピロー(墨)

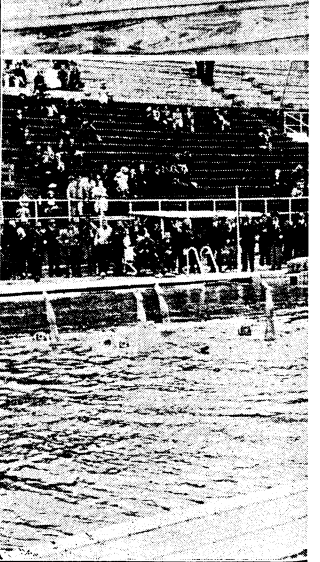
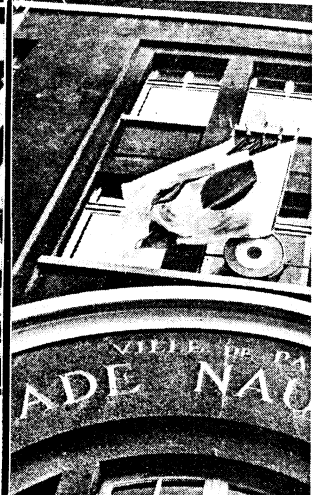




オリンピック水球競技

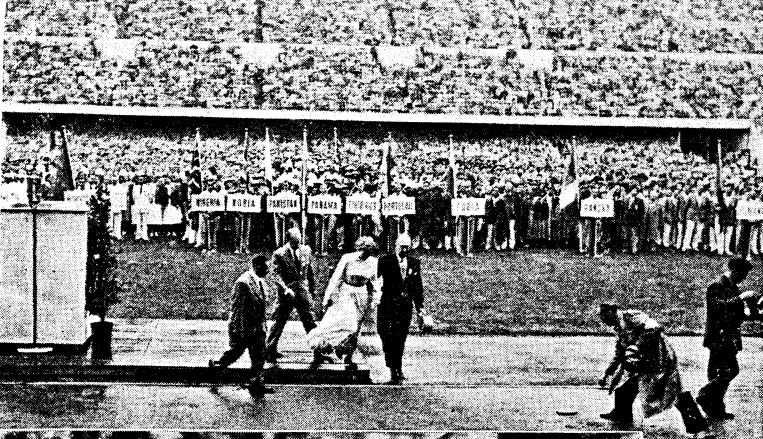
左下は優勝したハンガリーチーム

バスラの飛行場で
左もてる大石さん
下美人にサインを
せがまれる古橋君

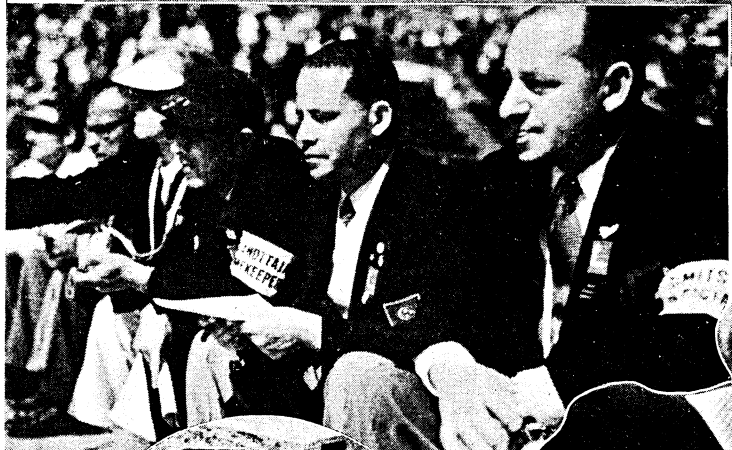


クン夫人(ロンドン大↓
女王)にサインを求
める藤田総監督

←原トレーナ
ーの計時員
ぶり(黒帽)



(右開会式に演壇に飛上った演説
娘(右内)我が子の優勝にブール
へ飛込んだボアトリーの親父



→フランスのブール
入口(日仏対抗)

← 水泳役員
策戦を練る



→オリンピックブールでカワモト嬢と
語る藤田さんと浜口、鈴木両選手



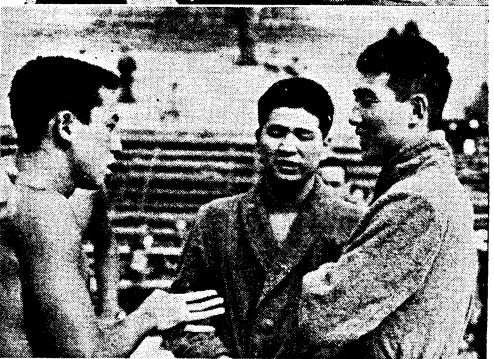
→日本選手の
ストックホルム練習場

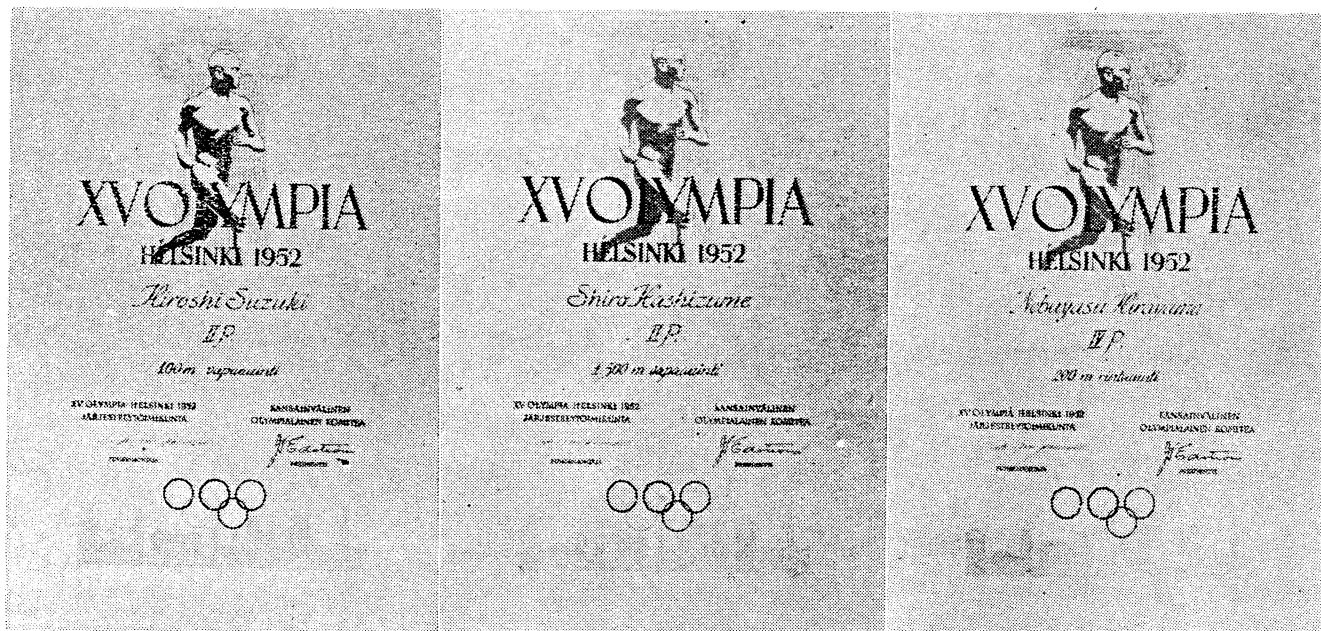
← 射戦中の女子選手と毛利君



→ シンクロナイズスイミング
オリンピック優勝者(米)
は今夏日本に招待する

← コジノ選手とブールで交歓
鈴木、谷川両君





(カット写真は左より 100 米自由形 2 着鈴木、1500 米自由形 2 着橋爪、200 米平泳 4 着平山の各選手の表彰状)

オリンピック大会水上競技正式記録

本記録はヘルシンキオリンピック大会役員が正式に記録した寫しをそのまま記載したものである。記録は競泳、飛込に於いては出場者全部についてとつてあるが、予選は出場者が多い関係上本誌記載分としては 4 位迄とし以下は割愛した。又途中時間があるものはそのまま採用したが、中には同じ種目でも或る組はとつてあり、他の組はとつてないと言つた状態で、統一を欠いており、800 米リレー決勝では南アフリカのメンバーが不明というように、どうかと思われる点が可なりある。

(宍 道)

男子競泳之部

1 100 米自由形

A 豫選 (7 月 26 日)

第 1 組	1 濱口喜博(日)	58.0
	2 A. Eminente(佛)	59.2
	3 I. Novac(羅)	1:00.5
	4 S. R. Muniz(墨)	1:00.5
第 2 組	1 R. Roberts(英)	59.5
	2 O. Johanson(瑞)	1:00.5
	3 C. K. Neo(シンガポール)	1:00.6
	4 F. T. O'Neill(豪)	1:00.6
第 3 組	1 R. Aubrey(豪)	58.2
	2 A. Jany(佛)	58.9
	3 L. Balandin(ソ)	58.9
	4 J. D. Durr(南阿)	1:00.0
第 4 組	1 R. F. Cleveland(米)	57.8

2 鈴木 弘(日)	58.0	
3 C. Pedersoli(伊)	58.8	
4 F. Zwanck(亞)	1:01.2	
第 5 組	1 R. F. Gora(米)	58.0
	2 G. Ipacs(洪)	59.1
	3 M. J. Lans(墨)	1:00.9
	4 M. Vandamme(佛)	1:00.9
第 6 組	1 G. Larson(瑞)	57.5
	2 G. Scholes(米)	58.3
	3 Silvero Ferrer(キューバ)	1:00.0
	4 R. Queralt(西)	1:01.6
第 7 組	1 J. C. Wardrop(英)	58.9
	2 L. Beaumont(加)	1:00.4
	3 A. A. Issac(墨)	1:01.4
	4 M. A. Trabucco(亞)	1:01.5
第 8 組	1 後藤 暢(日)	58.3
	2 J. W. E. Tjebbes(和)	59.1
	3 E. Edassi(ソ)	1:00.1
	4 D. G. Ford(南阿)	1:01.3

第9組	1 G. Kadas (洪)	58.4
	2 T. D. Welsh (英)	59.5
	3 Skomarivskij (ソ)	1:00.0
	4 P. Salmon (加)	1:01.0

B. 準決勝 (7月26日)

第1組	1 C. Scholes (米)	57.1(オ新)
	2 G. Larson (瑞)	57.8
	3 濱口喜博(日)	58.3
	4 A. Eminente (佛)	58.3
第2組	1 G. Kadas (洪)	57.8
	2 鈴木弘(日)	58.0
	3 R. Cleveland (米)	58.6
	4 L. Ballandin (ソ)	58.8
第3組	1 R. Gora (米)	57.7
	2 R. Aubrey (濠)	57.8
	3 後藤暢(日)	58.3
	4 A. Jany (佛)	58.9

再レース (7月27日)

	1 後藤暢(日)	58.5
	2 A. Eminente (佛)	58.8
	3 濱口喜博(日)	59.1

C. 決勝 (7月27日)

	1 C. Scholes (米)	57.4
	2 鈴木弘(日)	57.4
	3 G. Larson (瑞)	58.2
	4 後藤暢(日)	58.5
	5 G. Kadas (洪)	58.6
	6 R. Aubrey (濠)	58.7
	7 A. Eminente (佛)	58.8
	8 R. Gora (米)	58.8

2 400米自由形

A. 予選 (7月28日)

第1組	1 J. C. Wardrop (英)	4:43.7
	2 田中寧夫(日)	4:44.3
	3 G. Gromlowski (波)	4:49.0
	4 J. Bernardo (佛)	4:53.5

田中の途中時間

100M	—	1:04.6	200M	—	2:17.2
300M	—	3:31.2			

第2組	1 古橋廣之進(日)	4:43.3
	2 V. Drobinskij (ソ)	4:56.5

3 C. K. Neo (シンガポール)	4:57.5
4 E. Priggione (ウルガイ)	5:12.1

古橋の途中時間

100M	—	1:06.0	200M	—	2:17.2
300M	—	3:29.5			

第3組	1 J. P. McLane (米)	4:46.5
	2 D. G. Ford (南阿)	4:50.2
	3 A. Gilchrist (加)	4:52.5
	4 E. Granados (西)	4:53.7

McLaneの途中時間

100M	—	1:04.2	200M	—	2:15.9
300M	—	3:30.5			

第4組	1 J. Boiteux (佛)	4:45.1
	2 G. M. Johnston (南阿)	4:52.3
	3 A. Raznochinchev (ソ)	4:56.8
	4 P. Steinwender (奥)	5:03.6

Boiteuxの途中時間

100M	—		200M	—	2:16.0
300M	—	3:30.7			

第5組	1 G. Csoras (洪)	4:45.7
	2 F. Konno (米)	4:47.9
	3 J. E. Tjebbes (和)	4:54.4
	4 C. A. Boncichi (亞)	5:06.3

Konnoの途中時間

100M	—	1:05.6	200M	—	2:17.7
300M	—	3:32.1			

第6組	1 P. O. Ostrand (瑞)	4:38.6(オ新)
	2 G. Kettesi (洪)	4:53.0
	3 D. G. Agnew (濠)	4:55.5
	4 R. Woldum (諾)	5:14.4

Ostrandの途中時間

100M	—	1:03.5	200M	—	3:13.9
300M	—	8:26.3			

第7組	1 T. Okamoto (伯)	4:46.1
	2 J. B. Marshall (濠)	4:46.8
	3 G. McNamee (加)	4:53.5
	4 S. A. Yantorno (亞)	4:54.5

Marshallの途中時間

100M	—	1:06.1	200M	—	2:18.4
300M	—	3:32.4			

第8組	1 W. R. Moore (米)	4:43.2
	2 P. J. Duncan (南阿)	4:44.0
	3 田中純夫(日)	4:54.0
	4 A. Romani (伊)	5:07.0

Moore の途中時間

100M — 1:04.3 200M — 2:16.2

300M — 3:30.3

B. 準決勝 (7月29日)

- | | | | |
|-----|---|-------------------|------------|
| 第1組 | 1 | J. Boiteux (佛) | 4:33.1(オ新) |
| | 2 | P-O Ostrand (瑞) | 4:33.6(オ新) |
| | 3 | J. Wardrop (英) | 4:41.1 |
| | 4 | J. McLane (米) | 4:42.2 |
| | 5 | G. Johnston (南阿) | 4:45.5 |
| | 6 | G. Gromlowsky (波) | 4:47.4 |
| | 7 | 田中純夫 (日) | 4:48.0 |
| | 8 | J. E. Tjebbes (和) | 5:01.9 |

Ostrand の途中時間

100M — 1:03.8 200M — 2:13.8

300M — 3:25.3

- | | | | |
|-----|---|-----------------|--------|
| 第2組 | 1 | W. Moore (米) | 4:42.0 |
| | 2 | 田中寧夫 (日) | 4:44.9 |
| | 3 | G. McNamee (加) | 4:46.7 |
| | 4 | J. Marshall (濠) | 4:50.3 |
| | 5 | D. G. Ford (南阿) | 4:53.6 |
| | 6 | J. Bernardo (佛) | 4:56.0 |

Moore の途中時間

100M — 1:03.0 200M — 2:14.8

300M — 3:27.0

- | | | | |
|-----|---|-------------------|------------|
| 第3組 | 1 | F. Konno (米) | 4:38.6(オ新) |
| | 2 | P. J. Duncan (南阿) | 4:41.7 |
| | 3 | 古橋廣之進 (日) | 4:44.2 |
| | 4 | T. Okamoto (伯) | 4:46.2 |
| | 5 | A. Gilchrist (加) | 4:52.4 |
| | 6 | G. Kettesi (洪) | 4:54.3 |
| | 7 | E. Granados (西) | 4:56.2 |

C. 決勝 (7月30日)

- | | | | |
|--|---|-------------------|------------|
| | 1 | J. Boiteux (佛) | 4:30.7(オ新) |
| | 2 | F. Konno (米) | 4:31.3(オ新) |
| | 3 | P-O. Ostrand (瑞) | 4:35.2(オ新) |
| | 4 | P. J. Duncan (南阿) | 4:37.9(オ新) |
| | 5 | J. C. Wardrop (英) | 4:39.9(オ新) |
| | 6 | W. R. Moore (米) | 4:40.1(オ新) |
| | 7 | J. P. McLane (米) | 4:40.3(オ新) |
| | 8 | 古橋廣之進 (日) | 4:42.1 |

途中時間	Boiteux	Konno
100M	1:02.7	1:02.7
200M	2:11.8	2:12.0

300M 3:21.4 3:21.6

3 1500 米自由形

A. 予選

- | | | | |
|-----|---|----------------------|-------------|
| 第1組 | 1 | 橋爪 四郎 (日) | 18:34.0(オ新) |
| | 2 | G. Gromlowski (波) | 19:17.5 |
| | 3 | O. Gutierrez (墨) | 19:18.9 |
| | 4 | Kelly Dos Santos (伯) | 19:26.8 |
| 第2組 | 1 | J. P. McLane (米) | 19:09.3(オ新) |
| | 2 | H. Lehman (獨) | 19:17.9 |
| | 3 | M. E. Fierro (墨) | 19:55.8 |
| | 4 | D. Agnew (濠) | 20:03.8 |
| 第3組 | 1 | T. Okamoto (伯) | 19:05.6(オ新) |
| | 2 | G. Csordas (洪) | 19:26.2 |
| | 3 | 青木行義 (日) | 19:27.0 |
| | 4 | E. Press (ソ) | 20:11.7 |
| 第4組 | 1 | J. Boiteux (佛) | 19:12.3(オ新) |
| | 2 | W. Woolsey (米) | 19:24.6 |
| | 3 | P. C. Borja (墨) | 19:43.3 |
| | 4 | R. C. Sreenan (英) | 19:59.2 |
| 第5組 | 1 | F. Konno (米) | 18:53.7(オ新) |
| | 2 | J. Bernardo (佛) | 19:06.5(オ新) |
| | 3 | D. G. Ford (南阿) | 19:27.6 |
| | 4 | A. Gilchrist (加) | 20:08.3 |
| 第6組 | 1 | F. J. Duncan(南阿) | 19:03.5(オ新) |
| | 2 | J. B. Marshall(濠) | 19:09.2(オ新) |
| | 3 | 北村 康雄 (日) | 19:10.3(オ新) |
| | 4 | E. Granados (西) | 19:45.9 |

B. 決勝 (8月2日)

- | | | | |
|--|---|-------------------|-------------|
| | 1 | F. Konno (米) | 18:30.0(オ新) |
| | 2 | 橋爪 四郎 (日) | 18:41.4(オ新) |
| | 3 | T. Okamoto (伯) | 18:51.3(オ新) |
| | 4 | J. McLane (米) | 18:51.5(オ新) |
| | 5 | J. Bernardo (佛) | 18:59.1(オ新) |
| | 6 | 北村 康雄 (日) | 19:00.4(オ新) |
| | 7 | P. J. Duncan (南阿) | 19:12.1(オ新) |
| | 8 | J. Marshall (濠) | 19:53.4 |

途中時間

100M	橋爪	1:06.7	200M	橋爪	2:18.8
300M	〃	3:31.1	400M	〃	4:45.6
500M	〃	5:59.5	600M	〃	7:13.9
700M	〃	8:29.9	800M	〃	9:44.4
900M	〃	10:59.3	1000M	〃	12:14.7

1100M	橋爪	13:30.1	1400M	〃	17:18.0
1200M	Konno	14:46.7	1500M	〃	18:30.0
1300M	〃	16:02.7			

豫選における途中時間表

	第1組	第2組	第3組	第4組	第5組	第6組
100米	橋爪 1:03.4	正式報告なし	Csordas 1:05.4	Sreenan 1:09.2	Konno 1:07.5	
200 "	" 2:19.2		" 2:20.9	Bolteux 2:27.0		Duncan 2:20.7
300 "	" 3:34.2		" 3:35.0	" 3:42.1		" 3:35.6
400 "	" 4:48.6		" 4:51.2	" 5:00.0	" 4:52.5	" 4:50.6
500 "	" 6:03.9		" 6:08.4	" 6:17.2		" 6:07.2
600 "	" 7:17.8		" 7:25.8	" 7:36.2		" 7:24.2
700 "	" 8:33.0		Okamoto 8:44.2	" 8:54.0		" 8:42.5
800 "	" 9:48.3		" 10:01.2	" 10:11.2	" 9:58.0	" 10:01.3
900 "	" 11:03.2		" 11:18.6	" 11:27.6		" 11:19.8
1000 "	" 12:17.8		" 12:37.5	" 12:44.4	" 12:31.5	" 12:37.0
1100 "	" 13:35.6		" 13:56.0	" 14:01.8		" 13:54.4
1200 "	" 14:48.4		" 15:13.7	" 15:18.5		" 15:11.6
1300 "	" 16:04.2		" 16:32.3	" 16:34.6		" 16:29.3
1400 "	" 17:22.0		" 17:50.2	" 17:54.2		" "
1500 "	" 18:34.0		" 19:05.6	" 19:12.3	" 18:53.7	" 19:03.5

4 100米背泳

A. 豫選 (7月30日)

第1組	1 G. Bozon (佛)	1:07.8
	2 A. M. Stack (米)	1:08.9
	3 R. Wardrop (英)	1:09.9
	4 倉橋範彦 (日)	1:10.7
第2組	1 P. Galvao (亞)	1:08.1
	2 西野恭正 (日)	1:10.1
	3 A. C. Mejia (墨)	1:10.7
	4 H. Koppelstatter (奥)	1:11.9
第3組	1 J. Taylop (米)	1:07.2
	2 B. Skanata (ユーゴ)	1:07.5
	3 J. Goncales (伯)	1:09.7
	4 L. Bacik (チェツコ)	1:10.2
第4組	1 Y. Oyakawa (米)	1:06.5
	2 N. L. Meiring (南阿)	1:08.5
	3 F Pavan (伯)	1:09.1

第5組	4 Van. Der. Veen (和)	1:09.1
	1 W. J. Brockway (英)	1:08.8
	2 L. Zins (佛)	1:09.7
	3 Monterio Da Foseca (伯)	1:09.9
	4 L. Sagajduk (ソ)	1:11.4
第6組	1 E. Massaria (伊)	1:08.8
	2 V. Solovjev (ソ)	1:09.5
	3 L. W. N. Hurring (新蘭)	1:09.6
	4 L. Gyongyosi (洪)	1:01.0

B. 準決勝 (7月31日)

第1組	1 Y. Oyakawa (米)	1:05.7(オ新)
	2 B. Skanata (ユーゴ)	1:07.8
	3 P. Galvao (亞)	1:07.9
	4 A. M. Stack (米)	1:08.0
	5 W. J. Brockway (英)	1:09.0
	6 E. Pavan (伯)	1:10.2
	7 L. W. N. Hurring (新蘭)	1:10.2
	8 L. Zins (佛)	1:10.5

第2組	1	G. Bozon (佛)	1:06.6
	2	J. Taylos (米)	1:07.0
	3	N. L. Meiring (南阿)	1:07.6
	4	R. Wardrop (英)	1:08.6
	5	V. Solovtew (ソ)	1:09.6
	6	J. Goncales (伯)	1:09.7
	7	E. Massaria (伊)	1:09.7
	8	Van Der Veen (和)	1:10.5

C. 決勝 (8月1日)

	1	Y. Oyakawa (米)	1:05.4(オ新)
	2	G. Bozon (佛)	1:06.2
	3	J. Taylor (米)	1:06.4
	4	A. Stack (米)	1:07.6
	5	P. Galvao (亞)	1:07.7
	6	R. Wardrop (英)	1:07.8
	7	B. Skanata (ユゴ)	1:08.1
	8	N. L. Meiring (南阿)	1:08.3

5 200米平泳

A. 豫選 (7月31日)

第1組	1	M. M. Nitzkowski (米)	2:40.6
	2	Joly dit Dumesnil (佛)	2:43.4
	3	M. Petruszewicz (波)	2:44.0
	4	J. Y. Tikka (南阿)	2:46.3

途中時間 Nitzkowski 100M — 1:15.2

第2組	1	J. G. Davies (濠)	2:39.7
	2	長澤二郎(日)	2:40.4
	3	N. Trojanovic (ユゴ)	2:42.4
	4	B. Rask (瑞)	2:45.3

第3組	1	L. Komadel(チェツコ)	2:38.9オ新
	2	O. Cossani (亞)	2:39.6
	3	梶川孝義(日)	2:39.6
	4	E. W. Ocampo (墨)	2:44.8

途中時間 Komadel 100M — 1:14.4

第4組	1	B. D. Stassforth(米)	2:39.3(オ対)
	2	D. F. Hawkins (濠)	2:41.2
	3	L. Pontelance (加)	2:42.5
	4	P. Skripchekov (ソ)	2:47.3

途中時間 Stassforth 100M — 1:12.4

第5組	1	G. R. Holan (米)	2:36.8(オ新)
	2	M. Lusien (佛)	2:40.9
	3	平山緯保(日)	2:41.5
	4	A. Grijo. Filho (伯)	2:47.6

第6組	1	H. Klein (獨)	2:37.0(オ新)
	2	D. Buyze (和)	2:41.9
	3	V. Borisenki (ソ)	2:43.2
	4	A. K. Kahkonen (芬)	2:43.8

途中時間 Klein 100M — 1:13.6

B. 準決勝 (8月1日)

第1組	1	J. G. Davies (濠)	2:36.8オ新
	2	L. Komadel(チェツコ)	2:38.8オ新
	3	平山緯保(日)	2:39.1(オ新)
	4	G. R. Holan (米)	2:39.2(オ新)
	5	M. M. Nitzkowski (米)	2:41.4
	6	D. Buyse (和)	2:42.6
	7	O. Cossani (亞)	2:43.1
	8	L. Portelance (加)	2:43.8

途中時間 平山 100M — 1:15.8

第2組	1	H. Klein (獨)	2:37.0(オ新)
	2	梶川孝義(日)	2:37.3(オ新)
	3	B. Stassforth (米)	2:38.7(オ新)
	4	長澤二郎(日)	2:39.0(オ新)
	5	M. Lusien (佛)	2:39.1(オ新)
	6	D. J. Hawkins (濠)	2:39.8
	7	N. Trojanovic (ユゴ)	2:41.8
	8	V. Borisenko (ソ)	2:46.2

途中時間 Klein 100M — 1:12.6

C. 決勝 (8月2日)

	1	J. Davies (濠)	2:34.4(オ新)
	2	B. D. Stassforth (米)	2:34.7(オ新)
	3	H. Klein (獨)	2:35.9(オ新)
	4	平山緯保(日)	2:37.4(オ新)
	5	梶川孝義(日)	2:38.6(オ新)
	6	長澤二郎(日)	2:39.2(オ新)
	7	M. Lusien (佛)	2:39.8
	8	L. Komadel (チェツコ)	2:40.1

6 800米リレー

A. 豫選 (7月28日)

第1組		Bernardo	2:17.1	
		Eminente	2:19.4	
	1	佛 国	Jany	2:11.6 8:55.9
			Boiteux	2:07.8
			Botham	2:20.8
			Burns	2:14.2
	2	英 国	Welsh	2:15.2 8:59.7
			Wardrop	2:09.5

3 濠洲	Aubrey	2:15.6	9:01.4
	Oneill	2:14.1	
	Agnew	2:18.0	
	Marshall	2:13.7	
4 ソ連	Drobinski	2:14.2	9:01.9
	Karmanov	2:18.3	
	Meschkov	2:15.3	
	Balandin	2:14.1	
第2組 1 米 国	Wolf	2:11.4	8:50.9
	Sheff	2:12.9	
	Dooley	2:14.7	
	Jones	2:11.9	
2 ハンガリー	Csordas	2:13.2	8:54.6
	Gyongyosi	2:14.1	
	Kettesi	2:15.0	
	Nyeki	2:12.3	
3 南 阿	Johnston	2:15.3	8:58.7
	Ford	2:14.0	
	Durr	2:17.7	
	Duncan	2:11.7	
4 ブラジル	De.MeloLara	2:15.6	9:09.0
	Kelly do Santos	2:19.0	
	Boghossian	2:26.6	
	Goncales	2:17.8	
第3組 1 日 本	濱 口	2:10.1	8:42.1 (オ新)
	鈴 木	2:08.5	
	後 藤	2:14.0	
	谷 川	2:09.5	
2 瑞 典	Olander	2:17.7	8:52.3
	Larsson	2:12.1	
	Johansson	2:13.5	
	Ostrand	2:09.0	
3 アルゼンチン	Zwanck	2:18.0	8:59.3
	Trabucco	2:14.0	
	Galvao	3:12.9	
	Yantorno	1:14.4	
4 カナダ	McNamee	2:16.6	9:10.9
	Beaumont	2:20.5	
	Portelance	2:17.9	
	Gilchrist	2:15.9	

B. 決勝 (7月29日)

1 米 国	Moore	2:08.7	8:31.1 (オ新)
	Woolsey	2:09.3	
	Konno	2:07.9	
	McLane	2:05.2	

註 藤田監督の話によれば Konno, McLane
共に2分6秒台であつた由。

2 日 本	鈴 木	2:07.0	8:33.5 (オ新)
	濱 口	2:08.1	
	後 藤	2:09.1	
	谷 川	2:09.3	

3 佛 国	Eminente	2:14.0	8:45.9
	Bernardo	2:14.3	
	Jany	2:11.2	
	Boiteux	2:06.4	
4 瑞 典	Svantesson	2:15.8	8 46 8
	Larsson	2:10.4	
	Ostrand	2:09.4	
	Johansson	2:11.2	
5 ハンガリー	Gyongyosi	2:15.8	8:52.6
	Csordas	2:12.9	
	Kettesi	2:12.3	
	Nyeki	2:11.6	
6 英 国	Botham	2:15.9	8:52.9
	Welsh	2:13.9	
	Burns	2:13.4	
	Wardrop	2:09.7	
7 南 阿	不明	2:14.7	8:55.1
	〃	2:14.7	
	〃	2:15.6	
	〃	2:10.1	
8 アルゼンチン	Yantorno	2:14.6	8:56.0
	Trabucco	2:14.6	
	Zwanck	2:14.9	
	Galvao	2:12.8	

女子競泳之部

1 100米自由形

A. 豫選 (7月26日)

第1組	1 I. Schumacher (和)	1:06.7
	2 I. Novak (洪)	1:07.7
	3 E. Rechlin (獨)	1:08.5
	4 M. D. Petersen (丁)	1:09.6
	5 M. L. Nardi (伊)	1:13.2
	6 山下貞子 (日)	1:13.2
第2組	1 J. M. Termeulen (和)	1:07.3
	2 G. Andersen (丁)	1:08.0
	3 J. Th. Roberts (米)	1:08.3
	4 M. Lundqvist (瑞)	1:10.8
第3組	1 K. Szoke (洪)	1:07.1
	2 K. Van Voorn (和)	1:07.4
	3 J. Arene (佛)	1:09.1
	4 J. A. Botham (英)	1:10.5
	5 坂口文子 (日)	1:14.6
第4組	1 J. G. Harrison (南阿)	1:06.5
	2 J. Alderson (米)	1:07.4
	3 A. M. Barnwell (英)	1:07.6

	4	I. Fredin (瑞)	1:08:0
第 5 組	1	J. Temes (洪)	1:05.5(オ新)
	2	Andersen-Hveger (丁)	1:08.6
	3	M. Berglund (瑞)	1:09.8
	4	L. Preece (英)	1:10.0
	5	R. K. Jarvinen (芬)	1:11.5
	6	S. Verckist (白)	1:13.7
	7	宮 部 シズエ (日)	1:16.6
第 6 組	1	M. Stepan (米)	1:07.7
	2	M. A. E. McQuade (濠)	1:07.9
	3	A. M. Schultze (亞)	1:10.6
	4	G. Tanguy (佛)	1:10.6

B. 準決勝 (7 月 27 日)

第 1 組	1	J. Alderson (米)	1:06.6
	2	I. Schumacher (和)	1:06.7
	3	J. Termeulen (和)	1:07.1
	4	M. Stepan (米)	1:07.4
	5	J. Temes (洪)	1:07.4
	6	Andersen-Hveger (丁)	1:07.7
	7	M. McQuade (濠)	1:08.2
	8	I. Fredin (瑞)	1:08.7

途中時間 Schumacher 50M — 31.6

第 2 組	1	J. Harrison (南阿)	1:07.2
	2	K. Szoke (洪)	1:07.2
	3	A. Barnwell (英)	1:07.2
	4	I. Novak (洪)	1:07.8
	5	K. Van. Voorn (和)	1:08.1
	6	G. Andersen (丁)	1:08.2
	7	J. Roberts (米)	1:08.2
	8	E. Rechlin (獨)	1:08.5

途中時間 Harrison 50M — 30.9

C. 決勝 (7 月 28 日)

	1	K. Szoke (洪)	1:06.8
	2	J. M. Termeulen (和)	1:07.0
	3	J. Temes (洪)	1:07.1
	4	J. Harrison (南阿)	1:07.1
	5	J. Alderson (米)	1:07.1
	6	I. Schumacher (和)	1:07.3
	7	M. Stepan (米)	1:08.0
	8	A. Barnwell (英)	1:08.6

2 400 米自由形

A. 豫選 (7 月 31 日)

第 1 組	1	A. H. Schulz (亞)	5:26.1
-------	---	------------------	--------

	2	H. Peeters (白)	5:29.8
	3	M. O. Peterson (丁)	5:30.6
	4	G. Wood (英)	5:31.2

途中時間 Schulz

100M — 1:11.2 200M — 2:32.1

300M — 3:59.6

第 2 組	1	Andersen-Hveger (丁)	5:19.6
	2	E. Szekely (洪)	5:20.0
	3	J. J. Davies (濠)	5:21.2
	4	D. Meulenkamp (米)	5:21.4

途中時間 Hveger

100M — 1:11.7 200M — 2:32.5

300M — 3:56.2

第 3 組	1	V. Gyenge (洪)	5:22.6
	2	C. Green (米)	5:23.8
	3	C. Thomas (佛)	5:36.8
	4	E. Rechlin (獨)	5:38.0

途中時間

100M Green — 1:13.2

200M Gyenge — 2:36.2

300M " — 4:00.5

第 4 組	1	E. T. Kawamoto(米)	5:16.6(オ新)
	2	D. Wilkinson(英)	5:16.6(オ新)
	3	J. C. Harrison (南阿)	5:21.8
	4	I. Fredin (瑞)	5:28.7
	5	G. Jany (佛)	5:32.6
	6	I. Schumacher (和)	5:45.2
	7	山 下 貞 子 (日)	5:48.4

途中時間

100M Harrison — 1:11.3

200M " — 2:33.8

300M Kawamoto — 3:56.4

第 5 組	1	E. Novak (洪)	5:19.1
	2	G. Andersen (丁)	5:21.3
	3	P. Tavares (伯)	5:26.9
	4	D. Norton (濠)	5:28.5
	5	M. Lundqvist (瑞)	5:34.4
	6	J. Arene (佛)	5:44.1
	7	田 村 美 佐 子 (日)	5:59.0

途中時間 Novak

100M — 1:13.8 200M — 2:34.3

300M — 3:57.3

B. 準決勝 (8 月 1 日)

第 1 組	1	E. T. Kawamoto (米)	5:21.2
-------	---	--------------------	--------

2	E. Novak (洪)	5:21.3
3	A. Schultz (亞)	5:22.0
4	G. Andersen (丁)	5:22.1
5	J. Harrison (南阿)	5:23.1
6	J. Davies (濠)	5:25.6
7	P. Tavares (伯)	5:28.5

途中時間 Kawamoto

100M — 1:13.7 200M — 2:36.5
300M — 4:00.2

第 2 組

1	A. Gyenge (洪)	5:16.9(才新)
2	C. Reen (米)	5:18.3
3	E. Szekely (洪)	5:19.3
4	R. Andersen (丁)	5:19.5
5	D. Wilkinson (英)	5:27.2
6	D. Meulenkamp (米)	5:27.9
7	A. Norton (濠)	5:30.9
8	H. Peeters (白)	5:36.5

途中時間 Green

100M — 1:11.2 200M — 2:33.6
300M — 3:57.6

C. 決勝 (8月2日)

1	V. Gyenge (洪)	5:12.1(才新)
2	E. Novak (洪)	5:13.7(才新)
3	E. T. Kawamoto (米)	5:14.6(才新)
4	C. Green (米)	5:16.5(才新)
5	R. Andersen (丁)	5:16.9(才新)
6	E. Szekely (洪)	5:17.9
7	A. Schultz (亞)	5:24.0
8	G. Andersen (丁)	5:27.7

途中時間

100M R. Andersen — 1:11.7
200M " — 2:32.9
300M Gyenge — 3:53.5

3 100 米 背 泳

A. 豫選 (7月29日)

第 1 組

1	G. Wielema (和)	1:13.8(才新)
2	J. Stewart (新蘭)	1:16.0
3	M. McDowall (英)	1:17.5
4	B. Stark (米)	1:17.9

途中時間 Wielema 50M — 34.4

第 2 組

1	H. Van Der Horst (和)	1:17.0
2	G. Herrbruk (獨)	1:17.8

3	M. Freeman (米)	1:18.0
4	O. Groba (伯)	1:20.0

途中時間 Van Der Horst 50M — 32.9

洪 3 組

1	J. Harrison (南阿)	1:14.7
2	J. De Korte (和)	1:15.8
3	P. Musgrove (英)	1:19.6
4	M. Hunyadfi (洪)	1:19.6

途中時間 De Korte 50M — 35.0

B. 決勝 (7月31日)

1	J. C. Harrison (南阿)	1:14.3(才新)
2	G. Wielema (和)	1:14.5
3	J. Stewart (新蘭)	1:15.8
4	J. De Korte (和)	1:15.8
5	B. L. Stark (米)	1:16.2
6	G. Herrbruk (獨)	1:18.0
7	M. G. McDowall (英)	1:18.4

途中時間 Wielema, De Korte

50M — 34.3

なお Van Der Horst (和) は失格

参考時間 1:16.9

4 200 米 平 泳

A. 豫選 (7月26日)

第 1 組

1	E. Novak (洪)	2:54.0(才新)
2	U. Happe (獨)	3:02.7
3	H. Bruins (和)	3:04.7
4	V. Kostina (ソ)	3:07.3

途中時間 Novak 100M — 1:23.5

第 2 組

1	E. J. M. Bonnier (和)	3:00.0
2	B. N. Lyons (濠)	3:04.4
3	V. G. Harris (英)	3:04.6
4	R. Zenziveeva (ソ)	3:10.5

途中時間 Bonnier 100M — 1:27.6

第 3 組

1	H. O. Gordon (英)	2:58.6
2	K. Killerman (洪)	2:59.1
3	坂本和子 (日)	3:02.7
4	O. Lusein (伊)	3:06.7

第 4 組

1	E. Szekely (洪)	2:55.1(才新)
2	R. E. Vergauwen (白)	3:02.8
3	J. Wrigley (英)	3:04.5
4	K. A. Makela (芬)	3:04.7

第 5 組

1	J. Hansen (丁)	2:57.7
2	P. F. Garritsen (和)	2:59.4

3 U-B. Eklund (瑞) 3:01.2
 4 M. Gavrish (ソ) 3:01.6

途中時間 Gavrish 100M — 1:26.3

B. 準決勝 (7月27日)

第1組 1 E. Novak (洪) 2:55.8(オ新)
 2 K. Killerman (洪) 2:56.5(オ新)
 3 M. Gavrish (ソ) 2:58.6
 4 J. Hansen (丁) 2:59.5
 5 E. Bonnier (和) 3:00.3
 6 H. Bruins (和) 3:02.4
 7 坂本和子(日) 3:04.2
 8 B. Lyons (濠) 3:05.6

途中時間 Novak 100M — 1:24.9

第2組 1 E. Szekely (洪) 2:54.0(オ新)
 2 E. Gordon (英) 2:57.8
 3 N. Garritsen (和) 2:59.5
 4 U-B. Eklund (瑞) 2:59.6
 5 R. Vergauwen (白) 3:02.6
 6 J. Wrigley (英) 3:03.2
 7 U. Happe (獨) 3:03.8
 8 K. Makela (芬) 3:06.2

途中時間 Szekely 100M — 1:23.3

C. 決勝 (7月29日)

1 E. Szekely (洪) 2:51.7(オ新)
 2 E. Novak (洪) 2:54.4 オ新)
 3 N. O. Gordon (英) 2:57.6
 4 K. Killerman (洪) 2:57.6
 5 J. Hansen (丁) 2:57.8
 6 M. Gavrish (ソ) 2:58.9
 7 U-B. Eklund (瑞) 3:01.8
 8 P. Garritsen (和) 3:02.1

途中時間 Novak 100M — 1:23.4

5 400米リレー

A. 豫選 (7月30日)

第1組 Littomericzky 1:09.1
 E. Novak 1:06.2
 1ハンガリー I. Novak 1:08.5 4:32.5
 K. Szoke 1:08.7
 Linton 1:09.5
 Botham 1:09.0
 2英国 Barnwell 1:08.3 4:36.0
 Preece 1:09.2

Larsen 1:11.0
 Petersen 1:09.1
 3丁 抹 G. Andersen 1:10.1 4:36.4
 R. Andersen 1:06.4

Schaferkord 1:12.1
 Jansen 1:12.6
 4獨 乙 Rechlin 1:08.8 4:42.7
 Jacobs 1:09.2

Nardi 1:14.0
 Benini 1:11.2
 5伊太利 Belaise 1:15.2 4:52.6
 Calligaris 1:12.2

大石 1:14.1
 坂口 1:13.8
 6日本 田村 1:13.1 4:54.0
 山下 1:12.4

第2組

Kawamoto 1:08.3
 Lavine 1:06.7
 1米 国 Stepan 1:07.0 4:28.1
 Alderson 1:06.1 (オ新)

Linssen 1:07.5
 Van Voorn 1:08.3
 2和 蘭 Termeulen 1:07.2 4:30.6
 Schumachr 1:07.6

Lundqvist 1:10.3
 Andersson 1:10.4
 3瑞 典 Berglund 1:09.9 4:38.1
 Fredin 1:07.5

Arene 1:08.6
 Morandini 1:11.9
 4佛 国 Tanguy 1:11.2 4:42.0
 Jany 1:10.3

Strong 1:14.2
 Fisher 1:17.3
 5カナダ Priestley 1:11.8 4:54.8
 Mc. Namee 1:11.5

Guilini 1:13.6
 Peeters 1:15.2
 6ベルギー Possemiers 1:12.8 4:54.8
 Verckist 1:13.2

Riuttala 1:13.6
 Koivula 1:16.5
 7芬 蘭 Haaranen 1:15.1 4:56.0
 Jarvinen 1:10.8

B. 決勝 (8月1日)

I. Novak 1:07.8
 Temes 1:05.8
 1ハンガリー E. Novak 1:05.1 4:24.4
 Szoke 1:05.7 (オ新)

Linssen 1:08.1
 Van Voorn 1:07.8
 2和 蘭 Termeulen 1:06.5 4:29.0
 Schumacher 1:06.6 (オ新)

3	米 国	Lavine	1:08.1	4:30.1
		Stepan	1:07.7	
		Alderson	1:06.3	
		Kawamoto	1:08.0	
4	丁 抹	Larsen	1:10.1	4:36.2
		Petersen	1:08.6	
		G. Andersen	1:10.5	
		R. Andersen	1:07.0	
5	英 国	Linton	1:10.1	4:37.8
		Botham	1:09.7	
		Barnwell	1:07.8	
		Preece	1:10.2	
6	瑞 典	Lundqvist	1:10.7	4:39.0
		Anderson	1:10.2	
		Berglund	1:10.3	
		Fredin	1:07.8	
7	獨 乙	Rechlin	1:09.2	4:40.3
		Schaferkord	1:10.0	
		Jansen	1:12.4	
		Jacobs	1:08.7	
8	佛 国	Tanguy	1:11.2	4:44.1
		Morandini	1:12.5	
		Jany	1:09.8	
		Arene	1:10.6	

男子飛込之部

1 飛板飛込

1st Group (7月27日)

1	Browning (米)	42.27
2	Andersson (米)	40.67
3	Capilla (墨)	37.94
4	Clotworthy (米)	37.54
5	Johnson (白)	35.06
6	Aderhold (獨)	34.22
7	Elliot (英)	33.99
8	Worisch (奥)	33.87
9	Busin (伯)	33.67
10	Sobeck (獨)	33.35
11	Gosling (白)	33.23
12	Turner (英)	33.12
13	Zhigalov (ソ)	31.71
14	Brener (ソ)	31.59
15	Ali (埃)	31.36
16	Mari (伊)	21.32
17	Heatly (英)	30.56
18	Raanan (イスラエル)	30.54

19	Vasenius (芬)	30.25
20	毛利勝一(日)	30.17

以下 36 位迄省略

Preliminary Round

1	D. G. Browning (米)	89.59
2	M. Anderson (米)	88.00
3	R. Clotworthy (米)	80.67
4	J. Capilla (墨)	79.42
5	T. A. Turner (英)	71.36
6	A. Zhigalov (ソ)	71.25
7	R. Brener (ソ)	69.37
8	M. Busin (伯)	67.97

以上 8 名が決勝出場資格を獲得

9	Y. Raanan (イスラエル)	67.70
10	F. Worisch (奥)	67.18
11	H. Aderhold (獨)	67.09
12	W. Sobeck (獨)	66.75
13	G. Udslov (ソ)	65.99
14	H. A. A. Vasenius (芬)	65.41
15	毛利勝一(日)	65.23

以下 36 位迄省略

決勝 (7月28日)

1	D. G. Browning (米)	205.29
2	M. A. Anderson (米)	199.84
3	R. L. Clotworthy (米)	184.92
4	P. J. Capilla (墨)	178.33
5	R. Brener (ソ)	165.63
6	M. Busin (伯)	155.91
7	T. A. Turner (英)	151.90
8	A. Zhigalov (ソ)	151.31

2 高飛込

1st Group 4 Dives (7月31日)

1	Lee (米)	55.91
2	Mccormack (米)	51.16
8	Haase (獨)	48.32
4	Bakatin (ソ)	48.10
5	Heatly (英)	47.46
6	Brener (ソ)	46.21
7	J. Capilla (墨)	45.85
8	Chachba (ソ)	44.26
9	Perea (墨)	44.07
10	Turner (英)	43.88

23 毛利勝一 (日) 40.60
以下 31 位迄省略

1st Group 6 Dives (7月31日)

1 Lee (米) 86.38
2 J. Capilla (墨) 78.46
3 Haase (獨) 75.41
4 McCormack (米) 75.26
5 A. Capilla (墨) 72.95
6 Perfa (墨) 72.88
7 Bakatin (ソ) 71.86
8 Brener (ソ) 71.01
9 Calhoun (米) 70.22
10 Geyer (獨) 69.64

29 毛利勝一 (日) 58.65
以下 31 位迄省略

決勝 (8月1日)

1 S. Lee (米) 156.28
2 J. Capilla (墨) 145.21
3 G. Haase (獨) 141.31
4 J. McCormack (米) 138.74
5 A. Capilla (墨) 136.44
6 C. R. Perea (墨) 128.28
7 A. Bakatin (ソ) 126.86
8 R. Brener (ソ) 126.31

女子飛込之部

1 飛板飛込

1st Group 3 Dives (7月29日)

1 P. McComick (米) 42.50
2 M. Moreau (佛) 41.11
3 C. Welsh (英) 36.36
4 Z. Jensen (米) 35.69
5 N. Pellissard (佛) 33.98
6 D. Drew (英) 33.68
7 A. Wahlberg (瑞) 33.57
8 N. Krvtova (ソ) 33.15
9 P. Long (英) 31.11
10 L. Zhigalova (ソ) 30.66
14 宮本まさみ (日) 27.79

15 H. Lanting-Keller (和) 26.63
以上全部

1st Group 2 Dives (7月29日)

1 P. McComick (米) 71.85
2 M. Moreau (佛) 67.65
3 Z. Jensen (米) 63.09
4 C. Welsh (英) 59.14
5 N. Krutova (ソ) 56.18
6 N. Pellissard (佛) 55.69
7 P. Long (英) 54.82
8 L. Zhigalova (ソ) 54.18
9 C. Frick (米) 52.97
10 V. Chumicheva (ソ) 52.15

15 宮本まさみ (日) 46.88
以上全部

決勝 (7月30日)

1 P. McCormick (米) 147.30
2 M. Moreau (佛) 139.34
3 Z. Jensen (米) 127.57
4 N. Krutova (ソ) 116.86
5 C. Welsh (英) 116.38
6 L. Zhigalova (ソ) 113.83
7 N. Pellissard (佛) 111.98
8 P. Long (英) 108.82

2 高飛込

Eliminating Round 4 Dives (8月1日)

1 P. McCormick (米) 51.25
2 P. Myers (米) 44.22
3 J. Irwin (米) 43.60
4 N. Pellissard (佛) 43.59
5 T. Vereina (ソ) 43.26
6 P. Long (英) 43.23
7 D. Spencer (英) 43.16
8 E. Bogdanovskaja (ソ) 40.67
9 E. Pfarrhofer (奥) 40.26
10 G. Rio Laurenzana (墨) 39.76
以下 15 位迄省略

決勝 (8月2日)

1 P. McCormick (米) 79.37
2 P. Meyers (米) 71.63
3 J. Irwin (米) 70.49

4	N. Pellissard (佛)	69.08
5	P. Long (英)	63.19
6	T. Vereina (ソ)	61.09
7	D. Spencer (英)	60.76
8	E. Bogdanovskaja (ソ)	57.50

水 球 之 部

第 1 ラウンド

7 月 25 日

○ ハンガリー	13—4	● メキシコ
○ エジプト	10—0	● ポルトガル
○ ドイツ	8—4	● ルーマニヤ
○ ベルギー	6—5	● 南アフリカ
○ ユーゴ	10—2	● オーストラリヤ
○ イタリア	16—1	● インド
● ブラジル	2—3	○ スペイン
○ イギリス	4—3	● オーストリー
○ スウェーデン	5—1	● アメリカ
○ オランダ	3—2	● ソ連

7 月 26 日

● オーストラリヤ	0—6	○ オーストリー
● インド	0—12	○ ソ連
● メキシコ	0—4	○ 南アフリカ
● ポルトガル	2—6	○ ブラジル
● ルーマニヤ	3—6	○ アメリカ
○ イタリア	4—3	● イギリス
○ ハンガリー	9—0	● エジプト
● アルゼンチン	3—9	○ オランダ
○ ベルギー	5—4	● スペイン

7 月 27 日

○ エジプト	5—2	● ドイツ
● オーストリー	1—8	○ イタリア
○ ユーゴ	9—1	● アルゼンチン
● イギリス	3—8	○ アメリカ
○ スペイン	3—1	● 南アフリカ
● スウェーデン	1—7	○ オランダ
○ ベルギー	3—1	● ブラジル
○ ソ連	2—1	● ハンガリー

7 月 28 日

● ブラジル	4—6	○ スペイン
× イギリス	3—3	× オーストリー
● エジプト	2—3	○ ソ連

○ スウェーデン	7—2	● アルゼンチン
○ ベルギー	4—0	● 南アフリカ
○ ハンガリー	9—1	● ドイツ
○ イタリア	5—4	● アメリカ
○ オランダ	3—2	● ユーゴ

7 月 29 日

● エジプト	1—4	○ アメリカ
○ ソ連	6—2	● ドイツ
● ブラジル	2—9	○ 南アフリカ
○ ユーゴ	9—1	● スウェーデン

第 2 ラウンド

7 月 30 日

○ アメリカ	4—2	● ベルギー
○ イタリア	2—1	● スペイン
× オランダ	4—4	× ハンガリー
× ソ連	3—3	× ユーゴ

7 月 31 日

× ユーゴスラビヤ	2—2	× ハンガリー
○ オランダ	4—2	● ソ連
○ イタリア	5—1	● ベルギー
● スペイン	4—6	○ アメリカ

8 月 1 日

○ ユーゴ	2—1	● オランダ
-------	-----	--------

決勝ラウンド

8 月 1 日

● スペイン	3—4	○ ソ連
● イタリア	2—7	○ ハンガリー
● ベルギー	3—5	○ オランダ
● アメリカ	2—4	○ ユーゴ

8 月 2 日

● スペイン	1—7	○ オランダ
× ベルギー	3—3	× ソ連
● イタリア	1—3	○ ユーゴ
○ ハンガリー	4—0	● アメリカ

決 定 順 位

- 1 ハンガリー
- 2 ユーゴスラビヤ
- 3 イタリア
- 4 アメリカ
- 5 オランダ
- 6 ベルギー
- 7 ソ連
- 8 スペイン

水泳チームのフィジカル・トレーニングに就いて

原 秀 夫

今回のオリンピックに於ける日本水泳チームのフィジカル・トレーニングに就ては、非常に不十分で水泳選手としてもこの事に対する不満が相当あつただらうと想像して居る。結論的には日本の水泳チームの様に①直にオリンピックチャンピオンを目指す一流選手②入賞圏内を上下している選手③女子選手と云う様な多彩な選手団を構成している場合には、少く共3人位の専門家を配して夫々別のグループに分けて、それに適したトレーニングを課して行わなければ充分な事は出来ないと思う。だがそれはそれとして今回はどの様にしてやつたかと云う事から述べて行くと、種々の都合からトレーナーは小生1人で然も飛込コーチを兼ねて行く事になつた。それで自分としては、①数次に亘つてやつた候補選手の合宿練習の時に実施した極めて短い「シリーズ」の水泳予備体操を「ウォーミングアップの体操」として、次に②各人が自分に合った様な個性的な運動を考えてその運動の組み方と実施の方法について私と個々に相談する。この2段階を実施する事によつて不十分ながら選手のコンディションを整え様と考えていた。処が冒頭にも触れた様に実際出来上つた日本水泳チームが全く玉石混合となつた上、殊に女子チーム等になると想像以上に気力がなく、終始私が号令を掛けていなければ前述の短い「シリーズ」の予備体操さえも実施出来ないと云う状態で、結局古橋、浜口、橋爪君等のベテランクラスには眞に気の毒ながら殆んど一ヶ処に集めてやる体操だけに終始する様な結果となつてしまつた。

元來フィジカル・トレーニングが日本水泳界で重視される様になつたのは1932年のロサンゼルス・オリンピックの時からで、それが其後日本水泳連盟で水泳補助運動として体系づけられて今日に到つている。この中に盛り込んである運動は基本的で一般的な誰にでも向く様なものが大部分で唯その簡単なものをあきずに数多く而も丁寧に反覆する事によつて相当の効果を収める事が出来る極めて安全なものである。処が今度の日本水泳チームの様に古橋、橋爪、浜口と云う様な名実共に完成期の世界的な水泳選手に対するフィジカル・トレーニングと云う事に

なるともつと数段個性的な、極端に云えば「古橋シリーズ」「橋爪シリーズ」を造つて夫々だけに最も適したトレーニングをさせることが当然考えられるのである。更に又泳ぎの面では前者に劣らず世界の第一線級ではあるが体格的には未だ未完成の点も多い鈴木、後藤等に対するトレーニングはどうか？と云う事になると、此れ又ベテラン級とは違つたプログラムが要求されて來るのである。

扱てこの方面に対する各国の水泳チームのやり方はどうであつたかと云うと、流石にアメリカ、ソ連を始めフランス等のチームでも眞に充実した職業トレーナー、職業マッサージ師のスタッフを連れて來ていた。兼てからアメリカの水泳チームが経済的な豊かさに物を云わせて、何時でも其の時の米国チームを構成する選手の状態に應じて、其の選手を永年手塩に掛けたコーチ、トレーナーを中心にした10数人のコーチ団がオリンピックに乗り込んで來て、選手達にとつては眞に至れり盡せりの恵まれた環境を造つていた事は世界周知の事実であつたが今回のオリンピックではヨーロッパの各国も稍之に近い状況を示して居り、日本水泳選手と特に親しくなつたフランスのトレーナー等は暇な時には日本選手のマッサージもやつて呉れると云う有様であつた。又オリンピックの競技前に日本の水泳チームはストックホルムのスポーツパラセットで約2週間の練習期間を持つたわけであるが、この室内水泳場のマッサージ室の完備した設備と、数人のマッサージ師が常時居て此方の種々の注文を聞きながら施術して呉れる有様を覗くと矢張り日本スポーツ界がこの方面について甚だ立遅れて居り、ヨーロッパの選手達が眞に恵まれた環境にある事をうらやまざるを得なかつた。

水泳技術の研究 競技に対する猛練習もさる事ながら、この方面の専門家が此の際大いに奮起して選手的身軀に対する積極的援助、練習に対する科学的アドバイスを与える様にしなければ如何にも日本の選手が可哀想だと思ふ。とは云つても日本の現状ではなかなか急速に此の方面の進歩を期し難い事情もあると思はれるので、今度は逆に選手の方にも

是非もう一辺考え直して見て努力して戴き度い事を述べて見る。それは①「ウォーム・アップ」と「トレーニング」の違いを判然りと自覚して実施する事②所謂「練習前のウォーム・アップ」と「競技前の自己の身軀を整調するためのウォーム・アップ」とを判然りと区別して実施する事。この最低2つの事である。

先づ①「ウォーミング・アップ」と「トレーニング」の違いであるが一言で云えばウォーム・アップは「軽いもの」でトレーニングは比較的「重い烈しいもの」である。ウォーム・アップには無理は禁物であるが、トレーニングには時としては相当苦しい無理なもの迄やる様にしなければ進歩はない場合がある。この極めて簡単な事が案外一部の選手に理解されて居なくて「ウォーム・アップ」なのか「トレーニング」なのか自分で分らないで唯何となく体操をやっている様な場合が実際屢々ある。そして準備体操に対する文句や疑問もこんな処から出て来る場合が可成り多いのである。次に②「練習前のウォーム・アップ」と「競技前のウォーム・アップ」の異いであるが、前者は之から練習に入る前に唯身軀を温めるだけであり、練習そのものも原則としては弱いものから段々に強くして行くものであるから所謂簡単な水泳準備体操程度をやつて水に飛び込めば充分だと思ふ。処が後者になるとそう簡単には決められ

ない。競技なのだから、水に飛び込んだ瞬間から「フル」に闘わねばならないのである従つて此の場合のウォーミング・アップは文字通り突撃準備なのである。そして此こそは選手各人によつて全く千差万別であるべき筈で控室なりで相当烈しく身軀を動かした上に、然も尙強く稍疲労を感じる位迄泳いで置いた方がレースに対してすぐ「フルコンディション」を出す選手もあるだろうし、反対に競技前は徹頭徹尾休養した方が、いざと云う時に全力を出せる選手もあるだろう。だからどうしても之の「競技前のウォーミング・アップ」だけは自分が数多のレースの経験から考えて、編み出して造らなければならないと思う。そしてその運動のやり方も組み方等について常にトレーナーやコーチと相談して万全を期し、更に又自分の身体や調子に変化のあつた場合にはその都度ウォーミング・アップを考え直して見て必要ならば運動の組み方等も変えて行く様にしなければいけないと思う。

前にも触れた様に日本の現状では急速に職業コーチ、職業トレーナーが得られる様にはならない幾多の事情があるのだから、取敢えず仮令、苦しくても困難でも一番先に、選手が自覚してもう一層努力して外国選手に比べて不利な此の点の克服に進んで呉れる事が何よりも望ましいと思ふ。

プ　　ー　　ル　　公　　認

昭和27年度（本誌93号47頁発表以後）日本水泳連盟で公認したプールは次の通りである。

公認番號	名　　稱	公稱距離	所　在　地	加　盟　團　体
32号	大宮公園縣營プール	50米	埼玉縣大宮市高鼻町4丁目	埼玉縣水泳連盟
33号	山口縣綜合運動場プール	50米	山口縣吉敷郡大内村川向	山口縣水泳連盟
34号	臼杵高等学校プール	50米	大分縣臼杵市海添臼杵高校内	大分縣水泳連盟
35号	郡山高等学校プール	50米	奈良縣郡山町南郡山 558	奈良縣水泳連盟
5号	高知市營プール (改築再公認)	50米	高知市大原町 166	高知縣水泳連盟
120号	宇治市立小倉小学校プール	25米	京都府宇治市小倉町西畑 13	京都水泳協会
121号	目白プール	25米	東京都文京区高田豊川町 33	東京都水泳協会
122号	行田市市營プール	25米	埼玉縣行田市大字忍	埼玉縣水泳連盟
123号	常盤中学校プール	25米	宇部市沖宇部 2452	山口縣水泳連盟

オリンピック水泳に対する御賛助金

敗戦國の暗い運命を克服して、新生日本の力強い第1歩を國際社会に踏み出すことは、日本国民の1人1人に課せられた義務であることを痛感し、我々は先づ自分達の手の届く範圍で混乱と低迷の裡から起ち上る努力を傾到致しました。それが逸早く日本水泳連盟を再組織する動機となり、他の競技團體に魁けて國際連盟復歸となつて結實したのは御承知の通りであります。

16年振りに参加を許されたヘルシンキ・オリンピックを前にして、欣喜雀躍、凡ゆる精進を續けたのは當然であります。これには我々の最も苦手とする経済的裏付けを要したのは今更贅言を要しないところであります。我々の微力では却々局面の打開が

困難であつたところから、遂に各種團體、企業体、個人の方々から喜捨を仰がざるを得なかつた次第であります。その結果は予期以上の御支援となつて現われ、遂に目的額を上廻る程の賛助額に達しました。

今回のオリンピックの成績は、大方の御期待に反し、衷心忤怩たらざるを得ませんが、選手團一同が最善を盡した点を御諒承賜わり、今後一層物心両面の御高援を御願ひ申し上げます。

茲に各方面の御同情に対し、重ねて深甚なる謝意を表して御挨拶と致します。

日本水泳連盟会長 田畑政治
オリンピック水泳チーム総監督 藤田明

飛田殿	10,000.00	日清紡績株式会社殿	50,000.00
安田火災海上保険株式会社殿	50,000.00	朝日新聞社殿	15,000.00
八幡製鉄株式会社殿	250,000.00	日本パルプ工業株式会社殿	50,000.00
太栄館殿	20,000.00	合同證券株式会社殿	100,000.00
代議員会募金	1,070.00	第百生命保険株式会社殿	30,000.00
勤労者大会一般募金	9,866.00	千代田火災海上保険株式会社殿	50,000.00
四日市倉庫株式会社殿	10,000.00	千住倉庫株式会社殿	20,000.00
川西倉庫株式会社殿	10,000.00	苫小牧製紙株式会社殿	50,000.00
木村栄一殿他一名	10,000.00	十條製紙株式会社殿	50,000.00
野村駿吉殿	50,000.00	神崎製紙株式会社殿	50,000.00
三島製紙株式会社殿	100,000.00	本州製紙株式会社殿	50,000.00
関東紙業株式会社殿	100,000.00	日本化成工業株式会社殿	50,000.00
谷澤カバン店殿	10,000.00	山陽パルプ株式会社殿	100,000.00
阿部木材殿	10,000.00	日本石油運送株式会社殿	30,000.00
国策パルプ株式会社殿	200,000.00	長野電鉄株式会社殿	100,000.00
日本鋼管株式会社殿	150,000.00	日東商船株式会社殿	50,000.00
九州紙袋株式会社殿	100,000.00	古河鋳業株式会社殿	50,000.00
恒吉辰男殿	10,000.00	大映株式会社殿	250,000.00
古河電氣工業株式会社殿	50,000.00	東京ガス株式会社殿	50,000.00
日本石油株式会社殿	50,000.00	明治生命保険相互会社殿	50,000.00
リオプレート日本人会殿	44,888.69	横濱ゴム製造株式会社殿	150,000.00
有樂商事株式会社殿	10,000.00	大昭和製紙株式会社殿	100,000.00
太平鋳業株式会社殿	50,000.00	中山正善殿	300,000.00
大同毛織株式会社殿	250,000.00	富士製鉄株式会社殿	200,000.00
日本油槽船株式会社殿	50,000.00	山一證券株式会社殿	50,000.00
興亜石油株式会社殿	50,000.00	太陽生命保険相互会社殿	20,000.00
日本精工株式会社殿	50,000.00	大阪住友海上火災保険株式会社殿	30,000.00

日本フェルト株式会社殿	10,000.00	群馬縣水泳連盟殿	20,000.00
栃本縣殿	100,000.00	山梨縣水泳連盟殿	30,000.00
昭和電工株式会社殿	100,000.00	福岡縣水泳連盟殿	70,000.00
第一銀行虎の門支店殿	10,000.00	廣島市、吳市、廣島縣水連殿	100,000.00
日本化藥株式会社殿	10,000.00	豊橋水泳協會殿	20,000.00
東京トヨタ自動車株式会社殿	30,000.00	鹿兒島縣水泳連盟殿	30,000.00
富士電機株式会社殿	10,000.00	大日本印刷株式会社殿	20,000.00
富士銀行株式会社殿	10,000.00	奈良縣殿	100,000.00
神奈川縣水泳連盟殿	15,000.00	大洋漁業株式会社殿	50,000.00
明正商事株式会社殿	50,000.00	東北パルプ株式会社殿	50,000.00
株式会社日本電報通信社殿	50,000.00	ベツクマン殿	40,000.00
日本セメント株式会社殿	50,000.00	岩手縣水泳協會殿	3,000.00
味の素株式会社殿	30,000.00	西日本鐵道株式会社殿	100,000.00
岐阜縣水泳連盟殿	10,000.00	上野健殿	50,000.00
千葉縣水泳連盟殿	50,000.00	日本化学纖維協會殿	120,000.00
埼玉銀行川口支店殿	10,000.00	陽和不動産株式会社殿	5,000.00
稻川次郎殿	10,000.00	石黒俊俊殿	2,000.00
内田幾助殿	10,000.00	山形縣水泳連盟殿	5,000.00
駒馬光殿	10,000.00	香川縣水泳協會殿	20,000.00
永瀬喜一殿	10,000.00	石渡眞殿	10,000.00
小林一郎殿	10,000.00	三菱海運株式会社殿	30,000.00
矢澤長太郎殿	10,000.00	和歌山縣水泳連盟殿	10,000.00
株式会社恒陽社印刷所殿	10,000.00	日本輕金属株式会社殿	20,000.00
新潟縣水泳協會堀井榮藏殿	3,000.00	計	6,328,824.69
安田健康保險組合殿	50,000.00		
勝村建設株式会社殿	50,000.00		
横濱ゴム製造株式会社殿	50,000.00		
日本鉄鋼興業株式会社殿	50,000.00		
吳羽紡績株式会社殿	50,000.00		
鐘ヶ淵紡績株式会社殿	50,000.00		
大和銀行株式会社殿	80,000.00		
東洋紡績株式会社殿	50,000.00		
大阪鋼材株式会社殿	50,000.00		
三和銀行株式会社殿	100,000.00		
大阪銀行株式会社殿	100,000.00		
日本紡績株式会社殿	50,000.00		
松本寛殿	10,000.00		
熊本水泳協會殿	5,000.00		
日本ビオン株式会社殿	20,000.00		
濱名灣游泳協會殿	100,000.00		
伊豆駿河灣游泳協會殿	20,000.00		
伊東市長殿	30,000.00		
野尻湖游泳協會殿	40,000.00		
愛知縣水泳連盟殿	100,000.00		

昭和27年度最優秀選手は鈴木弘君

読売新聞社制定の「日本スポーツ賞」に水泳最優秀選手として日本水泳連盟では鈴木弘君を推薦した。

推薦理由は下記の通である。尙 26年度推薦した古橋寅之進君は日本最高優秀選手として「日本スポーツ賞」「胸像」を授与された。

推薦理由

1. 200米競泳に於て古橋の記録を破つて長水路世界最高記録2分6秒8を作つた。
2. オリンピック800米リレー決勝に於て第1泳者としてアメリカ・チーム、ムーア選手を3米も引離し非公式乍ら2分6秒8でこの種目に於ける世界最高の實力ある事を示した。
3. オリンピック100米由自形に於て1位と同記録57秒4で2位となり更に日本學生大会に3回57秒4で泳ぎ世界最高水準にあるを示した。
4. 資性温順なるも一度びスタート台に立てば何人にも劣らぬ闘志を示し運動選手として模範とするに足る。



ヘルシンキ便り

お見送り有難うございました。沿道の熱誠といふ、羽田空港空前という見送りといふ、感激の外はありません。凡ゆる要素、凡ゆる力を結集して最善を盡してくることを念願するのみです。昨夜は四時間程で沖繩に到着。夜半にも關らず、かつての我々の同胞が多数出迎え、且つ見送つてくれました。次代を荷負う若い高校生や中学生の叫ぶバンザイの聲に、何とも云えぬ氣持をそゝられました。(感激オンチにならぬ様自戒して居りますが、全く胸つまる思いでした) ベルリン・オリンピックに参加した兒島の英靈を慰めるべく、花束を供えて貰うよう托しました。併せて幾10万の無名有名の戰士の靈の前にも……

飛行機の旅は全く快的です。昨夜はみんなよく眠つた様です。さき程朝食をすまして目下歓談したり、写真を楽しんだりして居ります。朝食の頃、丁度海南島の南を飛んで居りましたが、1時間も立たぬ内に仏領印度支那に入り、今丁度ベトナムの上空を飛んで居ります。6月30日

×× ×× ××

御無沙汰しました。ストックホルムに着いて丁度1週間になります。やつと総てが順調の波に乗つて来つゝあります。オリンピック参加——それも単なる参加でなしに、ロサンゼルス、ベルリンの大会で、我々の先輩が打ち樹てた輝かしい歴史と伝統を守つての、責任ある参加を目指して粒々辛苦を重ねて来た総決算が、2旬の後に迫つて来たことを思うと、今更の様に大任を無事果したい思いで一杯です。それには何にも増して選手達の融合と、休養と練習の調和の2つがクローズ・アツプして参ります。チーム・ワークは何一つ言うこともないし、休養の主体となる、このホテルのクステネベリイも、練習場であるスポーツ・パラセツトも完全に近い状態なので、大いに意を強くして居ります。

到着後2日間は完全に休みました。一人一人の場合、多少の差異はありませうが、概して成功だつたと思ひます。

4日10時—12時初練習。今日で午前、午後2時間づゝの練習を8回続けましたので選手は大部分疲れを見せて居ります。併し明日・明後日の2日間で、少くとも100米・400米・200米平泳等のエントリーを決める必要に迫られて居りますので、一定の練習を継続する予定です。エントリーを決める予選とか、正式のタイム・デーは設けない方針ですが、毎日20.30—21.30間、開く監督会議で選手の状況を検討して居りますから、決して間違つた決定はしないで済むと確信して居ります。

一番辛いのは200米平泳で、何れにせよ1人落さなければならぬので、身を切られる思ひです。

此の通信が着く頃には勿論エントリー・メンバーが発表されて、皆様の話題になることとせう。

全米予選の結果が判明しましたが、大体我々の予想したメンバーであり、我々の予想した成績です。チーム・バランスの取れた優秀なチームですが、これなら何とか戦えると思ひます。7月8日

×× ×× ××

今日で予定通りストックホルムの練習を終えました。當初方針であつた練習と休養の調和は成功裡に終つたと確信して居ます。各人に依つて多少の差異はありますが、ほゞ上昇線を辿りつゝあります。

橋爪は一寸早目に調子が出過ぎた傾向ですが、これから練習量を制約せざるを得ないので、この儘大会に持つて行ける見透して居ます。古橋はもう一息と言つた所。こゝで古橋さえ旧調に復せば、待望のオリンピック男子競泳の優勝も夢ではないと存じます。

本年は當初から、万事極めて順調に進行して居るので、あとはヘルシンキに乗り込んでから、如何に精神的に、又肉体的に平常の状態を現出するかに、全てが懸つて居る様に存じられます。ロサンゼルスの際の様に平静な生活と不動の自信を把握したいと念願して居ります。

既に安部マネージャーが10日に先発し、エントリー(新聞発表があつたと思われるので重複を避けます)の申込みを終ると共に、宿舍割其他の設営に余念がないので、私共は明日の午後、たゞ現地に飛ぶ丈けのことになり、氣は樂です。

最後にこゝへ来てからの各選手の記録を御報告致します。

男子

100米

後藤 57.4 濱口 58.4 鈴木 58.4

200米

谷川 2:09.6 田中(寧) 2 11.8 西 2 13.2

×× ×× ××

浅野 2:14.6

300 米

古橋 3:24.2

400 米

田中(純) 4:46.4 田中(寧) 4:48.6

1500 米

橋爪 18:24.8 北村 19:06.8 青木 19:10.0

100 米 背

倉橋 1:10.0 西野 1:10.8

200 米 平

長澤 2:40.2 平山 2:40.4 梶川 2:40.8

×× ×× ××

田中 2:43.0

女子は一体に調子がまだ低いので報告はさけますが、平泳の2人は好調に向いつゝあります。何とか入賞をさせたいと希んで居ます。

何れ又ゆつくり御便り致します。皆様御元気で。

7 月 16 日夜 ス市 栗捨村にて

昨夕の100米決勝には鈴木が実によく泳ぎました。後半の物凄い力泳は皆様にお見せしたい様でした。併し結果はベルリンの時と全く同様となり、あと一尺あればスコールズを抜き得たでしょう。ベルリンではスタートで損をし、今回はターニングで不必要な差をつけられた形です。申訳なく思つて居ます。後藤もよくやりました。弱冠にして世界の檜舞台であれ程の力泳を見せたのですから、言うことはありません。明日が山です。 7 月 29 日

(電報)

選手一同 敢闘せるも戦果上らず 申訳なし 絶大なる御声援を謝す 水泳チーム

×× ×× ××

×× ×× ××

愈々待望のオリンピック競技が始まりました。19日の開会式はなかなか壮麗なものでした。特に最後の聖火走者に選ばれた不世出の競技人パヴォ・ヌルミが入場して来た時の感激は忘れ得ぬものがあります。水上競技は25日から始まりますがアメリカ以外にもなかなか好調な者がおり警戒を要します。特にボアトウ、ラルソン、クラインなど。遮二無二頑張ります。御元気で。 7 月 20 日

色々オリンピック競技の戦跡に就て、申し述べたいと存じますが、口を開けば「言いわけ」になるので、歸国後際を交える機会迄黙つて居たいと存じます。我々が出発の時案じた様に某紙の座談会や、毎日への投書等に我々を「日本軍閥」の如く表現されて居る由、誠に心外です。選手一同最後迄ベストを盡してくれました。役員に就ても同様です。

一同頗る元気で、我々A班はこれから英京ロンドンに向います。

明日明後日は勤労者大会、続いて東西インターハイや日本インターハイで御多忙のことと存じますが、宜しく願ひ上げます。(コペンハーゲン飛行場にて) 8 月 5 日

×× ×× ××

×× ×× ××

昨日から競技開始、100 予選で、とんでもない再レースをやることになり、我々が憂慮した FINA と散々渡り合った最悪の場合になつたわけです。FINA の連中もこれでタイム・レース制度の欠陥がやつとわかつたでせう。併しこちらに来てからは FINA とは、万事友好的に取り運んで居ります。24日の夜は、会長・副会長・名譽主事・理事其他今後接觸を保つ必要のある人達を招待して交歓会をやり何れも好感を持つてくれた様でした。

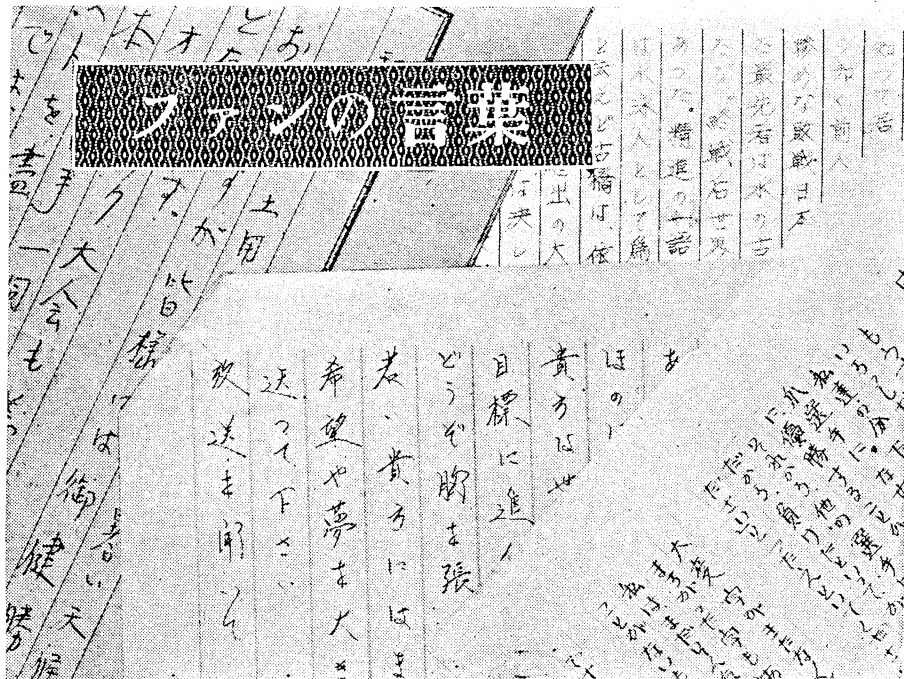
以上は全部藤田總監督よりのお便りでした。

昨日は皆多少上り気味(特に若い後藤など)でしたが今日は落つたレースがやれると確信して居ます。明日は愈々問題の800リレーが始まり、これは死力をつくして確保するつもりです。そちらでの見越し通り今回の勝利は一に古橋の成否にかかつて居ます。800リレーと400の2種目に思ふ様な結果が出れば、1500は充分確保の見越しがあるので、皆さんに喜んで戴けると存じます。では又。

(激励電報有難うございました) 7 月 27 日



カット寫眞はヘルシンキ記念スタンプ



代古橋のコーチを受けた1人だ。我々は知っている。古橋が且て水槽に入る度に、阿修羅の如く前人の記録を更新して行つたことを。あの惨めな敗戦日本の中に希望の燭光を投げかけた最先者は水の古橋であり、あの想い出も新たな“終戦後世界最高記録4分38秒8”であつた。精進の1語に盡きたあれからの古橋、彼は水泳人となすべきをなした。敗れたりとはいへど古橋は依然世界の古橋であり、日本水泳界不世出の大選手である。

我々は古橋の功績を忘れては決してならない。超人フルハシを。金メダルを手に表彰台上黙々とマルセイエーズを聞くボワトウ。せめて王者古橋の最

熱心な水泳ファンの皆様よりオリンピックに関する御激励や御同情さして御叱り等、御投書がありましたので、これを一纏めにして全部掲載させていただきます。何れも原文のまゝです。

御投書下さいました方に厚く御禮申し上げます。

オリンピック大会も待望の水上競技が開始されました。中でも宿願を期する400米自由形に出場する水上日本のホープ主将古橋広之進選手こそ、是が非でも断然ムーア、マツクレーン、紺野を破つて断然大日章旗をメイン・マスト高く掲げさせたいと、神かけて切にお祈りを致しております。

“水上日本に古橋健在なり”と全世界にその名を轟かせ日本の水上競技を全盛時代に回復させ発展させたその功績に報ゆるためにも、他の種目を犠牲にさせても400自由形に古橋を完全に優勝させ、そしてワールド・チャンピオンとして金メダルを獲得させてやりたいと、現在未だ本調子でない彼、古橋選手に遠い美濃の山奥より毎日お願いをお祈りしています。

古橋こそスポーツ日本の象徴である。どうか古橋選手が強敵米国のムーア、紺野、マツクレーンを破つて輝く金メダルを得、「君が代」の吹奏と共に大日章旗をヘルシンキの空高く上げることの出来ませう様激励を打電して下さい。

悪くすると4位になる様なことも考えられます。心配でたまりません。どうか古橋さんだけでもいいから偉大なる超人に優勝させたいのです。

岐阜 庄司一清 (25才)

× × × ×

たつた今放送を聞き終つた。古橋は敗れた。しかし、此の1度のレースに敗れた事など問題ではない。私も高校時

後の爲に、ボワトウの頬を流れる涙を君ヶ代を聞く古橋のそれに替えてやりたかつた。アナウンサーの云う通り力の限り戦つた古橋を当事者が双手を拡げて温く迎えて呉れることは我々他事者が敢えてお願いする必要もなからう。国民の誰が古橋を責める気持など抱くものか。日本の水泳陣は陸上陣程ではないが、井の中の蛙式に思い上つた所が多分にあつた。しかしそんな事は最早論題ではない。敵は強いのだ。4分30秒の関門を破る時代が遂に来た。どうか水連のコーチ団は来るべきメルボルン或は東京大会をこのロスアンゼルスとし、ベルリンとする様、そして其の時こそはこの因縁の種目に堂々と制勝する様な立派な選手を育てて頂きたい。水泳ファンの熱烈な希望である。

(東京都文京区一労働者)

× × × ×

私は水泳の大ファンです。

私は陸上競技に期待を持ちません。唯々水上日本の各選手と優秀な水泳指導者にのみ期待した水泳に気任のやうなファンです。

今朝午前1時20分よりの実況800米リレーに各選手の力泳も及ばず2位になつたのが如何にも残念です。

優勝の実力を持ち乍らなせ敗れたか、私は1晩中興奮して眠れませんでした。コーチは何を標準にしてリレーメンバーを選んだか、1ヶ月前から大々的に水泳日本の優勝を宣伝して置き乍ら、何とゆうことだ、この宣伝を取消し、大いに反省して国民の眞剣なる気持に答えて下さい。以後の競技の健闘を祈る。

(Hファンより)

× × × ×

スポーツ界の英雄古橋様ずいぶんおつかれでせう。御苦勞様。私達日本の国民はなんで貴方を責める事がありませ

う。終戦後のすさみきつた世の中にはほのぼのとした灯をと
もして下さった貴方、貴方は世界の古橋です。世界の人々
が皆貴方を目指して進んだのですもの。どうぞ胸を張つてほ
こりをもつて下さい。若い貴方にはまだまだ長い人生です
希望や夢を大きく持つて強く明るい一生を送つて下さい。

私はあの夜の放送を聞いて泣きました。まけたのが悲し
いではありません。貴方のお気持ちを思つて泣きました。
人の世にはすさみきつた青空ばかりではありません。黒雲も
ひろがり、嵐もあります。御苦勞様 古橋さん。世界の
英雄 古橋さん。字が下手で幾度もためらいましたがどう
しても気がすまらず書きました。もしよんでいただけたら幸
です。御身御大切に。 (横濱市 藤澤)

× × × ×

拜呈 急がしい労働者ですから鉛筆で失禮します。
ヘルシンキの古橋さんの惨敗は御当人の責任だと私たち
ファンは思いません。それは世界中の記録に眼を見
開かない監督者の責任であり眼先だけで知る私達日本人
の失敗である訳です。尤も総べての面でこの事が当てはまる
のは遺憾です。 別府 岡本とし子

× × × ×

前略 清川ヘッド・コーチの悲しみに満みたお詫びの放
送には同情させられました。毎日新聞の4日付ではオリン
ピック大会の座談会で大島鎌吉記者は「日本チームに秀れ
たコーチなし」と餘りにも独断に落いつた無責任な言を吐
いており、同日付の投書欄では五輪役員を非難した読者の
聲を記載させています。ワイワイ騒ぎ新聞自身がヤレ 優勝
確実、ナンダカンダとオマテあげて期待の日の丸1位が出
ないとヤレ「コーチが無能、無策」と書いたり非難する日
本人の島國根性丸出しの汚い処を遠慮なく出しています。

コーチ陣の方だつて全能の神でないもの非運に至つただ
けのこと。「御苦勞さん」の一言位先づ申上げて然るべき
ですね。御互にもつとフェアでありたいと思います。も
つともつと大きな気持でコーチの方々を始め古橋さんや橋
爪さんの歸國を心よく温かい同胞愛で迎えてやりたいと思
います。

朝日新聞紙上の400米自由形競泳のある前日から後日に
至る入江特派員の報道、そして3日付の同紙上の古橋「將
の手記を読んで私は勿論のこと、兄や妹も深い同情を寄せ
古橋さんに「ベストを盡くしてレースの最後まで努力され
て御苦勞さん、有難う、決して悲しさに打ち負けてはなり
ません」と思はず叫ばずにはいられませんでした。古橋さん
こそ蔭の優勝者なのです。負ける者ありてこそ勝者があ
り、記録の向上があるのですから。

戦後敗戦の悲慘に打ち碎かれた占領下の全日本人に祖國
創造の希望の明るい光を投じたのは水の王者古橋であり、

彼こそオリンピックで優勝しなかつたとはいえ私達日本人
は何等かの機会に彼の功績を讃えるために何かをしてやる
べきだと考えます。

生活の苦勞と社会人としての労働に従う彼古橋を次のメ
ルボルン大会に出場出来る様応援すべきだと思います。

次のメルボルン大会には泳ぐことが出来ないでせうか？
水泳は無理ですか？ 充分研究して再起させてやつて下さ
い。後略 庄司一清

× × × ×

はじめておたよりいたします。

もうすぐ古橋選手以下多数の水泳の選手が日本へ歸えつ
ていらつしやいますが、どうぞ選手をお迎えすることの
出来ないファンのために、私達分だけよく戦つてくれたと
おつしやつてください。(とくに古橋選手、橋爪選手に。
なぜならほんとうに私達が涙が出るほどよく戦つて下さ
つたのに優勝することが出来なかつたのですから)

それから他の選手にも「オリンピックは勝つために行く
のではなく参加しに行くのだから負けたといつてがつかり
なさらなくて今度のオリンピックの時にがんばつてくださ
い」とつたえといってください。文も字も下手ですけどごめ
んなさい。 (横濱市 春日多美子)

× × × ×

今度のオリンピックでの一方ならぬ御苦勞は國民の1人
として感謝致します。水上日本の輝かしい伝統は昔の夢で
した。私達素人にはわからないけど、新聞の報導によると
古橋やマックレーンの時代は過ぎているにもかかわらず、
強くもないのにやたらに「水上日本」、「優勝確実」などと
発表し、又御会には派バツがあつて出身校等を気にしてい
るさうですが日本中から若人をさがして下さい。ラジオの
予想をやる〇大のカントクさん見たいに自分の学校の選手
が必ず勝つにきまつているやうなゴーマンな態度は改めて
下さい。役員方は深く反省して水泳日本の立直しに一大奮
起を御願ひします。 (都内 一水泳ファン)

× × × ×

オリンピック水泳は実に気の毒な結果となりました。活
躍された選手諸君は全力を盡されましたが国内の中学校、
対外競技の禁止が敗因であります。健康管理を最もよくし
て近い将来に中学校の全国大会を開催されますやう御盡力
下さい、これが貴方の申されるメルボルンに備える第1歩
です(熊本縣では対外試合も殆ど無理なく実施されていま
す全国的な問題であります)。

(中学校理科教員) 熊本 渡邊 其 業



第7回国体夏季大會概観

藤 田 明

過去6回の試練を経て来た第7回国民体育大会夏季大会は、全国的大競技会としての様相を具えて、水泳関係者の熱心な視聴を集める迄に成長したが、本年は前期の躍進に比較して、いさゝか低調の感がないでも無かつた。これは質的な中心を形成するオリンピック代表選手が疲労から抜け切れなかつたことと、国内の主力選手層が盛夏のシーズンに盛り上げる力量を涵養する一つのピークを見送つたことに大きな原因がある様に思う。毎年このピークの役割を日本選手権大会が勤めて来たが、本年は選手権大会を6月下旬に挙行せざるを得なかつた事情と照し考慮すれば、オリンピック開催年次の受けねばならぬ当然の歸結とも言えよう。もう一つは概して天候に恵まれなかつた点を挙げねばなるまい。開会式前から小雨を呼んだこの大会は、会期中雨の響応をうけることがしばしばで、参加者の氣勢を殺いだ点が多かつた。

大会の結果、本年も福岡が危げない戦い振りで5連覇の偉業を達成した。スキーやスケートの様に地の利で競技分布が制約される競技なら兎も角、広く国内に普及した水泳に於て5回立て続けに優勝することは至難の業に近い。之を果した同縣水泳関係者の不斷の努力に対し、特段の敬意を払わずには居られない。得点の躍進で殊の外印象に深かつたのは、東京、和歌山、静岡の2位争いであつたが、奇しくも夫々1点の差で上記の順位となつた。和歌山が女子に於て奈良の堅陣を脅かした餘勢を駆つて総合第3位にのし上つた飛躍は、誠に目覚ましいと言うの外はない。愛知の青年団、鳥取の教員初優勝も刮目に価する。殊に鳥取が前年迄殆んど顧みられない程下位に甘んじて居たのを、一挙に教員制覇に漕ぎつけた躍進は、我々に驚異の眼を開かせるに充分であつた。水泳の分野から見れば、最も後進縣の一つであつたのを、こゝ迄持つて来た関係者の精進は他の範となるものと思う。全く本大会異数の出色であつた。

記録的には、ほぼ横這いを示したと見る可きであろう。100米平泳に田中(学生)の1分09秒8、女子300米メドレーリレーに奈良チーム(片岡・坂本・新子)の4分05秒8の2個の日本記録が生れた外、高度の記録として100米後藤(福岡)の58秒4、鈴木(学生)の58秒8、谷(学生)の59秒2、又高校級として古賀(福岡)の59秒4や、800米山下(高校)の10分04秒4等、200米平泳田中(学生)の2分37秒6、古川の2分39秒8は注目に価する好記録と言えよう。又女子競技に於ては200米平泳に青木(和歌山)が3分05秒4、坂本(奈良)が3分

06秒8、400米に田村(和歌山)が5分42秒0と夫々大会新記録を残して、オリンピック選手の貫祿を示したのは偉い。併し乍ら概括的に見れば、日本水泳界の進歩は此の程度に留まることを許さないと見る可きで大方の奮起を促したい。

大会の運営はほぼ円滑であつたと言えよう。開会式は過去の何の大会よりも立派に運行された。閉会式も成績発表に淀みが無ければ精彩を副えたと思われたが、この点いさゝか画竜点睛を欠いた感が深い。競技の進行は水際立つた運営とは言い難かつたが、これはプログラムの競技時間があり餘る位餘裕を取りすぎたこと、審判長の統括力にいさゝか欠ける点があつたこと、場内アナウンスにままたま不手際があつたこと等に由因するものと見たい。一寸した不手際で全般の雰囲気崩れることがあるので、敢て苦言を呈した次第、後車の戒めとなれば望外の喜びである。

施設は地元の熱意で更に完備したものを提供されたことは慶賀に耐えない。特に常時水温23度を確保するため凡ゆる方策を採り、充分成果をあげた熱意は高く評価されてよい。

宿舎や輸送の面もほぼ満足に近かつた。宿舎の点では前々年の勤労者大会の際不評判だつたので、特に協力をお願いしたが、今回は前々悪声をカバーして餘りがあつた様に思う。

最後に競技内容を検討して見たい。当初社会人对学生競技として發足し、中途から社会人・学生・高校生競技に变革した3部対抗は、社会人勢力の後退に依つて、今では殆んど対抗競技の持ち味を喪つた。併し国体の質的分野を維持するためには、学生競技者の参加は不可欠なので、学生対高校生の競技として温存するか、学生を郷土に歸しての郷土出身者を含む都道府縣対抗にするかの2を出まい。此の際水球と飛込も招待競技を廢止して、小規模乍ら都道府縣対抗競技に切り替え国体本然の姿に歸することが望ましく、又これが夫々の競技自体を育成強化する捷徑であることを確信して止まない。

x	x		x	x		x	x
		x	x		x	x	
		x	x		x	x	

第20回日本高校選手権大会総評

吉 田 嶺 吉

男子東西優勝校対抗

庄司、粕谷を自由形4種目に思い切つて使つた安房一高が、石井、佐藤との4名のみで得た得点によつて兩継泳を失いながら2点の差で高知商を制した。高知は粒を揃えていたが当対抗戦のルールをフルに活用した安房一高のベンチの作戦が実を結んだものといえよう。継泳を含めて6種目を泳ぎながら400で4分50秒を切つた庄司の健闘、それを0秒2の差にまで追い詰めた野田(高知商)の力泳はともに賞されてよい。前年も指摘された選手の酷使は個人種目の出場制限がないためだが、昔からのルールとはいへこの対抗戦のみこういうルールを採用するのはどういふものであるか?

男子東西選抜対抗

結果は同点で継泳の得点勝という非常な大接戦にはなつたが、西軍は徹頭徹尾運がなかつたといえよう。まず府縣予選で1分10秒を切つた背泳のNo.1長谷(副島工)が西部高校大会終了直後盲腸炎で倒れ長谷を起用できなかつたレース、劈頭の200米継泳は同タイム2着に落ちるなど最初よりついていなかつた。それでも個人種目のみの累計では6点リードして最後の800米継泳に覇権をかけるというところまで漕ぎつけた。800米継泳は西軍不利を予想されながら第3泳者久保田が2:15.0のラップで0秒4の差にまで追い詰め、アンカー古賀は700で一度併行したが、山下もさるもの最後の50で古賀を抑えて見事昨年の雪辱を成し就げた。

記録的に特筆すべきものはまず200米平泳における古川で、デーヴィスの長水路世界最高記録に劣ること0秒2、6月のオリンピック最終予選での2分43秒からは驚界的な進歩をしたものである。來年デーヴィスとの対戦に期待しよう。

次いで長距離の山下勝次は1500では青木の高校最高記録には及ばなかつたが、800での正式計時10:02.4と400とは高校最高記録を物にし、次の時代を

背負うにふさわしい活躍振りを示した。短距離では100で確実に1分を切れる様になつた古賀、200で古賀に詰め寄り2:14.0をマークした高校1年生の細間、背泳では慧星の如く現われて1分10秒台を記録した尻浦等いづれも來年度には更に一段と飛躍して愜しい選手達である。

尚この対抗戦は1チーム18名で対戦するのだからエントリーを4名づつにして、6着まで採点すればレースが更に充実して面白くなるであろう。

女 子

坂口、坂本をオリンピックに送り出した五條が、その残留軍で見事他を引離して3連覇を成し就げたそれにひきかへ田村、青木のオリンピック選手が居れば2位に喰い込んだであろう伊都は4位に凋落した。それに反し中学からの新人を加えたト佐女子高校が擡頭して2位に、男子に刺戟されてか伝習館が成清の活躍と相俟つて3位を獲得した。

残留選手のうちでは自由形は宮崎が一番強く200米で2分43秒をマークし、兩継泳のアンカーとして1分16秒台で泳ぐなど活躍をしたが、やはりオリンピック選手の抜けたせい自由形のレースは何となく淋しかつた。平泳は2選手が抜けたとはいへ井豆、中田、中本の3選手が前畑、壺井両先輩しか切れなかつた3分15秒の関門を破つて熱戦を展開した。1番賑やかだつた決勝では3着に落ちたが多田の準決勝での記録は日本記録に次ぐもので、森前、定森、永瀬の擡頭とともに是非來年には1分20秒を切つてもらいたいものである。

× × × × × ×

水球は活潑な動きを見せた鴨沂が慶応を圧倒的に降して優勝し、飛込は東西同点引分けに終つた。

最後に種々の悪条件を克服して無事大会を運営した奈良水連諸氏の努力に感謝しよう。

昭和27年度定例



代議員会議事録

期日 7月20日

場所 東京明治記念館

出席者 加盟団体

北海道水泳連盟 根上 博 由月 開一
 岩手水泳協会 木村 憲
 宮城水泳協会 針生 三郎
 福島県水泳連盟 橘 登 斎藤重千代
 吉田 勝平
 茨城縣水泳連盟 森 元治郎 鈴木 充
 中山 利生 多治見祐孝
 坂井 茂樹
 群馬縣水泳連盟 池谷 君夫
 栃木縣水泳協会 萩原 光臣 田中 武男
 長谷川俊雄 吉田甲子夫
 金子 梅夫 小寺三七五
 埼玉縣水泳連盟 大野 元美 伊藤 三郎
 黒田 操
 千葉縣水泳連盟 川名 正義 石井辰五郎
 広崎格五郎 川名 浩
 羽山 孝二
 神奈川縣水泳連盟 白山源三郎 庄川 鉄治
 河野 善次 西田 三郎
 東京都水泳協会 松沢 一鶴 伊藤 謹平
 勝村 肇
 新潟縣水泳協会 奥村 健治
 野尻湖游泳協会 萩原 忠明 北村博三郎
 西澤 達雄
 松本水泳協会 小林 高志
 山梨水泳連盟 石澤 羊一 長澤 松男
 小倉 一浩 田口 政義
 伊豆駿河灣游泳協会 井原 一夫 太田 光雄
 静岡水泳協会 近藤伊佐男
 浜名灣游泳協会 牧野 敏一 竹林 隆司
 本多 光雄
 豊橋水泳協会 天野菊三郎 小倉 忠雄
 清川 誠一
 愛知縣水泳連盟 兒玉 清雄 志村 義久
 加藤 茂

石川縣水泳連盟 中田 周三
 福井縣水泳連盟 深谷 俊明
 三重水泳連盟 垂髮 猛雄 小出 靖彦
 京都水泳連盟 松本 治平
 大阪水泳協会 高畠 秋介 辻 富士夫
 奈良縣水泳連盟 重松 利生 神崎 保雄
 永田 萬藏
 和歌山縣水泳連盟 慈幸 嘉一 小山 幸雄
 村山 修一
 琵琶湖水泳協会 辻 花子 広岡徳次郎
 鳥取縣水泳連盟 三好 喬
 広島縣水泳連盟 石本 松人 木村 豊唯
 鎌田 壽夫 中塩 勇
 三木 二郎
 山口縣水泳連盟 兼重 英作
 香川縣水泳協会 三宅 簾 遊佐 正憲
 山本 尊壽
 愛媛縣水泳連盟 深谷 俊明
 高知縣水泳連盟 北村久壽雄 石田 忠彦
 福岡縣水泳連盟 高木 恒夫 井上 茂
 田口 実 金ヶ原俊子
 大分縣水泳連盟 安東昭次郎
 熊本縣水泳協会 飯田 壽平 吉田 利信
 宮崎縣水泳連盟 仁科 正
 鹿兒島縣水泳協会 二間瀬國郎 熊野 周次

水連本部

田畑 政治 藤田 明 原 秀夫
 西本 龍三 野村 憲夫 後藤 敬三
 斎藤武五郎 澤田 武治 中村 元一
 三上 節造 安部輝太郎 外山 高一
 奥野 良 菊田 保孝 松本 隆重
 上野徳太郎 勝村 保 高尾 龍実
 竹林地文雄 高橋 弘 川田 友之
 牧野 正藏 江橋慎四郎 内藤 徹
 時任 巖 西本 秀雄

關西支部

高石 勝男 松本 伝

学 生 部 会

小池 禮三	小林徳太郎	宮部 修
大石 勝	小野塚誠二	金田 千秋
丹羽 孝忠	橋本 礼次	伊勢 武夫
上田 正治		

委任状提出団体 島根縣水泳連盟

欠 席 団 体

青森縣水泳連盟	秋田縣水泳連盟
山形縣水泳連盟	岐阜縣水泳連盟
富山縣水泳協會	兵庫縣水泳連盟
岡山縣水泳連盟	徳島縣水泳連盟
長崎縣水上競技連盟	佐賀縣水泳協會

田畑水連会長挨拶

議 事

(一) 報告事項

1 オリンピック関係事項

- (イ) オリンピックデリゲーションの人員
團長(田畑水連会長)以下
各種目を通じて全員で102名
- (ロ) 水泳チーム派遣人員(藤田専務理事)
- (ハ) 派遣員(全上)
選手 26名 役員 7名 合計 33名
選手内訳 (競泳) (飛込)

男	17	(各種目3名宛)	1名
		及800米繼泳補欠5名	
女	7	100米及び400米繼泳5名	1名
		平泳2名	
- (ニ) 往復日数(藤田専務理事)
- (ホ) 練習日程(全上)
 - 6月22日 選手決定
 - 23日 9時 結団式、壯行会出席
 - 24日 午前 新聞インタビュー
午後 練習
 - 25日 午前 軽い練習
午後 早慶戦見学
 - 26日 午前 軽い練習
午後 三大学対抗見学
 - 27日 午前 査証関係手続
午後 明治神宮参拜
 - 28日 午前 査証関係手続
20.30出発 沖繩
 - 29日 バンコック経由カラチ着(一泊)
 - 30日 中垂経由アムステルダム着(半泊)

7月 1日 ストックホルム着

1日~16日 ストックホルムに於て練習
17日 ヘルシンキへ
19日 オリンピック開会式参列
25日 水球試合より水泳競技開始
26日 競泳開始

8月 3日 閉会式

4日 ヘルシンキ出発

以後諸外国転戦を経て8月29日帰國31日に東京都で報告会開催

(へ) 諸外国への転戦(藤田専務理事)

8月4日にヘルシンキを出発して以後デンマーク、英、佛、白耳義、西獨等を転戦後AB2班に分かれて出来る範囲の歐洲諸処を廻りローマで集結して再びカラチ、バンコックを経て帰還の予定である。スペイン、スウェーデン、ギリシヤ、メキシコ、香港等からもexhibitionの申込があるが目下旅程の関係で実現不可能である。

(ト) 歡送迎会(藤田専務理事)

6月23日 9時 選手団結団式
13時半 体協、オリンピック後援会、東京共催、壯行会
15時~17時半 各団体の壯行会
27日 14時 水連主催壯行会
国民体育大会を以て歡迎式とする

(チ) 募金報告(原会計理事)

天 理	30万
八幡製鉄、大同毛織、大映	各25万
富士製鉄	20万
横浜ゴム、日本鋼管	各15万
合同証券、山陽パルプ、長野電鉄、栃木縣、昭和電工、三和銀行、大阪銀行、奈良縣水連、浜名灣水泳協會	各10万

等により現在の所 合計 5,793,829円49銭
又關西側の集金 300,000円00銭
累計 6,093,829円49銭

(リ) 其 の 他

選手強化の件、既にオリンピック候補選手に対しては強化合宿12回(費用約7,000,000円)を行つた。

2 オリンピック最終予選詮衡委員の件

(田畑会長)

(イ) 選手団関係 田畑團長 藤田総監督
安部マネージャー 清川ヘッドコーチ

小池コーチ 遊佐コーチ 牧野コーチ
原飛込コーチ兼トレーナー

(ロ) 水泳連盟関係

田畑会長 藤田専務理事 原会計理事
高石関西支部長 根上競泳委員長

(ハ) 学生部会関係

西本部長 清川名譽主事 小池名譽会計

(ニ) 前ヘッドコーチ

松沢常務理事

3 F.I.N.A.総会議題の件 (藤田専務理事)

前回の定例代議員会に於てF.I.N.A.総会に於ける日本水連の提案を決定しこの内容を予てから国際水連に申し出て置いたがこの度リッター国際水連名譽主事から日本水連の提案は総てF.I.N.A.総会の議題として採用する旨連絡があつた。

尙念の爲提案議題を列挙すれば次の如くである
(機関誌“水泳”94,95合併号111~112頁)

(イ) 平泳種目の件

(ロ) 世界記録に関する件

1. 公認方法の件
2. 800米リレー及880ヤードリレー記録の件
3. 個人メドレーの件
4. リレー構成メンバーの件

(ハ) 監察員の任務

(ニ) ターニングの規定

(ホ) スターターの位置及び任務

4 東部高校、西部高校、日本高校、全国勤労者、皆泳大会、ジュニア・レクリエーション大会、国民体育大会に関する件 (各加盟団体及競技責任者より準備状況報告)

東部高校 (千葉水連) 準備殆ど完了

西部高校 (高知水連) 準備進行中で既設7コースプールを8コースに改造中。但し何れも飛込施設に欠けるため飛込競技は全国高校大会に於て一本で行う事に決定

日本高校 (奈良水連) 25年の日米対抗、26年の西部高校及び選手強化合宿等の多くの経験から既にその設備完全である

全国勤労者 (広島水連) 準備完了

国民体育大会 (栃木水連) 施設の改善に主力を

注ぎつゝある。即ち栃木縣、宇都宮市、栃木水連の3者が協力して何とかして水温保持出来る様に努力している。

皆泳大会 (松沢普及部長) 東部西部高校大会の日 (8月17日) に併せ行う。その方法としては各加盟団体に於て独自の方法により国民の皆泳大会を行う。

ジュニア・レクリエーション (藤田専務理事)

各加盟団体に於て行うも全国を統一したものとしては行わない。通信競技によつて表彰は水連本部に於て行う事は従前の如くである。

5 明治神宮プール管理運営の件 (田畑会長)

神宮競技施設の管理運営に関しては神宮宮司を委員長とし以下水連、陸連、野球協会、造園、競技施設、文部省、民間人等の代表によつて委員会を組織しその衝に当る。而して各競技場の運営に当つてはその競技場関係委員の小委員会に於て協議する事にした。但し水泳場は駐留軍の衛生基準に依る必要があるため本年は駐留軍に管理せしめ水連の行事は必要な約30日間を当方で専用することに協定した。

6 高体連の件 (藤田専務理事)

高体連との審議未完の爲協議事項として取扱い度い。

7 其の他

(イ) 水泳指導者検定試験要領 (松沢普及部長)

各加盟団体に於て指導者検定を盛大に行い水泳の普及に努める事を希望する。

(ロ) 女子部より指導者講習会その他の催しには積極的に参加する旨の申出あり。

(二) 協議事項

1 第9回国民夏季大会水泳会場の件

前回の代議員会の際申込を勧誘したのであるが重ねて申し述べると本年11月一杯迄に正式文書で申込を受付けるから希望団体は申し出て頂き度い。この会場に関しては次回の代議員会迄に予備審査を行い其の結果を報告し審議に資することに決定。

2 高体連の件

前回代議員会に於て熊本水連から高体連の取扱方に関して発言があつた。その後本部として高体連との連絡を努力中であるが十分に審議を盡して居ない。然し高体連側としてはインターハイに於ける水連側の主体性を認める事は確認した。併し乍ら本年度インターハイは先方希望の共催は時期尙早と思われるので、高体連の協賛を得ると云う形式を以て行ふ事に決定。

3 留守担当者の件

オリムピック選手団派遣に伴い会長以下専務理事、会計理事が留守となるので不在中の事務担当者を次の如く会長より指名之を諒承した。

会長 松沢、西本
 専務理事 根上（志村、小出補佐）
 会計理事 伊藤

4 其の他

(イ) 水泳着、日用品その他のものを数多の会社より寄附を受けた旨報告あり。

(ロ) 選手の健康処理に就ては万全の措置を講ずるため、水連主催の試合に出場の際には必ず責任ある健康診断書を要する様にしたい。

以上協議事項に関しては満場異議なく何れも承認以下各地水連より報告及質疑回答あり。田畑水連会長の閉会挨拶終了後閉会

- 14日 候補選手合同練習会終る
- 15日 合宿練習会始る
野沢温泉プール
- 24日 合宿練習会終る
- 28日 準備委員会
- 5月8日 //
- 12日 候補選手注射 体協医事部
- 22日 準備委員会
- 31日 女子派遣再検討の会 新橋亭
- 6月5日 準備委員会
- 12日 //
- 14.15日 全国予選会 神宮プール
- 15日 清川ヘッドコーチ先発
- 19日 準備委員会
- 20.21.22日 最終予選会 神宮プール
- 22日 代表選手決定
- 23日 選手団結成（宿舎さかき）
- 27日 // 壮行会 光輪閣
- 28日 // 全員出發（羽田）
- 8月28日 // 全員（清川、安部を除く）
歸國（宿舎さかき）
- 29日 // 歓迎会 光輪閣
解團式
- 31日 体協主催歓迎会
- 9月23日 報告会 宇都宮プール
- 10月3日 安部マネジャー歸国
- 7日 清川ヘッドコーチ帰国

オリンピックに関する事務所日誌（27年）

- 1月1日 候補競泳選手合宿練習会第4日 東大プール
- 7日 同合宿練習会終る
- 14日 準備委員会
- 3月6日 //
- 20日 //
- 4月1日 候補選手合同練習会始る 東大プール
- 3日 準備委員会

編集後記

連盟はオリンピックの報告書を出す計画を立て目下資料を集めていますがとくあえず機関紙で皆様へ報告しなければならないと考え大急ぎで編集しました。関係の方々の御協力代議員会に間に合ふよう出来ました。急いだため粗雑な点があつたら御勘弁下さい。これを急いだため例年今頃出る20表が少しおくれましたがこれは倍大号として各地競技会を全部まとめ近く出ますから御期待下さい。(T)

日本水泳連盟
機関雑誌

水 泳

第96号

昭和28年1月25日 印刷
昭和28年2月1日 發行

日本水泳連盟

發行人 藤 田 明
編輯人

印刷所 株式会社成島印刷所
東京都中央区日本橋本石町3ノ4

定價80圓 年4回發行豫定 4回分 ¥200.00
豫約申込者に限り領布す（1年前金豫約は郵送料不要）

東京都千代田区丸ノ内2ノ2
丸ビル722区

發行並 日本水泳連盟
申込所 電話和田倉(20)4885番

東洋一の生産を誇る

營業種目

主要製品 銑鐵・鋼塊及び半製品・鋼材
副製品 硫安・タール製品・鑛滓製品

資本金 四拾八億圓

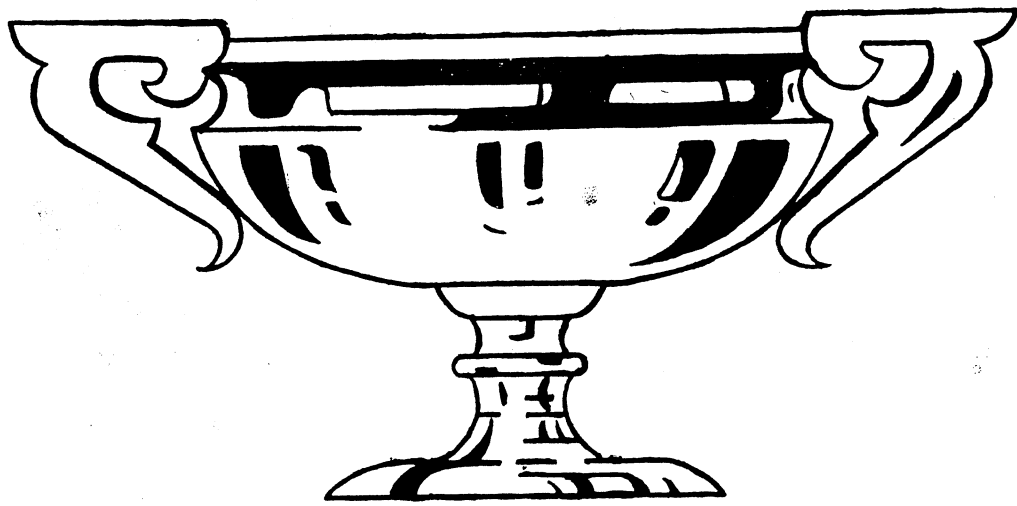


八幡製鐵株式會社

社長 渡邊 義介

本社 東京都千代田區丸の内一ノ一
(鐵鋼ビル)

電話 和田倉 (20) (代表) 二一六番
(代表) 二一五番
(代表) 二一四番
工場 八幡製鐵所 (福岡縣八幡市)
大阪事務所 大阪市西區靱南通り一ノ一〇



記念品 徽章 バツチ バックル メタル 優勝杯

盟連 日本水泳連盟 御用
盟連 日本陸上競技連盟

御注文ハ直接メーカーへ

名川徽章製作所

東京都文京区新諏訪町2

電話 小石川(85)5347